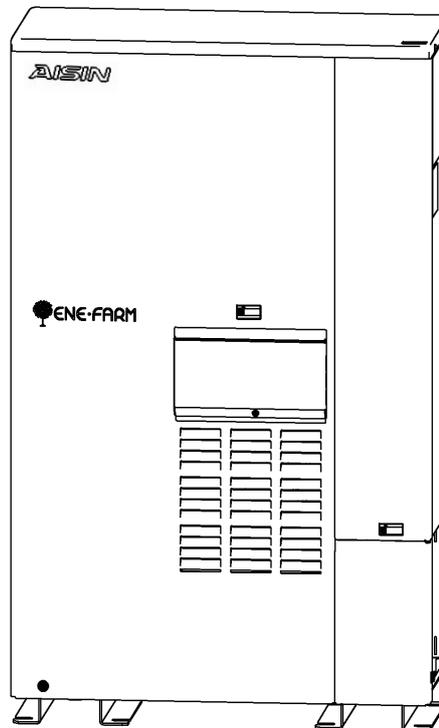




エネファーム type S 燃料電池ユニット

商品仕様	型式	ガスの種類
自立運転機能付き	FCCS07B2NJ	都市ガス13A
	FCCS07B2PJ	LPガス
標準モデル	FCCS07B2N	都市ガス13A
	FCCS07B2P	LPガス

AISIN アイシン精機株式会社 取扱説明書（保証書付）



- この取扱説明書での機器の呼びかた
 - ・ 燃料電池ユニットを発電ユニット、燃料電池ユニットと熱源機を合わせたシステムをエネファームと呼びます。
 - ・ セット構成用台所リモコンを台所リモコン、セット構成用浴室リモコンを浴室リモコンと呼びます。
 - ・ 後付構成用リモコンを発電リモコンと呼びます。
 - ・ ガスメーター（マイコンメーター）をガスマイコンメーターと呼びます。
- 安全についての注意事項を記載しておりますので、必ずお守りください。
- 逆潮流ありの設定を選択された場合は、1ページをご覧ください。
- お読みになった後、いつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が変わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
この取扱説明書には巻末に保証書がついています。大切に保管してください。
- 別冊の熱源機取扱説明書およびリモコンの取扱説明書とあわせてご覧ください。

目次

1 使用の前に	概要	1
	安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください	3
	ラベルの貼付け位置と記載内容	10
	各部のなまえ	11
	ご使用前の確認	12
リモコンAの 運転について	リモコンの操作説明	13
	基本操作の説明	15
	運転・停止について	26
	停電時に電気とお湯を使う	28
リモコンBの 運転について	リモコンの操作説明	34
	基本操作の説明	36
	運転・停止について	46
	停電時に電気とお湯を使う	48
リモコンCの 運転について	リモコンの操作説明	54
	基本操作の説明	56
	運転・停止について	66
	停電時に電気とお湯を使う	68
発電リモコンの 運転について	リモコンの操作説明	74
	基本操作の説明	76
	運転・停止について	87
	停電時に電気とお湯を使う	89
困ったときに	故障・異常かな？と思ったら	94
	エラー表示について	96
	エラー発生時の処置方法について	98
知っておいてください	災害時にお湯を使う（災害時などに貯湯タンクからお湯を取り出す）	101
	お手入れと周囲の確認	102
	点検に関して	102
	おもな仕様	103
	外形図	104
	アフターサービスについて	105
保証書	巻末	

概要

この機器は専用の熱源機と組み合わせて使用することで、電気および熱を供給します。

- 発電ユニットから発生する排熱は、最大約35℃の水として熱源機に供給され、熱源機にて設定温度に調整されて給湯されます。
- 発電ユニットで作られた電気は、家庭内（照明、テレビなど）で使用できます。
発電ユニットで作られた電気を優先的に使用し、不足分は電力会社から供給される電気を使用します。
- 異常がある場合、リモコンにエラーを表示し、お知らせします。
- 発電ユニットの操作は、「セット構成」の場合は、熱源機の台所リモコンおよび浴室リモコンより操作を行い、「後付構成」の場合は、専用の発電リモコンより操作を行います。
- 断水時や地震など万一の災害時には、貯湯タンクのお湯（水）を雑用水として利用できます。ただし、断水時でも発電を続けますので、貯湯タンク内の水を使用する場合は、発電ユニットが停止していることを確認してください。

自立運転機能をお使いのお客様へ

- 停電した場合でも発電ユニットが発電中であれば、発電ユニットは発電を続けますので、発電した電気とお湯を使うことができます。〈自立運転機能〉
 - ※ 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、地震等の災害などでガスの供給が停止している場合にも、発電することができません。
- 自立運転機能で利用できる電気の量は約700[W]です。
 - ※ セット構成の場合は、熱源機で使用する電気の量を含みます。実際にご使用できる電気の量は700[W]よりも、少なくなります。
- 自立運転時は自動的に自立運転専用のコンセントに電気が供給されます。
 - ※ 自立運転専用コンセントには「エネファームtype S 停電時自立発電専用」と表示されています。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときだけ、お使いください。なお、停電が復旧すると自動的に自立運転専用コンセントへの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- ※ 自立運転機能の詳細は28～33ページ、48～53ページ、68～73ページ、89～93ページをご覧ください。

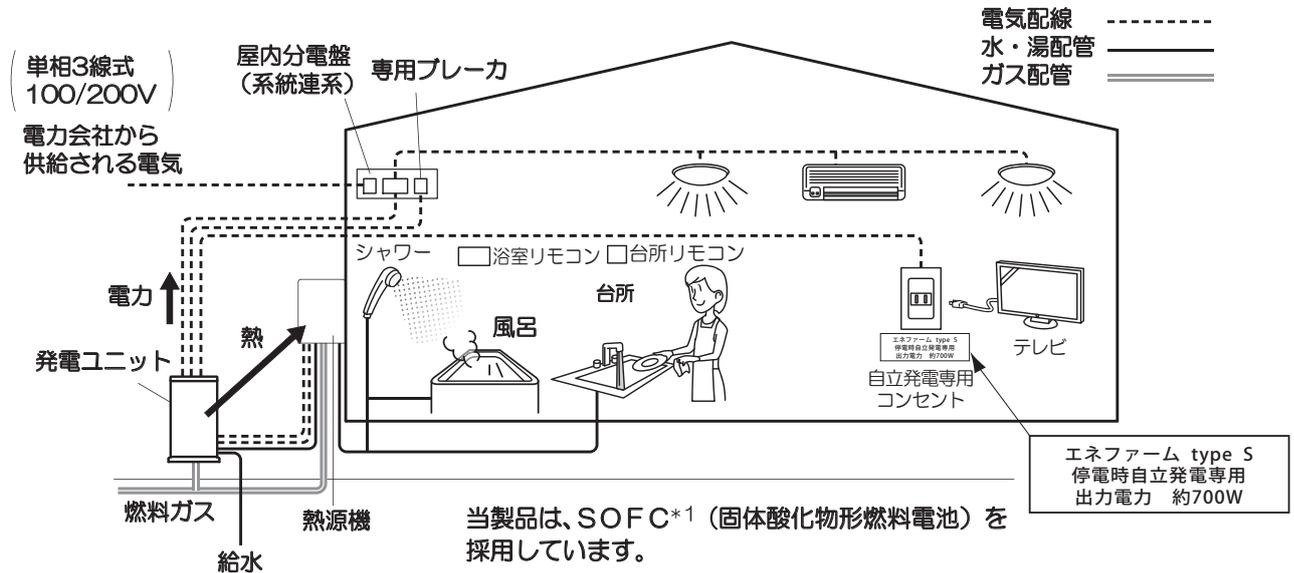
逆流ありの設定を選択されたお客さまへ

- 逆流に関してのご説明
 - 逆流とは、発電ユニットにて発電された電力を電力系統を介して取引等を実施するものです。
 - 逆流を実施する場合、発電ユニットからの電力の買い取りを行う事業者さまへの申し込みが必要となります。
- 逆流ありの場合、発電ユニットはお客さまの使用電力以上で発電運転（最大700[W]）を実施し、余剰となった電力は、発電ユニットからの電力を買い取り実施する事業者さまが買い取ります。
- 逆流有無はご購入時にお客さまに選択いただき、施工業者が設定いたします。お客さまご自身で設定変更はできませんのでご了承ください。設定変更をご希望されるお客さまは、ガス会社または販売店までご相談ください。
- 逆流のリモコン表示に関しては、リモコンの取扱説明書を合わせてご覧ください。

概要

1. セット構成かつ自立運転機能付きの場合

※ 発電ユニットは台所リモコンおよび浴室リモコンで操作します。

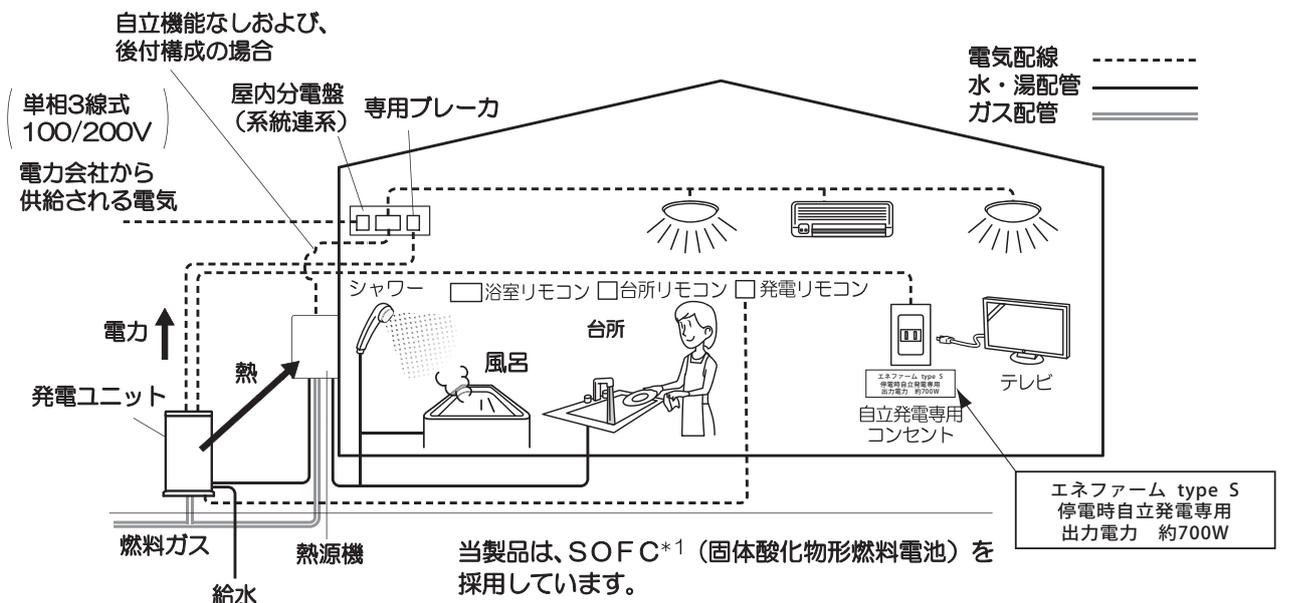


2. 後付構成（自立運転機能付き、なし）またはセット構成かつ自立運転機能なしの場合

※ 後付構成の場合は、発電ユニットは発電リモコンより操作します。

※ 自立運転機能なしの場合は自立発電専用コンセントおよびその配線はありません。

※ セット構成の場合は発電リモコンはありません。



*1 SOFCとは・・・

燃料電池は、水素と酸素を化学反応させて電気を起こす発電装置です。当機のように、セラミックを電解質に用いる固体酸化物形燃料電池のことを、英語で Solid Oxide Fuel Cellといい、頭文字をとってSOFCと呼んでいます。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

ご使用前に、この「安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。

【表示の説明】

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性や物的損害が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

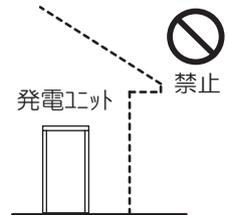
【絵表示の説明】

 必ず行うこと	 接触禁止	 一般的な禁止
 分解禁止	 発火注意	 火気禁止
 アース線を接続すること	 高温注意	

警告

屋内に設置しない

屋外設置据置型ですので、絶対に屋内に設置しないでください。
酸欠・一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。



ガス漏れに気付いたら

- ・ガス漏れ異常（エラーコード[10F00]、[10F01]、[10F10]、[10F11]）は、リモコンでのエラー解除はできません。
- ・屋内でガス臭がする場合は、電気器具（換気扇・電灯など）のスイッチを入/切しないでください。引火し、爆発事故を起こすことがあります。
- ・ガス漏れに気付いたときは、次の処置を行ってください。
 - ①ガス栓を閉める。（ガス栓を閉めると、エラーコード[A0F00]がリモコンに表示されます。）
 - ②屋内でガス臭がするときは窓や扉をあける。
 - ③ガス供給事業者に連絡する。

そのままにしておくと、火災や爆発の原因になります。
また、絶対に火を近づけたりしないでください。



火気禁止



確認



安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 警告

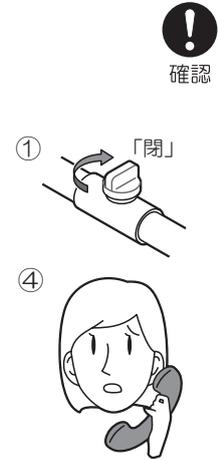
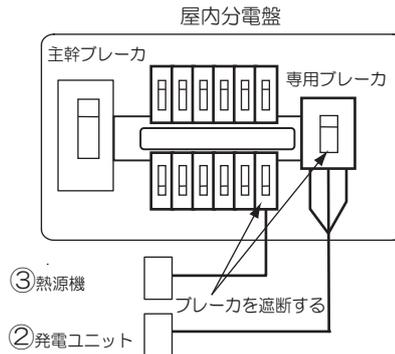
異常時の処置

この機器から異常な臭い（こげ臭い・ガス臭い）・発火・煙・異常に大きい音・振動があるときは、すぐにリモコンで機器を停止し、次の処置を行ってください。

- ① ガス栓を閉める。（ガス栓を閉めるとエラーコード[AOFOO]がリモコンに表示されます。）
- ② 発電ユニットに接続された屋内分電盤のブレーカを遮断する。
- ③ 熱源機に接続された屋内分電盤のブレーカを遮断する。
- ④ ガス供給業者に連絡する。

異常のまま運転を続けると感電・火災・故障などの原因となります。

※ ブレーカ部は濡れた手で触れないでください。



地震・水害・火災の発生したときの処置

地震・水害・火災が発生したときは、ガス栓を閉め、屋内分電盤の専用ブレーカと防水コンセントに接続されたブレーカを遮断してください。おさまりましたら、機器が安全に使用できるかどうかの確認をガス供給業者に依頼してください。

設置・付帯工事はガス供給業者に依頼する

工事に不備があると、感電・水漏れに加え、排気ガスの建物内流入による中毒・火災の原因になりますのでガス供給業者に依頼してください。

（設置・付帯工事は工事説明書に従い、有資格者が行います。）

移設時の確認

増改築や引越しなどで移設する場合は、ガス供給業者にご相談ください。

工事に不備があると、感電・水漏れに加え、排気ガスの建物内流入による中毒・火災の原因になります。（移設は工事説明書に従い、有資格者が行います。）

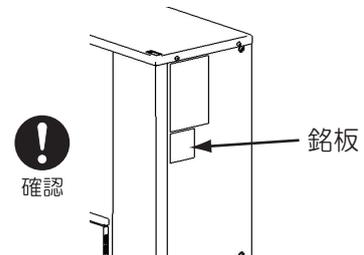
移設後は、電力会社への手続きが完了した後でない限り運転することはできません。

（手続きについては、ガス供給業者に確認してください。）

ガスの種類・電源の確認

ガスの種類・電源が異なる場合、火災や感電の原因となります。銘板に表示されている燃料種と使用するガスが一致していることを確認してください。

また、電源が「单相3線式100/200V」であることを確認してください。



熱源機を買い替える場合

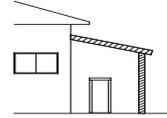
- 熱源機の組み合わせによっては、安全・性能が担保できず、やけど等の事故が発生する可能性があります。
- 熱源機を買い替える場合は必ずガス供給業者にご相談ください。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

警告

囲いをしない

設置後、発電ユニットを波板やビニールなどで囲んで屋内状態にしないでください。火災や酸欠事故の原因となります。



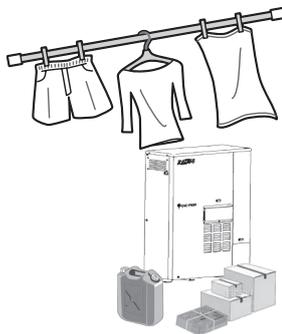
禁止

燃えやすい物を周りに置かない

洗濯物・新聞紙・灯油など燃えやすい物を周りに置かないでください。火災の原因になります。



発火注意

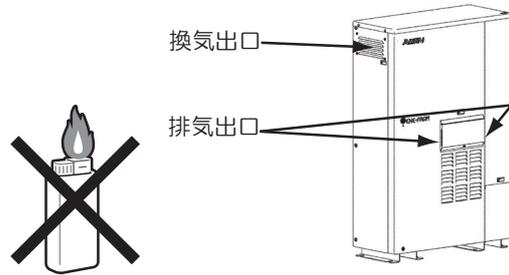


火気を近づけない

換気出口・排気出口に火気を近づけないでください。火災の原因になる場合があります。



火気禁止



引火のおそれがある物を周りで使用しない

灯油・ガソリン・ベンジンなど引火のおそれがある物を機器の周りで使用しないでください。火災の原因になります。



発火注意



スプレー缶を周りに置かない、使用しない

スプレー缶を周りで使用したり、置かないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。周りでスプレーを使用すると、スプレーに含まれる成分により、機器故障の原因となります。



発火注意



LPガス容器を周りに置かない

所定の離隔距離が必要です。



禁止

離隔距離とメンテナンススペースの確認

周囲の可燃物に対して、防火上の離隔距離をとってください。距離が不足すると火災の原因になります。この離隔距離に加えて、メンテナンススペースが必要ですので物を置かないでください。



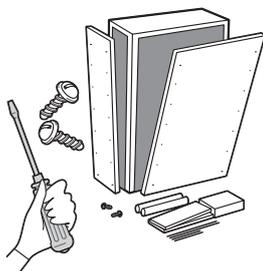
確認

分解・修理・改造をしない

分解・改造を行わないでください。感電・火災・水漏れの原因となります。移設・付帯工事・修理をする場合は、必ずガス供給事業者に依頼してください。



分解禁止

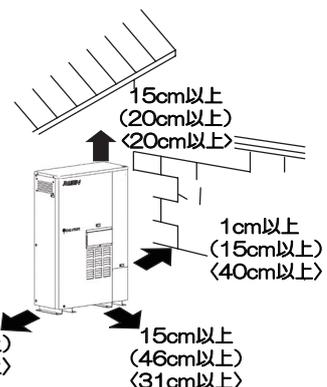


上：防火上の離隔距離

中：（幅が狭い場合のメンテナンススペース）

下：〈奥行きが狭い場合のメンテナンススペース〉

詳細は工事説明書13～16ページをご覧ください。



安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 警告

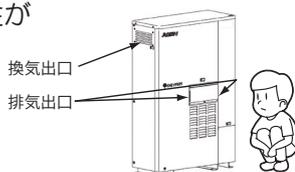
排気ガスを建物内に入れない

この機器の排気ガスが建物（自宅および隣家など）の吸排気口や窓などから建物内に入らないようにしてください。
排気ガスが建物内に流入すると、中毒などの原因になります。



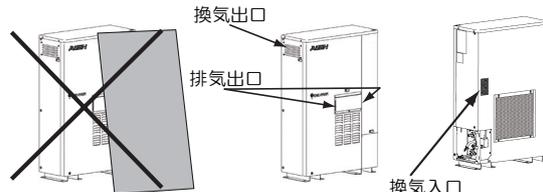
排気出口・換気出口に顔を近づけない

大量の排気ガスを吸い込むと、中毒の原因となる可能性があります。



排気出口・換気入口・換気出口を塞がない

不完全燃焼の原因となります。



外壁の塗装、増改築、屋内の修繕時などに、機器本体が養生シートで覆われた場合は機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



積雪時の点検・除雪

積雪時は、排気出口・換気出口・換気入口が塞がれないように点検・除雪を行ってください。不完全燃焼の原因となります。



機器の換気入口がホコリ・ゴミなどで塞がっていないか確認する

不完全燃焼の原因となります。



必ずアース工事を行う

アース工事が不完全な場合は、感電・火災の原因となります。（D種接地工事）
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
詳しくは工事説明書をご覧ください。



水洗いしない

感電・火災の原因になることがあります。



排気口付近で子供やペットを遊ばせない

中毒のおそれがあります。



⚠ 注意

機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、雑用水として使用する。

飲用したり調理に使用すると、健康を害するおそれがあります。



飲用する場合は、必ず沸騰させてから使用する。また必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用する。

飲用すると、健康を害するおそれがあります。



固形物・変色・濁り・異臭があった場合は飲用しない。

飲用すると、健康を害するおそれがあります。

※販売店またはガス会社へ点検を依頼してください。

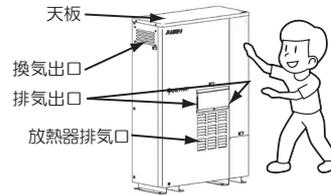


安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

⚠ 注意

排気出口、換気出口、放熱器排気口、 天板に触れない

高温になっており、やけどの原因になることがあります。



高温注意



接触禁止

発電ユニットの上に乗らない、物を載せない

落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。



禁止

排気ガス・換気ガスを動植物に当てない

動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。



禁止

発電ユニットと熱源機間の配管の上に 乗らない、物を載せない

けが・やけど・水漏れのおそれがあります。



禁止

熱源機行き配管に触れない

熱源機行き配管は高温になることがあります。
やけどのおそれがあります。



高温注意



禁止

排気出口・換気出口・換気入口に指や棒など異物を入れない

けが・やけどのおそれがあります。



禁止

パネルを開けて、発電ユニット内部に触れない

けが・やけど・感電のおそれがあります。



禁止

断水時には給湯栓を開けない

発電ユニットより低い位置にある給湯栓は設定温度以上のお湯が出る場合があります。



高温注意



禁止

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。やけど予防のため。



高温注意

浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



ご使用にあたってのお願い

家庭用に使用してください

この機器は家庭用です。業務用に使用しないでください。
業務用に使用して事故や故障が発生した場合、保証の対象外になります。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

ご使用にあたってのお願い

純正部品を使用してください

純正部品を使用しないと、故障の原因になります。

低温になる場所への設置について

気温が-10℃より低温になる場所に設置しないでください。
設置すると、凍結により重大な破損が発生することがあります。

積雪地域での使用について

この機器を積雪地域で使用するとき、排気出口・換気出口・換気入口に雪などが固着する場合があります。固着が進むと、この機器は吸入不足になり正常に運転できません。
雪などの固着物は、排気出口・換気出口・換気入口を塞がないよう取り除いてください。

機器の組み合わせについて

組み合わせることのできる熱源機は限定されます。ガス供給事業者にお問い合わせください。

知っておいてください

- ・雷や無線などのノイズが、この機器に悪影響を与えることがあります。
- ・ご自宅の電気工事などで、分電盤内の電流センサを外す場合は、事前にガス供給事業者へ連絡してください。
(電流値の読み込み不良により、発電ができなくなる場合があります。)
- ・発電ユニットの換気入口から自動車の排気ガスが直接吸い込まれると、発電ユニットの故障・性能低下の原因になります。

地下水・井戸水・温泉水の使用禁止

- ・給水は必ず水道水を使用してください。
地下水・井戸水・温泉水を使用すると機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

電源について

- ・緊急の場合以外はブレーカーを遮断しないでください。
凍結予防運転のために電気を使用しています。

長期間使用しない場合の処置

10日間以上連続で使用しない場合は不在停止を行ってください。
長期間（1か月以上）使用しない場合、またはブレーカを遮断する場合は必ず水抜きを行ってください。

停電時の注意

停電した場合は、日時がリセットされている場合がありますので、日時の設定を行ってください。

ドレン配管のつまりに注意する（故障の原因）

ドレン配管の排出先は大気開放とし、泥や落ち葉などでつまらせないでください。

配管バルブを閉めない

メンテナンス作業時以外は、配管バルブを閉めないでください。正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。

安全に正しくお使いいただくために必ず守ってください

警告 (自立運転について)

自立運転専用コンセントには以下の製品をつながない

自立運転専用コンセントには停電時にのみ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器は接続しないでください。



禁止

- ・ 全ての医療機器
 - ・ 灯油を用いた暖房機器
 - ・ バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
 - ・ 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
 - ・ 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
 - ・ その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- 消費電力が合計で700[W]以上になる機器は接続しないでください。

【注意】自立運転機能で使用できる電気の量は700[W]です。

※ セット構成の場合は、熱源機で使用する電気の量も含まれますので実際にご利用できる電気の量は700[W]よりも少なくなります。

自立運転専用コンセントを商用電力線につながない

自立運転専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しないでください。感電、発火などの事故になるおそれがあります。



禁止

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用する

自立運転専用コンセントは停電時のみ使用することができます。停電時以外に自立運転専用コンセントに電気製品を接続しないでください。接続した機器に突然電流が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。



確認

停電していないときに自立運転を行わない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能が損なわれ、故障の原因となります。



禁止

注意

ガスファンヒータの使用について

- ・ ガスファンヒータのご使用中は、部屋の換気にご注意ください。
必ず1時間に1~2回(各1~2分)、窓を開けるなどして換気を行ってください。
- ・ 自立運転専用コンセントで使用できる電力が少なく、ガスファンヒータを使用すると過負荷が発生するおそれがある場合は使用しないでください。
- ・ ガスファンヒータ運転中に停電が発生すると、ガスファンヒータの冷却が正常に行われず、温風の吹き出し口や機器背面(エアフィルタ部や取っ手部分)が高温になり、手で触れるとやけどのおそれがあります。
- ・ 自立運転専用コンセントでガスファンヒータを使用しているときに異常を感じた場合は、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒータの使用を中止し、販売店またはもよりのガス供給事業者に連絡してください。



確認



禁止



確認



確認

ラベルの貼付け位置と記載内容

この機器を安全に使用していただくために、機器には安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルを全て読んでからご使用ください。

ラベルは、はっきり見えるようにきれいにしておいてください。

この機器に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなってしまったときは、ガス供給事業者に連絡して新しいラベルに貼り替えてください。

安全ラベル

安全ラベル

安全ラベル

安全ラベル

安全ラベル

安全ラベル

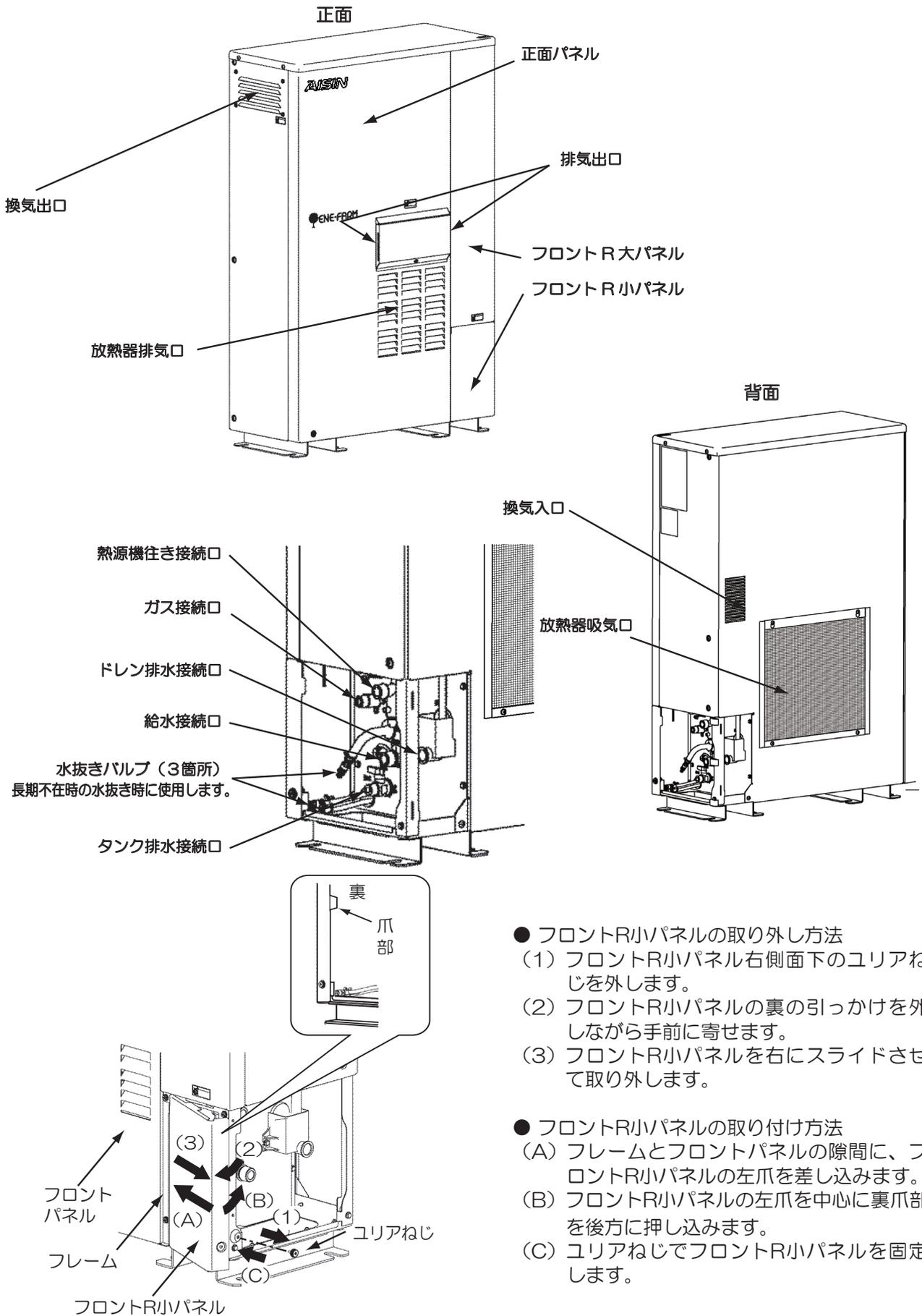
安全ラベル

装置銘板 (例)

安全ラベル

安全ラベル

各部のなまえ

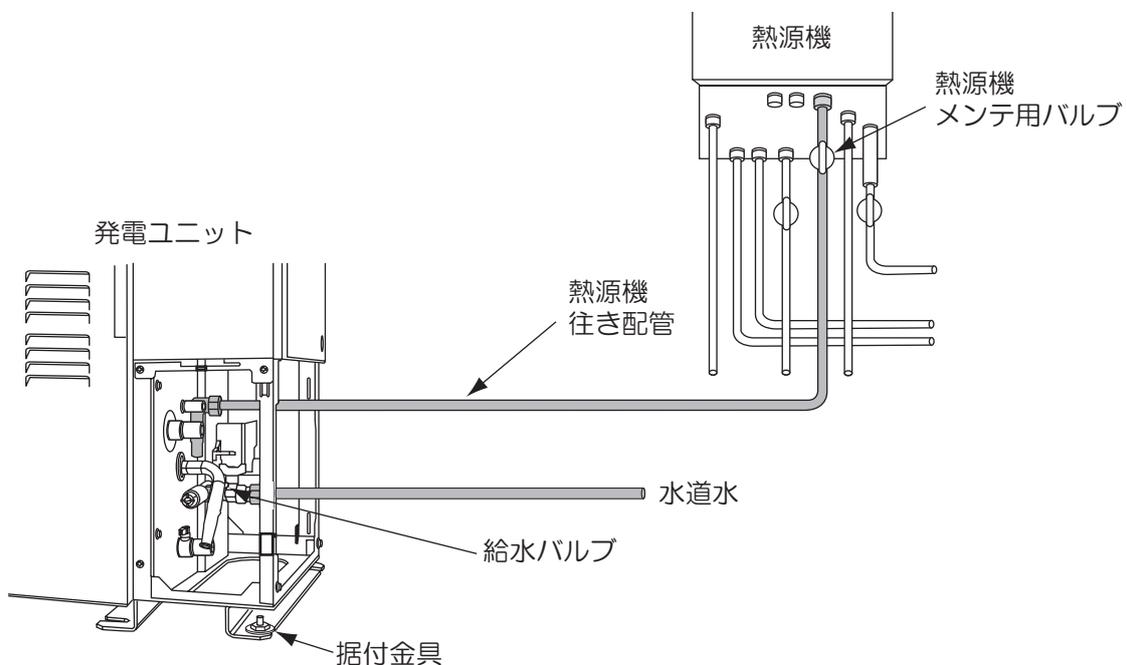
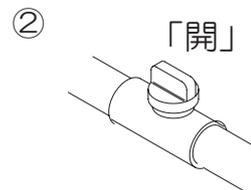
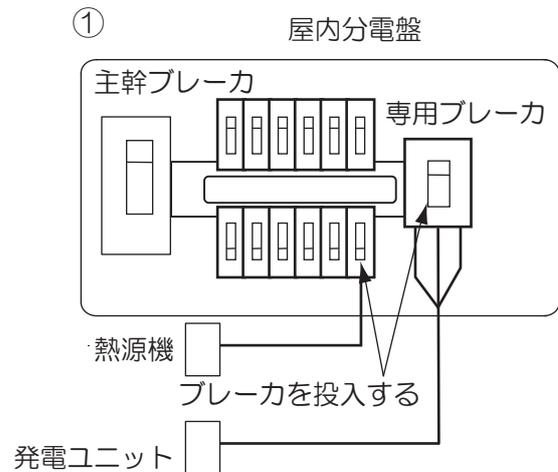


- フロントR小パネルの取り外し方法
 - (1) フロントR小パネル右側面下のユリアねじを外します。
 - (2) フロントR小パネルの裏の引っ掛けを外しながら手前に寄せます。
 - (3) フロントR小パネルを右にスライドさせて取り外します。
- フロントR小パネルの取り付け方法
 - (A) フレームとフロントパネルの隙間に、フロントR小パネルの左爪を差し込みます。
 - (B) フロントR小パネルの左爪を中心に裏爪部を後方に押し込みます。
 - (C) ユリアねじでフロントR小パネルを固定します。

ご使用前の確認

ご使用前に次の確認を行ってください。
発電ユニット、熱源機周辺に異常がないことを確認します。

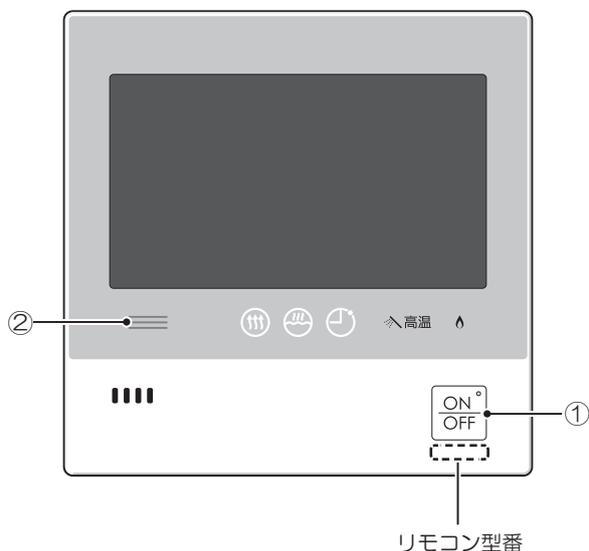
- 機器の周囲に可燃物および、障害物がないことを確認します。
- 機器の排気出口、換気入口・換気出口が塞がれていないことを確認します。
- 据付金具が緩んでいないことを確認します。
- 発電ユニットに接続された屋内分電盤の専用ブレーカと熱源機に接続された屋内分電盤のブレーカが投入されていることを確認します。
- ガス栓、給水バルブ、熱源機メンテ用バルブが開いていることを確認します。



リモコンの操作説明

ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について説明いたします。
 その他のリモコンの詳細機能についてはリモコンの取扱説明書（リモコン操作編）を参照してください。

1. 各部のなまえとはたらき（台所リモコン）



①「ON/OFF」スイッチ・ランプ
 ・給湯器の運転「ON」「OFF」の操作に使用します。
 「ON」でランプが点灯します。
 ・画面を表示させたり消したりするときに使用します。

②発電ランプ
 ・発電ユニットで発電中に点灯します。
 ・現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い

↑	オレンジ色 (節電お知らせ)	購入電力が増えています 節電してください。
1.2kW	青色	使用電力が少し増えて います。
0.7kW	緑色	発電ユニットの発電内で 上手に使用されています。
↓		少ない

・逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が発電電力より多いので 買電しています。
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています。

運転中のリモコンA(ソーリング)

2. 表示画面（タッチパネル）の操作の基本

- このリモコンの表示画面は、指で押すとスイッチ操作ができます。
- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度力で確実に押してください。
- 「ON/OFF」スイッチや画面を押さないまま約10分（初期設定時間）たつと、表示が消えます。

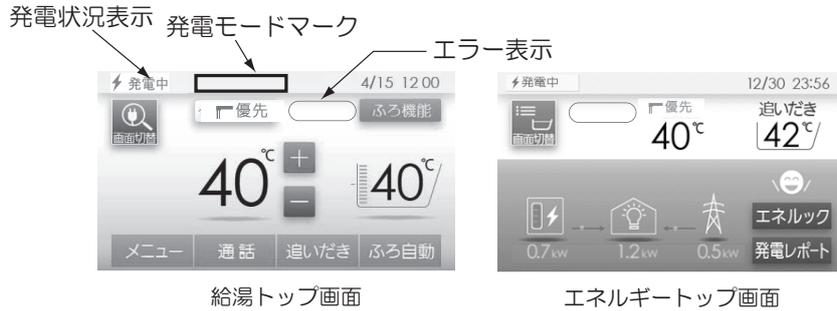
表示がグレーになっている部分は、押してもスイッチ操作できません。



※ 説明中のリモコン表示画面は一例です。

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

リモコンの操作説明



3. 発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

		表示	状態
		⚡ (点灯)	発電しています。
		⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です。
		⚡ ↔ ⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です。
		↓ ↔ ↓ (交互表示)	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電停止の動作中です。 ^{※1}
		↓ (点灯)	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電ユニットは停止しています。 ^{※1}
		(表示なし)	発電ユニットは停止しています。
逆潮流の場合		電圧抑制 ^{※2}	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
		売電中	発電した電力を売電しています。
自立運転機能付の場合		⚡ 自立 ↔ 自立 (交互表示)	自立運転しています。
		⚡ 自立・高 ↔ 自立・高 (交互表示)	高出力モード (31ページ) で自立運転しています。

※1 電気使用量が少ない状態が続くと、発電が停止するしくみになっています。

※2 自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

4. 発電モードマークの見かた

🔄	タンクリフレッシュ 運転マーク		長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。
M	ガスマイコン メーター 確認マーク (Mマーク)	M 発電中	ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
		M 自立	
		Mのみ	<ul style="list-style-type: none"> ● この表示が出ている間(約24時間)は、ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、発電ユニットは停止しています。 ● この表示が出た場合、午後7時から午後1時までの間にガス機器(給湯・床暖房など)を連続で70分間以上ご使用を停止してください。連続で70分間以上停止しただけなかった場合、リモコン上に「Mマーク」に加えて[01900]を表示し、停止を継続します。この場合、94ページ「故障・異常かな?と思ったら」を参照し、処置を行ってください。
凍結予防	凍結予防マーク		機器は凍結予防のために自動的に凍結予防運転をします。その動作中に表示されます。

基本操作の説明

1. 発電ユニットの起動方法

起動には約3~4時間かかります。(時間は気温によって異なります。)

■ 1-1. 発電禁止からの再開 (17ページ「■ 2-1」(発電禁止)で停止させた場合)

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



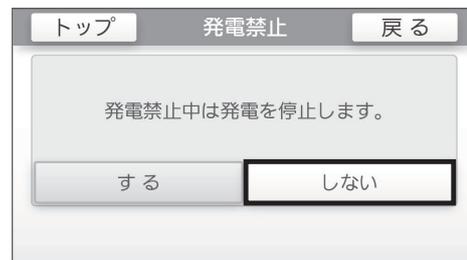
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[発電禁止]を選択してください。



④ 発電禁止画面より[しない]を選択してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

■ 1-2. 不在停止からの再開 (18ページ「■ 2-2」(不在停止)で停止させた場合)

下記いずれかの方法で再開します。

- ・リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作をする。
- ・不在停止設定後5時間以上経過している場合は、リモコンの液晶画面をタッチする。
- ・不在停止設定後5時間未満の場合は、メニュー画面から再開操作をする。

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



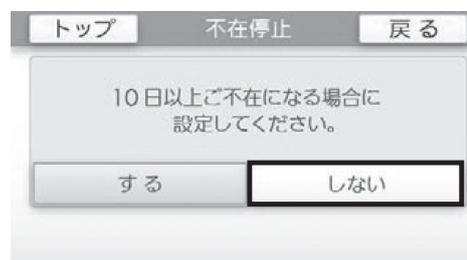
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[不在停止]を選択してください。



④ 不在停止画面より[しない]を選択してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

基本操作の説明

■ 1-3. 発電再開からの再開

(26ページ「■ 電気使用量が少ない状態が続いたとき」で停止している場合)

① トップ画面より[メニュー]を選択してください



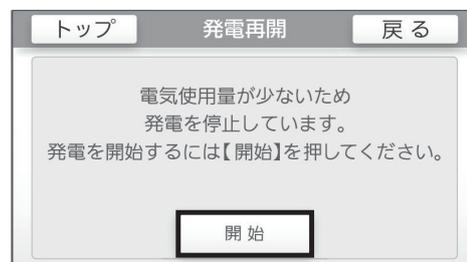
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[発電再開]を選択してください。



④ [開始]を押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

基本操作の説明

2. 発電ユニットの停止方法

機器を保護するために発電停止の動作（「停止中」表示）を約10～12時間行ってから停止します。（時間は気温によって異なります）停止動作中に起動操作を行った場合停止動作完了後、起動します。
※ お客さま操作により、頻繁に起動・停止(不在停止等)を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、発電禁止と不在停止機能のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

■ 2-1 機器の水抜きをするときなど、発電を停止させたいときの停止方法（発電禁止）

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



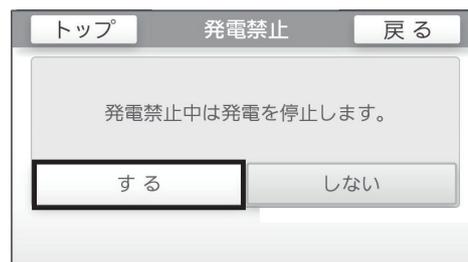
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



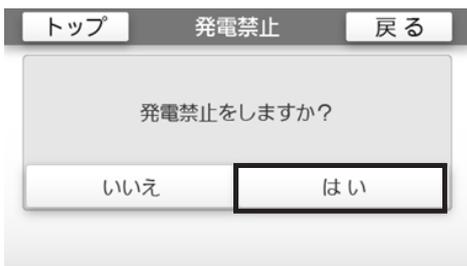
③ 発電メニュー画面より[発電禁止]を選択してください。



④ [する] (Do) を選択してください。



⑤ [はい] (Yes) を選択してください。



基本操作の説明

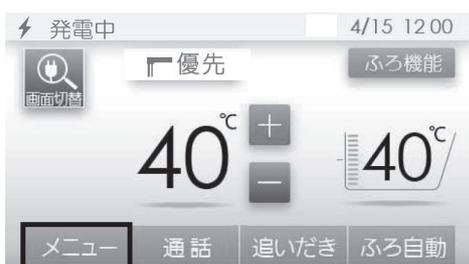
■ 2-2 10日以上家をあけるなど、全ての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止したいときの停止方法（不在停止）

※ 1か月以上の長期不在時には、この方法に加えて水抜きが必要です。22ページを参考に水抜き操作をしてください。

※ 10日以上、お湯と暖房を使用しない状態が続くと、自動的に不在停止が[する]になります。

※ 給湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照ください。

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



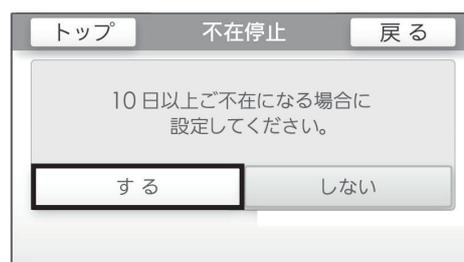
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



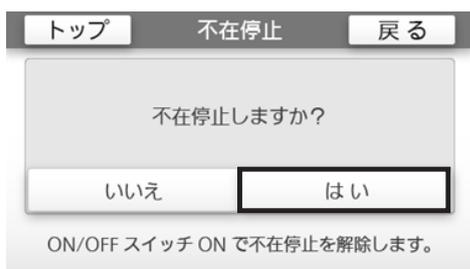
③ 発電メニュー画面より[不在停止]を選択してください。



④ [する] (Yes) を選択してください。



⑤ [はい] (Yes) を選択してください。



⑥ 液晶画面が消え、「ON/OFF」スイッチのランプが消灯します。

※ 不在停止設定を[する]にした後、リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作、または5時間経過後はリモコンの液晶画面を押すことにより不在停止が解除されます。

※ 不在停止設定を[する]にした後、熱源機による暖房を使用されると、不在停止は解除されます。

基本操作の説明

3. 発電ユニットの貯湯タンク洗浄のための水抜き方法

※ 貯湯タンク洗浄には水抜きが必要となります。

※ この操作開始後水張り（25ページ参照）完了までは、熱源機を使用することはできません。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑧）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑨～⑩）を行ってください。

①リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプが消える）、液晶画面部をタッチする。

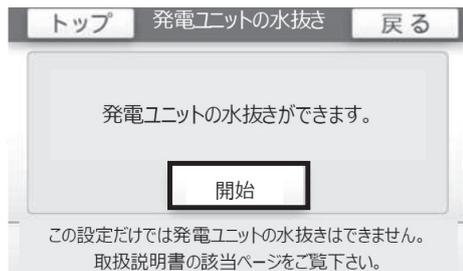
②トップ画面より[メニュー]を選択してください。

③メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。



④音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水抜き]を選択してください。

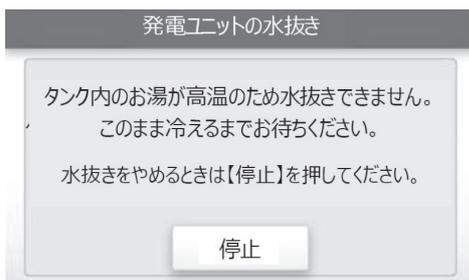
⑤[開始]を押してください。



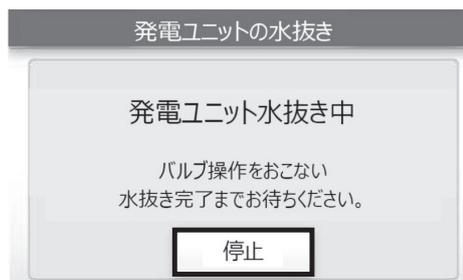
タンク内
高温時

※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[停止]を押すと⑥に移行します。

⑥タンク内温度が下がりましたのでリモコンによる水抜きを停止してください。



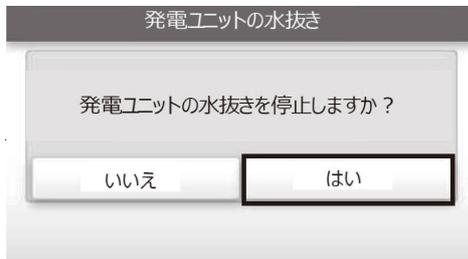
※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。



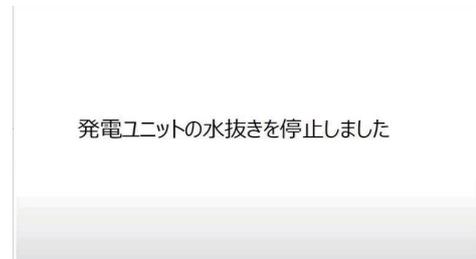
タンク内部
温度冷却後

基本操作の説明

⑦ [はい] を選択してください。

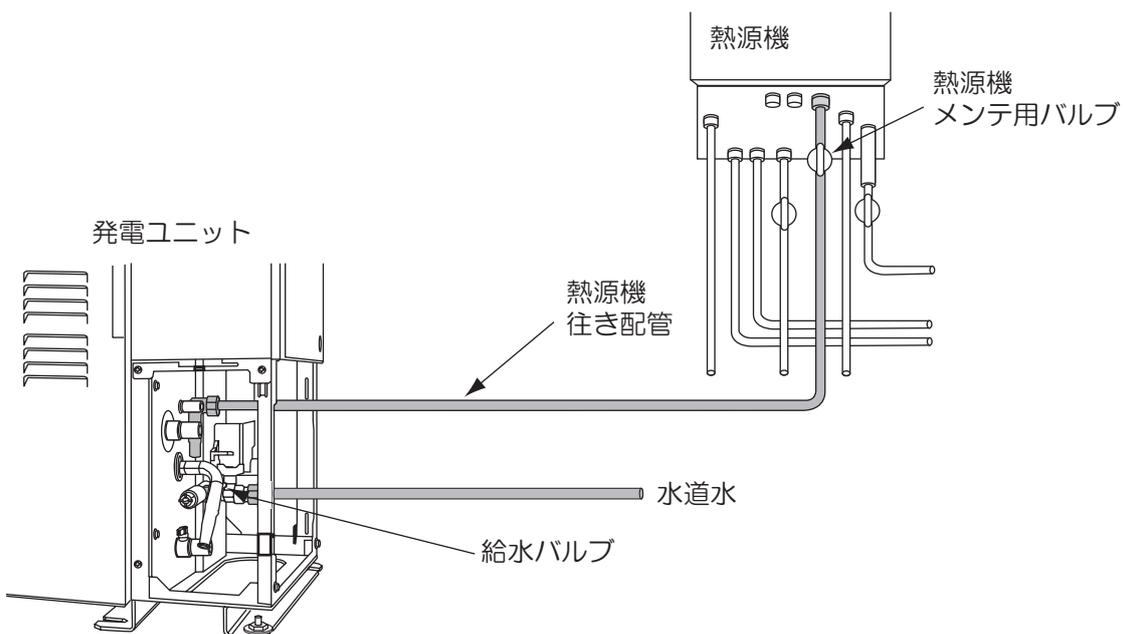


⑧ 下記画面を表示後自動的に音・その他メニュー画面に切り替わります。



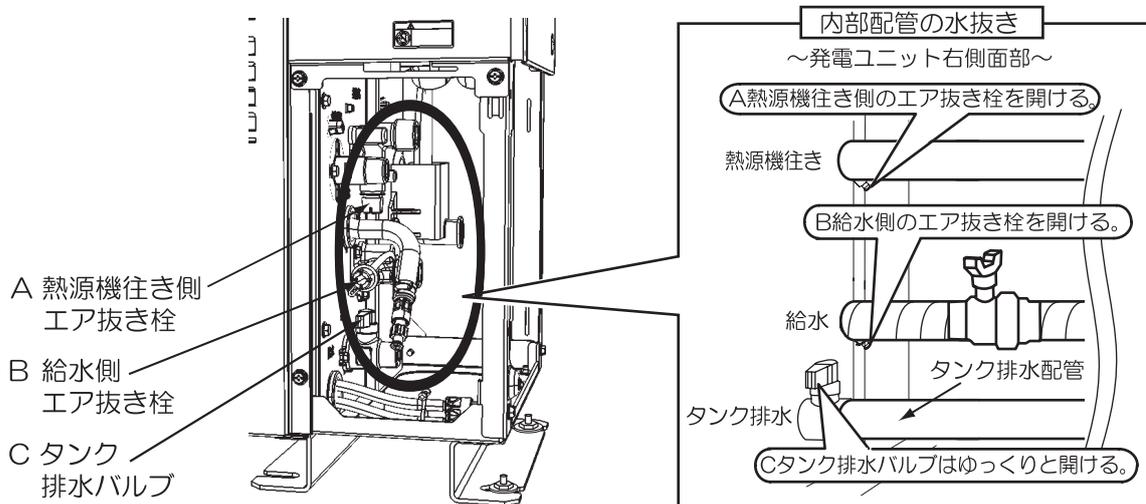
⑨ 音・その他メニュー画面移行後次の操作をしてください。

- ・ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外します。
- ・ 給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



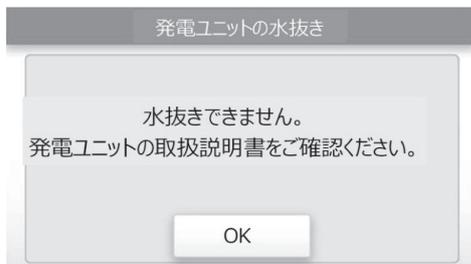
基本操作の説明

- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・ A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・ B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



- ⑩タンク排水配管より湯（水）が出なくなったら、B給水側、A熱源機行き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

基本操作の説明

4. 長期間使用しない場合の発電ユニットの水抜き方法

- 旅行等のため、10日以上使用しないときは、リモコンで[不在停止]にし、発電ユニットを停止させてください。（手順は18ページを参照ください。）
- 1か月以上不在にされる場合もしくは1か月未満でも電源が確保できないことに加えて凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）は、下記の発電ユニット水抜き方法に従い水抜きを実施してください。水抜きをしないと故障の原因となります。また、熱源機の水抜きも必ず実施してください。手順は熱源機の取扱説明書をご参照ください。
- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス会社または販売店にご連絡ください。
- 引越しをされる場合は、その2～3日前までにガス会社または販売店にご連絡ください。
- 水抜きを実施する場合は、前日までに発電禁止による停止操作を行ってください。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑥）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑦～⑩）を行ってください。

① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消える）、液晶画面部をタッチする。

② トップ画面より[メニュー]を選択してください。



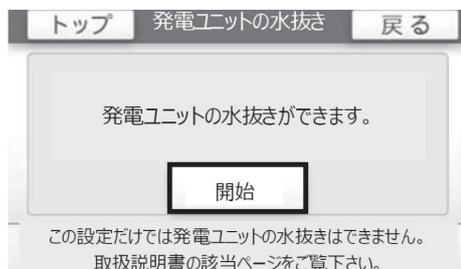
③ メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。



④ 音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水抜き]を選択してください。



⑤ [開始]を押してください。

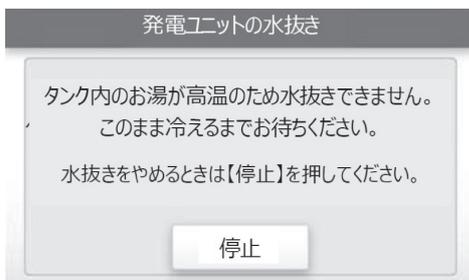


タンク内
高温時

※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

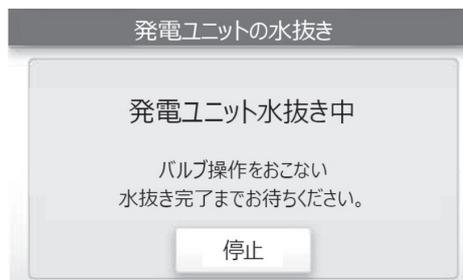
基本操作の説明

※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[停止]を押すと⑥に移行します。



タンク内部
温度冷却後

⑥タンク内水温が下がりましたので、11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をしてください。



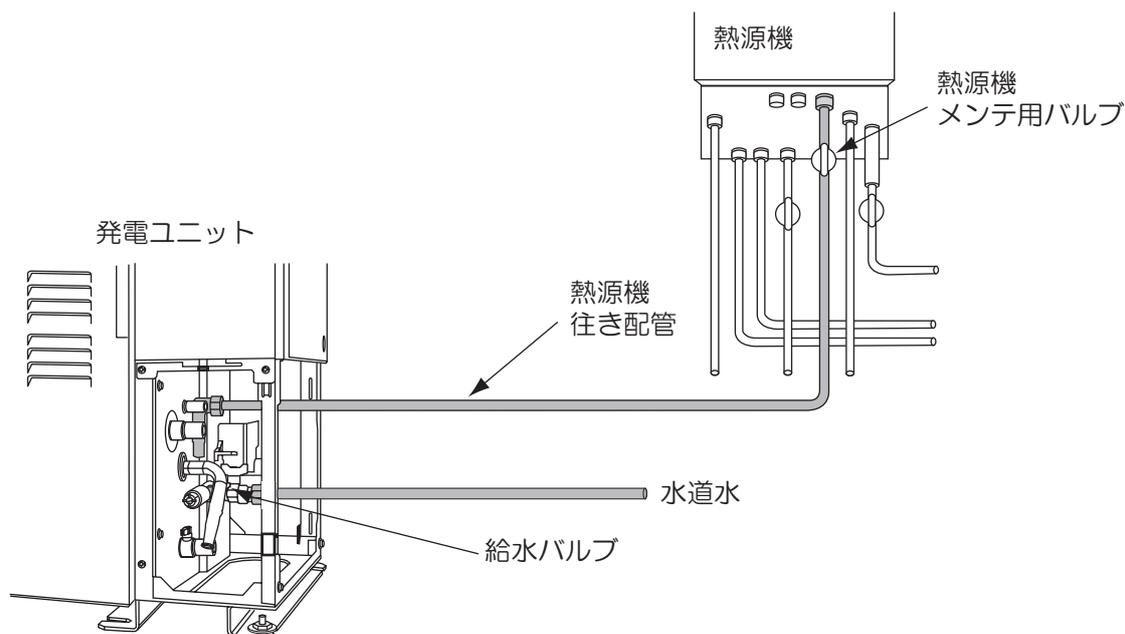
水抜きが完了すると、トップ画面に自動的に移行します。

※30分経過しても水抜きが終了しない場合は、[停止]を押して水抜きを停止し、A～Fのバルブまたはプラグが開いていることを確認後、再度①より実施してください。

⑦下記バルブの操作をしてください。

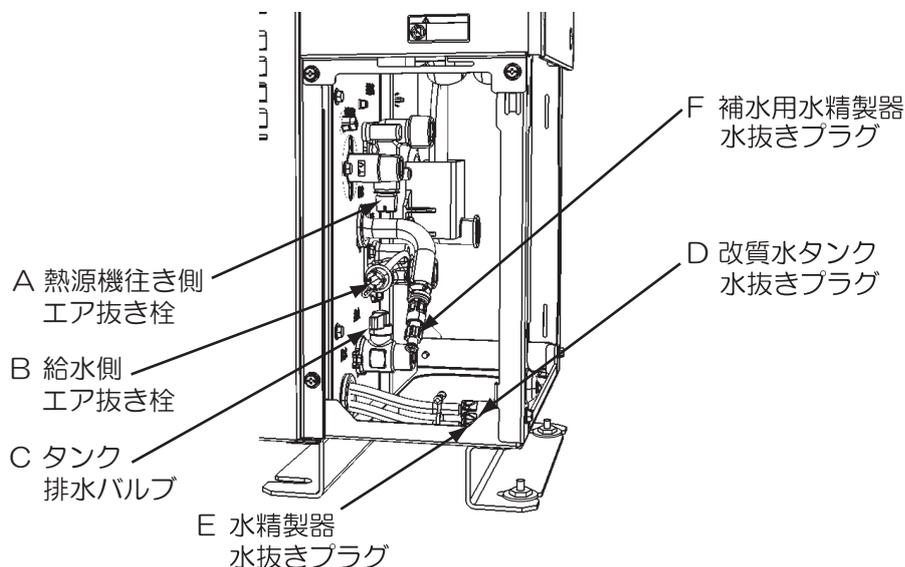
- ・ 給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。

水抜きを停止したい場合は[停止]を押すと、次ページの※1に移行します。



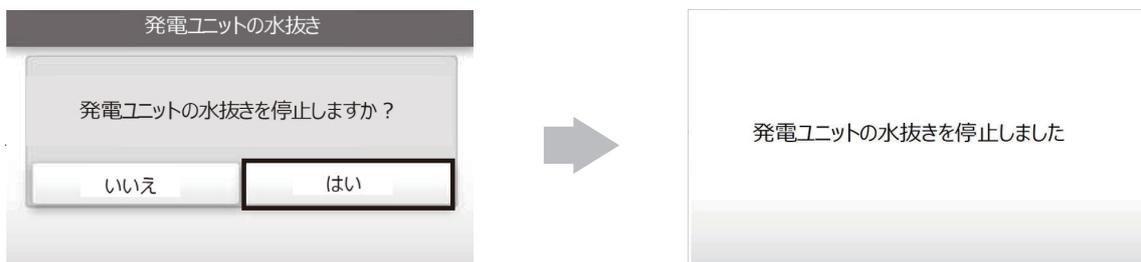
基本操作の説明

- ・Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・B給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



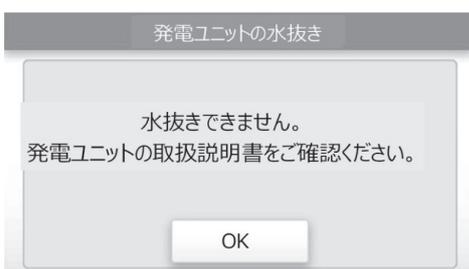
- ⑧D改質水タンク水抜きプラグとE水精製器水抜きプラグ、F補水用水精製器水抜きプラグ計3か所を反時計回りに1回転させ、改質水を抜きます。
(全て排水されるまで、約10分かかります。)
- ⑨リモコンの画面がトップ画面に移行し、タンク排水配管およびD、E、Fの水抜きプラグから水が出なくなったことを確認し、D、E、Fの水抜きプラグを時計回りに回して締めてください。
※30分経過してもトップ画面に移行しない場合は、水抜きを中止し、各バルブ確認後、再度手順①より実施してください。
- ⑩B給水側、A熱源機行き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪発電ユニットと熱源機のガス栓を閉じ、屋内分電盤の専用ブレーカを遮断します。
- ⑫11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※1 水抜き途中停止方法



[いいえ]を押すと前の画面に戻ります。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス供給事業者にご連絡ください。

基本操作の説明

5. 発電ユニットの水張り方法

下記の場合に実施してください。

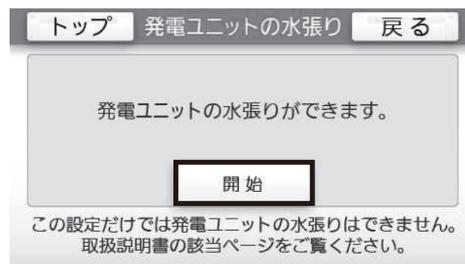
- 断水時に湯（水）を使用された場合
- エラー表示部に[81F01]、[82F01]が表示された場合
- 貯湯タンクを洗浄する場合

- ①リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプが消える）、液晶画面部をタッチする。
- ②トップ画面より[メニュー]を選択してください。
- ③メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。



- ④音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水張り]を選択してください。

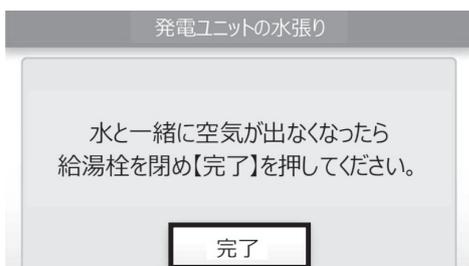
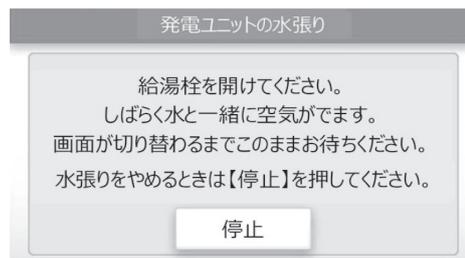
- ⑤[開始]を押してください。



- ⑥11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水バルブ・熱源機メンテ用バルブを開けてください。（20ページ参照）

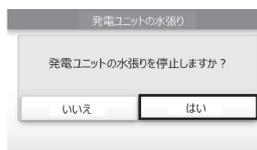
- ⑦給湯栓（給湯蛇口）を開けてください。

- ⑧給湯栓（給湯蛇口）から空気が出なくなったら給湯栓（給湯蛇口）を閉め、[完了]を押してください。



停止する場合

- ①給湯栓（給湯蛇口）を閉めてから、上記画面の[停止]を押してください。
- ②[はい]を押してください。
[いいえ]を押すと前の画面に戻ります。

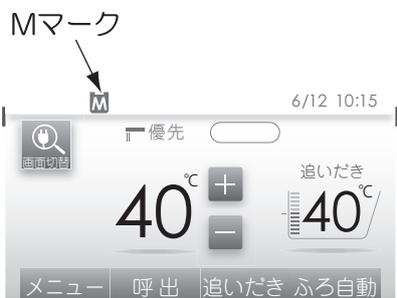


- ⑨11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

運転・停止について

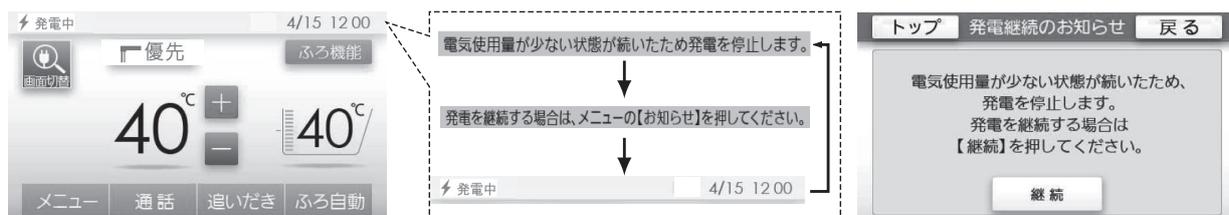
1. 発電ユニットが停止する場合

- ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき（発電停止時にMマークが表示されているとき）



ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、発電ユニットは約26日ごとに24時間停止します。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

- お湯・暖房を10日以上使用しなかったとき
自動的に不在停止となります。
- 機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
- 故障診断をしているとき
リモコンに[セルフチェックを実施しています]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。
- 電気使用量が少ない状態が続いたとき
 - 月末時に当月の電気使用量が少ない場合は、リモコンのお知らせ画面に[電気使用量が少ない状態が続いたため発電を停止します。発電を継続する場合は、メニューの【お知らせ】を押してください]のメッセージが24時間表示され、翌月は自動停止します。
 - 翌月も発電を継続したい場合は、発電継続のお知らせ画面より[継続]を選択してください。



- 停止後発電ユニットを起動したい場合は、発電再開操作（16ページ参照）を実施してください。
- 停止中の電気使用量が多くなった場合は、翌月より自動で再開します。

2. 発電ユニットが発電出力を下げる場合

- 機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため発電出力を自動的に下げる、もしくは停止することがあります。
- ご使用による経年劣化により、ある程度の発電効率・発電出力が低下します。
- 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器保護のために発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。
- センサー診断のため、発電出力を数分間0[W]に下げる場合がありますが、故障ではありません。

運転・停止について

3. 停電の場合

- 発電中に停電した場合（自立運転機能付きをお使いのお客さまの場合）
自立運転機能により発電を継続します。
発電した電気は自立運転専用コンセントより出力します。（停電してから約90秒後に出力開始します。）（28～33ページ参照）
- 発電中に停電した場合（標準モデルをお使いのお客さまの場合）
停電中は、アイドル状態になり、復旧待機しています（最長5時間）。ガス栓、給水バルブは閉めないでください。
※ 復旧後約5分で発電が開始します。また、発電ユニットの状態により停電中に停止する場合があります。
※ アイドリング状態とは、運転をしていますが発電電力を出力していない（0[W]）状態のことです。
- 停電が復旧した場合（自立運転機能付きをお使いのお客さまの場合）
自立運転を終了し、通常運転に自動的に切り替わります。
※ 自立運転専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 待機中・起動中・停止中に停電した場合
停電中は起動しません。

4. 緊急時などガス栓を閉じた場合、屋内分電盤の専用ブレーカを遮断した場合

- 再使用前に、12ページの「ご使用前の確認」を行ってください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

1. 自立運転機能の概要

注意 (自立運転について)

自立運転時は浴槽の排水栓を抜く

自立運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



確認

お願い

自立運転専用コンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、自立運転専用コンセントが必要です。

「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示のあるコンセントが、自立運転専用コンセントです。

断水時は給水・給湯栓を使用しない

自立運転時に断水状態*のまま水やお湯を使用されますと、発電ユニットが異常停止します。

* 断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態

- 発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を継続しますので、発電した電気をご使用いただけます。
- ※ 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。
また、ガスの供給が停止している場合にも発電できません。
- 以下の場合、発電ユニットは停止しています。
 - ・ ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき（発電停止時にMマークが表示されているとき）
ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、約26日ごとに24時間発電ユニットは停止します。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
 - ・ お湯/暖房を10日以上使用しなかったとき
自動的に不在停止となります。
 - ・ 機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため出力を下げるもしくは停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
 - ・ 故障診断しているとき
リモコンに[セルフチェックを実施しています]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。
- 自立運転機能で使用できる電力は最大約700[W]です。
 - ※ 熱源機で使用する電力も含まれますので、実際にご利用できる電力は700[W]よりも少なくなります。
 - 停電時に使用可能な電力は熱源機の消費電力（数十W*1）と合わせて最大で約700[W]です。消費電力の合計が発電電力を超えないように注意してください。
 - *1 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、リモコンの発電電力と消費電力を確認しながらお使いください。
 - 電化製品の種類によっては、一時的に使用できない場合があります。消費電力が発電電力を上回る場合（過負荷）、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止することがあります。
自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止したら、接続していた電化製品をコンセントから取り外し、30ページの「■3-2. 過負荷復帰操作」を行って、再度自立出力を開始してください。
 - 自立運転開始直後は発電ユニットの状態によって、消費電力が700[W]以下の電化製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力を確認してから電化製品のコードをさしてください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

- 自立運転時は自動的に自立運転専用コンセントに電気が供給されます。自立運転専用コンセントには「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに自立運転専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 停電した場合でも 熱源機からのお湯を使用することができます。
- 自立運転中に発電を停止させたい場合は、リモコン操作により[発電禁止]で停止させてください。ただし、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。操作方法は、17ページ「発電ユニットの停止方法」をご参照ください。
- 自立運転中は、発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気出口から多くの湯気が出るがありますが、故障ではありません。
- 断水状態*2時は、使用できる電力を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - 自立コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - 発電ユニットの蓄熱量が多い場合

*2 断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態
- 以下の場合は自立運転を停止する場合があります。
 - 気温が高く発電ユニット内水温が高い場合

※ 停止防止のために貯湯タンクのお湯を利用ください。

2. 停電前に

- あらかじめ計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。
 - 計画停電時にガスマイコンメーターの安全機能確認による発電停止を避けるため、停電予定日の2～3日前に、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。
 - ① リモコンで安全機能確認のための停止までの日数をご確認ください。
 - ② 停電予定期間中に次回停止がある場合：リモコン操作にて、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。停止完了(発電状況表示部の⚡が交互表示され、約10～12時間後⚡は消灯します。(発電状況表示については14ページを参照してください。))後、連続24時間以上停止させてください。その間に全てのガス機器(給湯・床暖房など)を連続で最低70分停止してください。
 - ③ 連続24時間以上経過後に発電停止予定の日数が増えていることを確認し、遅くとも計画停電の4時間前までには発電禁止からの再開操作(15ページ参照)を実施ください。
 - ・ 停電期間中に次回停止がない場合：特に操作は必要ありません。

※ ①および②は、リモコンの取扱説明書(リモコン操作編)をご参照ください。
- 自立運転ができない場合でも、発電ユニットの貯湯タンク内のお湯(水)を、雑用水として利用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

3. 停電時の対応

※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は機器を停止してください。事故の原因となることがあります。

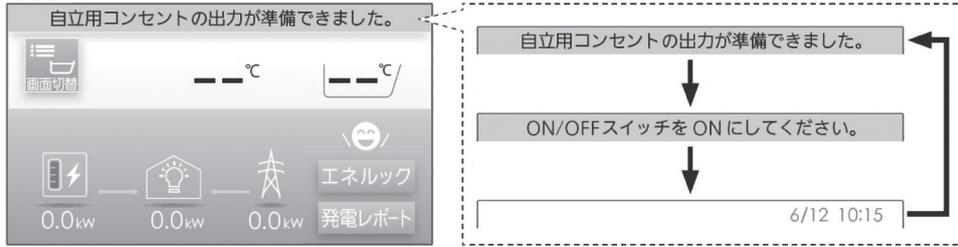
■ 3-1. 停電時に電気を使う

①リモコン表示が下記画面になっていることを確認する

● 停電してから約90秒後*に、下記リモコン画面が表示します。

* お客さまの電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。(最大約10分間)

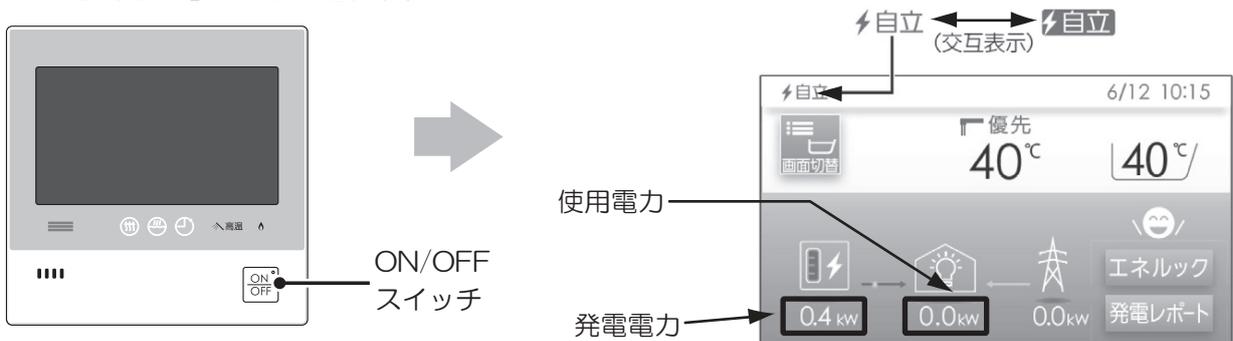
表示例



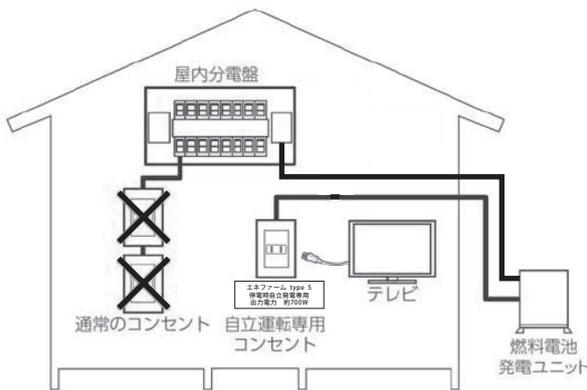
表示されるメッセージに従い対応してください。

②下記操作を実施し[自立]が交互表示していることを確認する

「ON/OFF」スイッチを押す。



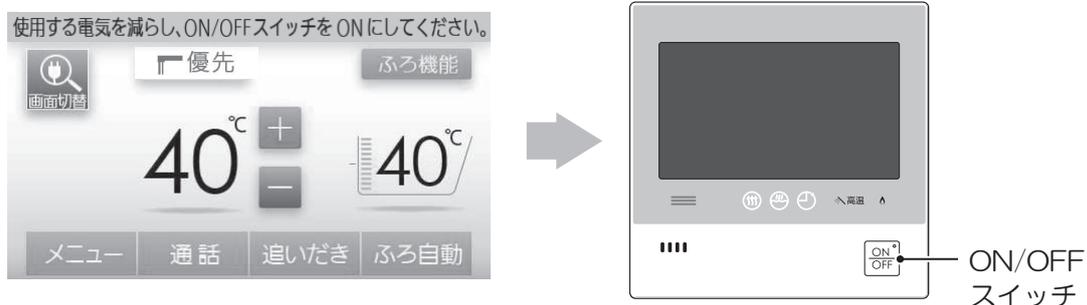
③電化製品の電源プラグを自立運転専用コンセントに差し込む



- 停電時は自立運転専用コンセントしか使うことができません。
- リモコン表示で発電電力表示と使用電力表示を確認しながら自立運転専用コンセントに使用したい電化製品を一つずつ接続してください。
- 使用電力表示が発電電力表示を超えないよう、こまめに確認してください。
- 使用電力が発電電力を上回る場合(過負荷)は、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止します。接続していた電化製品をコンセントから取り外し、リモコン画面のメッセージに従って操作をしてください。

■ 3-2. 過負荷復帰操作

「ON/OFF」スイッチでOFF-ONする。



停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

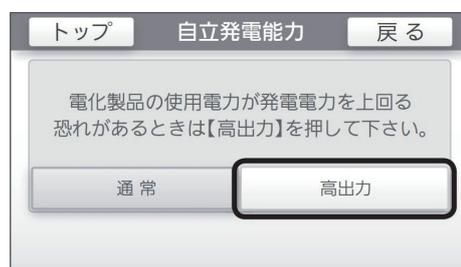
■ 3-3. 自立発電電力を上げたいとき

- 自立発電中、電力消費が少ない状態がしばらく続くと自立出力を下げる場合があります。使用電力の大きい(ただし合計しても700[W]を超えない)電化製品を使用されるときは、下記手順で高出力モードに切り替えてください。
 - ※ ガスマイコンメーター確認マーク(Mマーク)が表示(約6分間)されている場合は、高出力モードの設定はできません。
 - ※ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は[自立発電能力]を押す。
([自立発電能力]は、高出力発電が可能なお客さまのみ表示されます。)



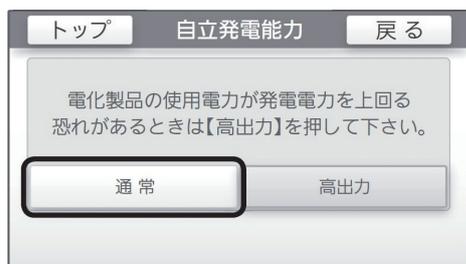
② [高出力]を押す。



③ 左上部の文字が、[自立・高]に変わります。



- 高出力設定を通常に戻す場合
②の画面で[通常]を押します。



※ 通常モードに戻し忘れた場合は使用電力低下から約3分後に自動的に通常モードに戻ります。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

⚠ 注意

自立運転時は浴槽の排水栓を抜く

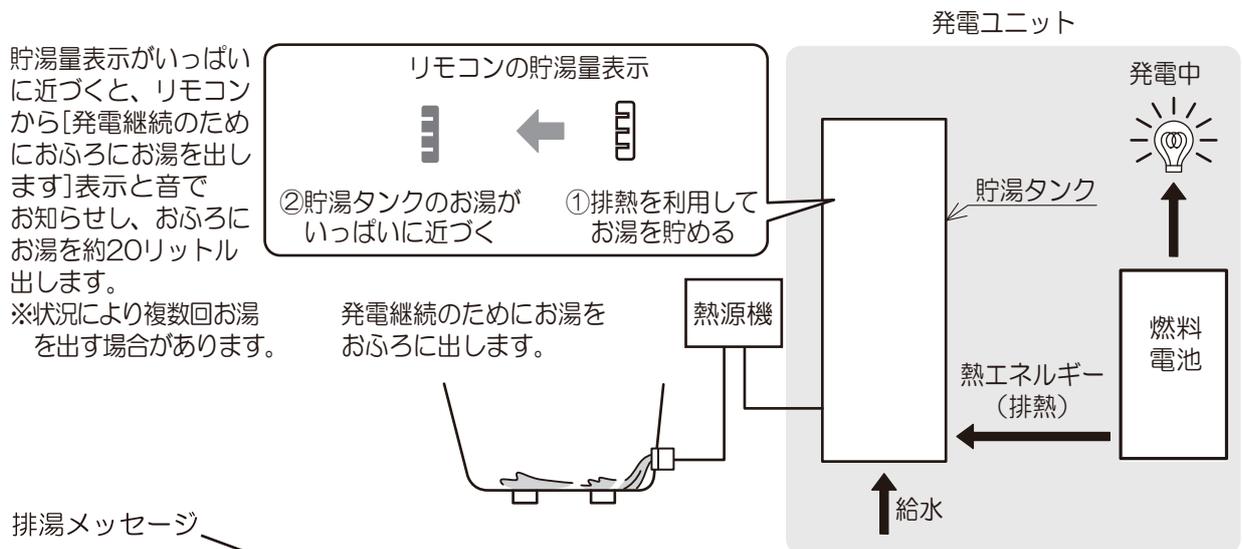
自立運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



■ 3-4. 排湯について

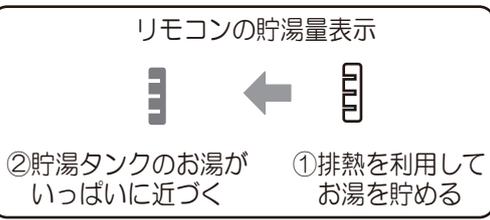
自立運転中は運転を継続するために排湯機能*により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。

* 排湯機能とは…貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、リモコンの表示と音でお知らせした後、自動でお風呂にお湯を出します。



貯湯量表示がいっぱいに近づく、リモコンから「発電継続のためにお風呂にお湯を出します」表示と音でお知らせし、お風呂にお湯を約20リットル出します。

※状況により複数回お湯を出す場合があります。



発電継続のためにお湯をお風呂に出します。

排湯メッセージ



排湯アナウンス

リモコンから表示と音でお知らせ

排湯機能に関するお知らせ事項

- お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 排湯を停止したい場合は、下記リモコン操作をしてください。発電を続けるために繰り返し排湯を行うことがあります。

①給湯トップ画面で「ふろ機能」を選択する。

②「たし湯」を選択する。



停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

⚠ 警告

自立運転専用コンセントには以下の機器を接続しない

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器には接続しないでください。

- ・ 全ての医療機器
- ・ 灯油を用いた暖房機器
- ・ 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・ バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- ・ 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・ その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- ・ 最大電力が700[W]以上になる機器

運転ごしんじ
リモコンA(ノーリット)

4. 主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に700[W]を上回る電力負荷がかかるため、消費電力にかかわらず使用できないことがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません。)

製品名	消費電力の目安 (W)	製品名	消費電力の目安 (W)
携帯の充電器	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒータ	30
扇風機	40	ノートPC	75
液晶テレビ32型	150		
熱源機の暖房運転	180	熱源機の凍結防止運転	250
電気炊飯器	1100	ヘアードライヤ	1200

⇒ご使用できません

リモコンの操作説明

ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について説明いたします。
その他のリモコンの詳細機能についてはリモコンの取扱説明書（リモコン操作編）を参照してください。

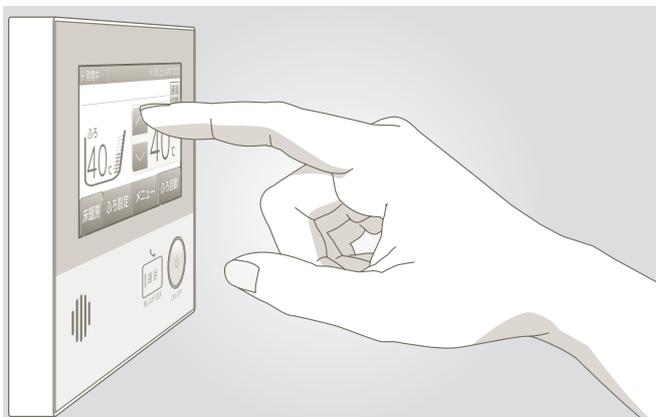
1. 各部のなまえとはたらき（台所リモコン）



- ①「ON/OFF」スイッチ・ランプ
 - ・給湯器の運転「ON」「OFF」の操作に使用します。
 - 「ON」でランプが点灯します。
 - ・画面を表示させたり消したりするときに使用します。
- ②スピーカー

2. 表示画面（タッチパネル）の操作の基本

- このリモコンの表示画面は、指で押すとスイッチ操作ができます。
- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度力で確実に押してください。



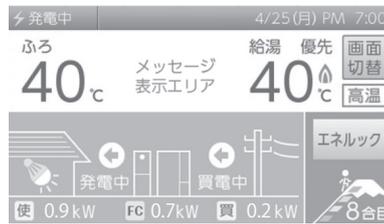
※ 説明中のリモコン表示画面は一例です。

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

リモコンの操作説明



給湯トップ画面



エネルギートップ画面

3. 発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

⚡ 発電中	
⚡ (点灯)	発電しています。
表示部が回転	起動中(発電準備中)です。
⊖	発電停止の動作中です。
↓	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電ユニットは停止しています。 ^{※1}
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。

※1 電気使用量が少ない状態が続くと、発電が停止するしくみになっています。

表示	状態	
発電中	発電しています。	
起動中	起動中(発電準備中)です。	
停止中	発電停止の動作中です。	
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。	
⊘ 禁発電	発電を強制的に禁止しています。	
⊗ 発電	発電ユニットが使用できない場合に表示します。	
逆潮流の場合	電圧抑制 ^{※2}	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
	売電中	発電した電力を売電しています。
自立運転機能付の場合	自立	自立運転しています。
	自立・高	高出力モード(51ページ)で自立運転しています。

※2 自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

4. 発電モードマークの見かた

🔄	タンクリフレッシュ 運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。	
M	ガスマイコン メーター 確認マーク (Mマーク)	M 発電中	ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
		M 自立	
		M のみ	<ul style="list-style-type: none"> ●この表示が出ている間(約24時間)は、ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、発電ユニットは停止しています。 ●この表示が出た場合、午後7時から午後1時までの間にガス機器(給湯・床暖房など)を連続で70分間以上ご使用を停止してください。連続で70分間以上停止いただけなかった場合、リモコン上に「Mマーク」に加えて[01900]を表示し、停止を継続します。この場合、94ページ「故障・異常かな?と思ったら」を参照し、処置を行ってください。))
❄️	凍結予防マーク	機器は凍結予防のために自動的に凍結予防運転をします。その動作中に表示されます。	

基本操作の説明

1. 発電ユニットの起動方法

起動には約3~4時間かかります。(時間は気温によって異なります。)

■ 1-1. 発電禁止からの再開 (38ページ「■ 2-1」(発電禁止)で停止させた場合)

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



② メニュー画面より[発電]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[発電禁止]を選択してください。



④ 発電禁止設定画面より[発電許可]を選択してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

■ 1-2. 不在停止からの再開 (39ページ「■ 2-2」(不在停止)で停止させた場合)

下記いずれかの方法で再開します。

- ・リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作をする。
- ・不在停止設定後5時間以上経過している場合は、リモコンの液晶画面をタッチする。
- ・不在停止設定後5時間未満の場合は、メニュー画面から再開操作をする。

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



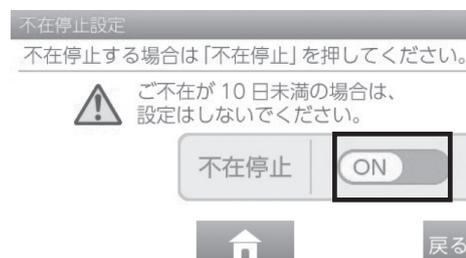
② メニュー画面より[発電]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[不在停止]を選択してください。



④ 不在停止設定画面より[ON]を押してください。



表示が[OFF]に変わり発電ユニットが起動をはじめます。

基本操作の説明

■ 1-3. 発電再開からの再開

(46ページ「■ 電気使用量が少ない状態が続いたとき」で停止している場合)

① トップ画面より[メニュー]を選択してください



② メニュー画面より[発電]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[発電再開]を選択してください。



④ 下記の画面を5秒程度表示します。



トップ画面に移行し、発電ユニットが起動をはじめます。

■ 1-4. 発電の継続

① トップ画面より[メニュー]を選択してください



② メニュー画面より[発電]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[発電継続]を選択してください。



④ 下記の画面を5秒程度表示します。



トップ画面に移行し、翌月も発電を継続します。

運転について
リモコンB(パーパス)

基本操作の説明

2. 発電ユニットの停止方法

機器を保護するために発電停止の動作（「停止中」表示）を約10～12時間行ってから停止します。
（時間は気温によって異なります）停止動作中に起動操作を行った場合停止動作完了後、起動します。

※ お客さま操作により、頻繁に起動・停止（不在停止等）を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、発電禁止と不在停止機能のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

■ 2-1 機器の水抜きをするときなど、発電を停止させたいときの停止方法（発電禁止）

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



② メニュー画面より[発電]を選択してください。



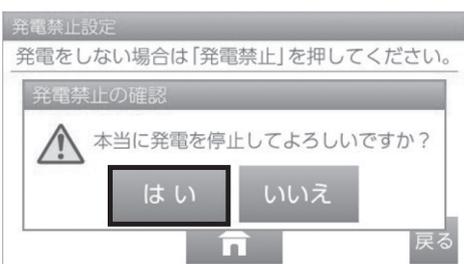
③ 発電メニュー画面より[発電禁止]を選択してください。



④ 発電禁止設定画面より[発電禁止]を選択してください。



⑤ [はい]を選択してください。



基本操作の説明

■ 2-2 10日以上家をあけるなど、全ての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止したいときの停止方法（不在停止）

※ 1か月以上の長期不在時には、この方法に加えて水抜きが必要です。42ページを参考に水抜き操作をしてください。

※ 10日以上、お湯と暖房を使用しない状態が続くと、自動的に不在停止が[ON]になります。

※ 給湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照ください。

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



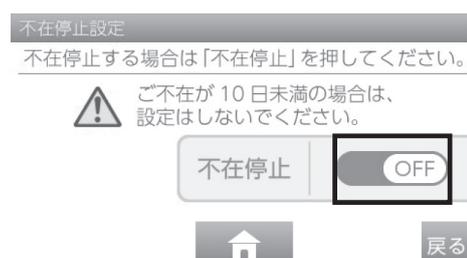
② メニュー画面より[発電]を選択してください。



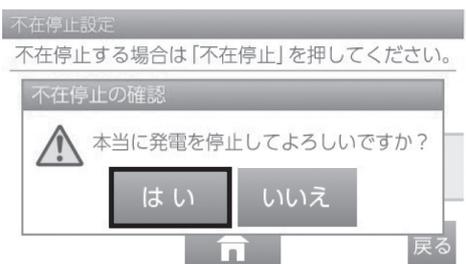
③ 発電メニュー画面より[不在停止]を選択してください。



④ 不在停止設定画面より[OFF]を押してください。



⑤ [はい]を選択してください。



⑥ 液晶画面が消え、「ON/OFF」スイッチのランプが消灯します。

※ 不在停止設定を[ON]にした後、リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作、または5時間経過後はリモコンの液晶画面を押すことにより不在停止が解除されます。

※ 不在停止設定を[ON]にした後、熱源機による暖房を使用されると、不在停止が解除されます。

基本操作の説明

3. 発電ユニットの貯湯タンク洗浄のための水抜き方法

※ 貯湯タンク洗浄には水抜きが必要となります。

※ この操作開始後水張り（45ページ参照）完了までは、熱源機を使用することはできません。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



高温注意 禁止

水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



高温注意 禁止

※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑦）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑧～⑨）を行ってください。

① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプが消える）、液晶画面部をタッチする。

② トップ画面より[メニュー]を選択してください。

③ メニュー画面より[メンテナンス]を選択してください。



④ メンテナンス画面より[発電ユニット水抜き]を選択してください。

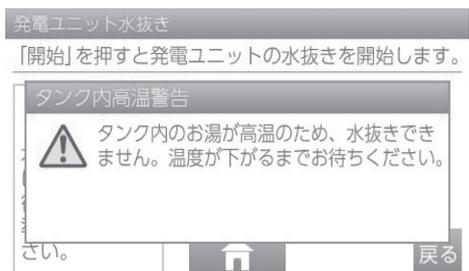
⑤ [開始]を押してください。



タンク内
高温時

※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。

※ [中止]を押すとトップ画面に移行します。



※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。



5秒後

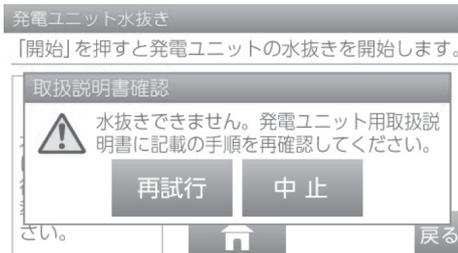
基本操作の説明

- ⑥タンク内水温が下がりましたのでリモコンによる水抜きを中止してください。



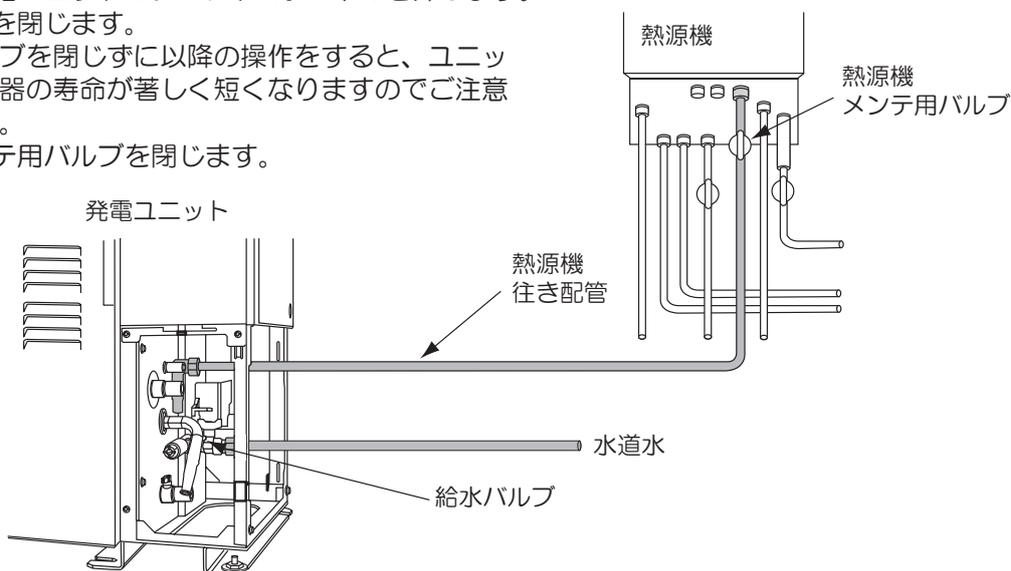
タンク内部
温度冷却後

- ※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合

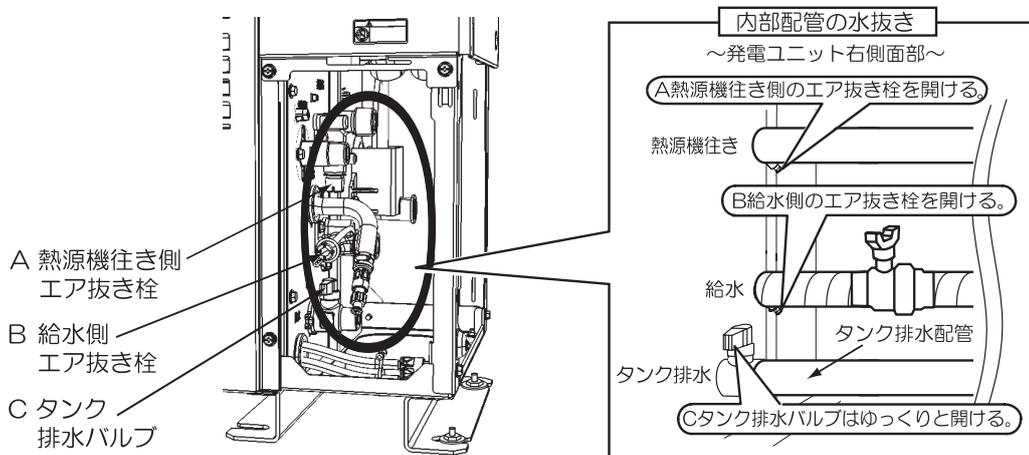


水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- ⑦自動的にトップ画面に切り替わります。
 ⑧トップ画面移行後次の操作をしてください。
 ・ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外します。
 ・ 給水バルブを閉じます。
 ※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
 ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
 ・ A熱源機往き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
 ・ B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



- ⑨タンク排水配管より湯（水）が出なくなったら、B給水側、A熱源機往き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
 ⑩11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

リモコンB（パーパス）
運転について

基本操作の説明

4. 長期間使用しない場合の発電ユニットの水抜き方法

- 旅行等のため、10日以上使用しないときは、リモコンで[不在停止]にし、発電ユニットを停止させてください。（手順は39ページを参照ください。）
- 1か月以上不在にされる場合もしくは1か月未満でも電源が確保できないことに加えて凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）は、下記の発電ユニット水抜き方法に従い水抜きを実施してください。水抜きをしないと故障の原因となります。また、熱源機の水抜きも必ず実施してください。手順は熱源機の取扱説明書をご参照ください。
- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス会社または販売店にご連絡ください。
- 引越しをされる場合は、その2～3日前までにガス会社または販売店にご連絡ください。
- 水抜きを実施する場合は、前日までに発電禁止による停止操作を行ってください。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑥）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑦～⑩）を行ってください。

- ① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消える）、液晶画面部を押す。
- ② トップ画面より[メニュー]を選択してください。
- ③ メニュー画面より[メンテナンス]を選択してください。



- ④ メンテナンス画面より[発電ユニット水抜き]を選択してください。



- ⑤ [開始]を押してください。

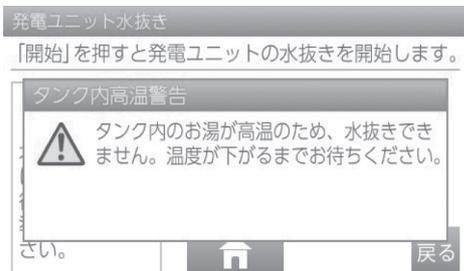


タンク内
高温時

※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

基本操作の説明

※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。



タンク内部
温度冷却後

水抜きが完了すると、トップ画面に自動的に移行します。

※ 30分経過しても水抜きが終了しない場合は、[中止]を押して水抜きを停止し、A～Fのバルブまたはプラグが開いていることを確認後、再度①より実施してください。

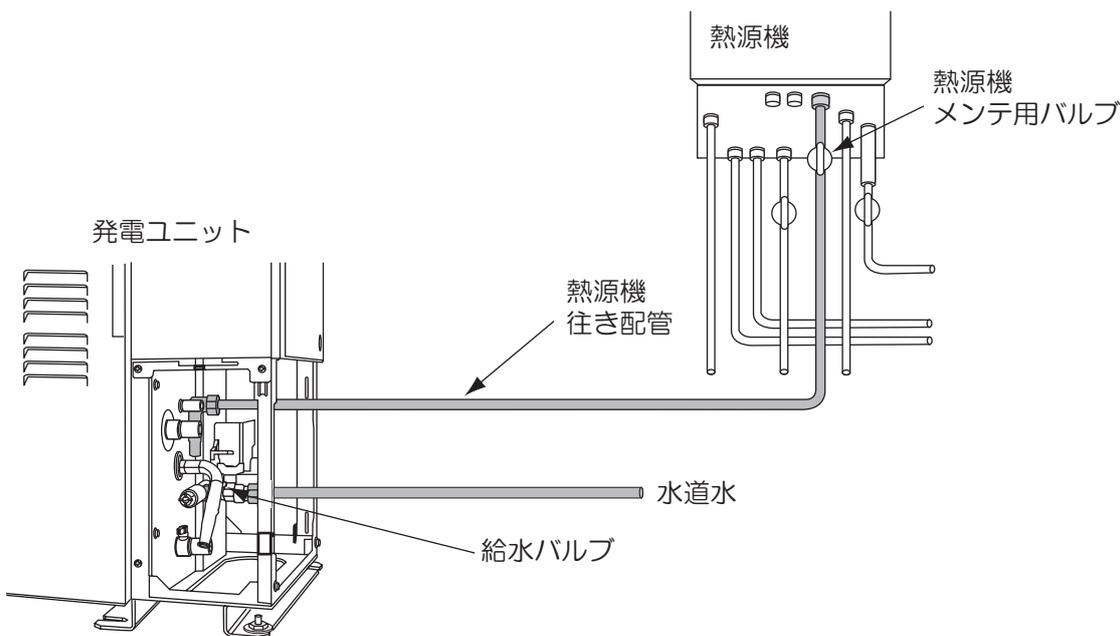
⑦下記バルブの操作をしてください。

- ・ 給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。

⑥タンク内水温が下がりましたので、11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をしてください。

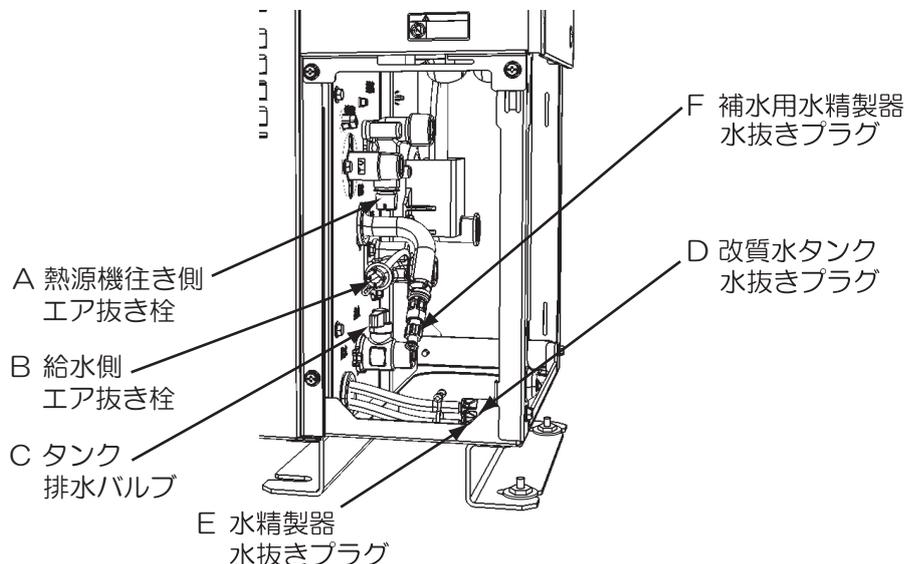


水抜きを停止したい場合は[中止]を押すと、次ページ※1に移行します。



基本操作の説明

- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・ A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・ B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



⑧D改質水タンク水抜きプラグとE水精製器水抜きプラグ、F補水用水精製器水抜きプラグ計3か所を反時計回りに1回転させ、改質水を抜きます。

(全て排水されるまで、約10分かかります。)

⑨リモコンの画面がトップ画面に移行し、タンク排水配管およびD、E、Fの水抜きプラグから水が出なくなったことを確認し、D、E、Fの水抜きプラグを時計回りに回して締めてください。

※30分経過してもトップ画面に移行しない場合は、水抜きを中止し、各バルブ確認後、再度手順①より実施してください。

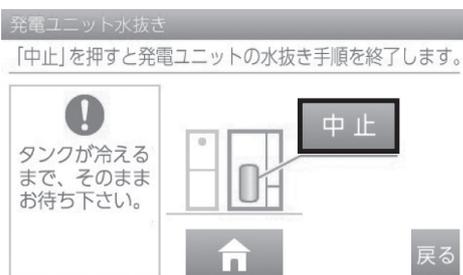
⑩B給水側、A熱源機行きのエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。

⑪発電ユニットと熱源機のカス栓を閉じ、屋内分電盤の専用ブレーカを遮断します。

⑫11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

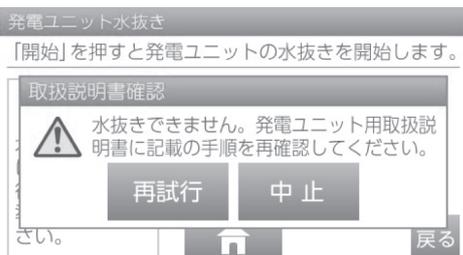
※1 水抜き途中停止方法

[中止]を押してください。



トップ画面に移行します。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス供給事業者にご連絡ください。

基本操作の説明

5. 発電ユニットの水張り方法

下記の場合に実施してください。

- 断水時に湯（水）を使用された場合
- エラー表示部に[81F01]、[82F01]が表示された場合
- 貯湯タンクを洗浄する場合

- ① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプが消える）、液晶画面部をタッチする。
- ② トップ画面より[メニュー]を選択してください。
- ③ メニュー画面より[メンテナンス]を選択してください。



- ④ メンテナンス画面より[発電ユニット水張り]を選択してください。

- ⑤ [開始]を押してください。



- ⑥ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水バルブ・熱源機メンテ用バルブを開けてください。（43ページ参照）

- ⑦ 給湯栓（給湯蛇口）を開けてください。

- ⑧ 空気が出なくなったら給湯栓（給湯蛇口）を閉め、[確認]を押してください。

- 停止する場合
- ① 給湯栓（給湯蛇口）を閉めてから、[中止]を押してください。
[戻る]を押すと前の画面に戻ります。



- ⑨ 11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

リモコンB（パーパス）
運転について

運転・停止について

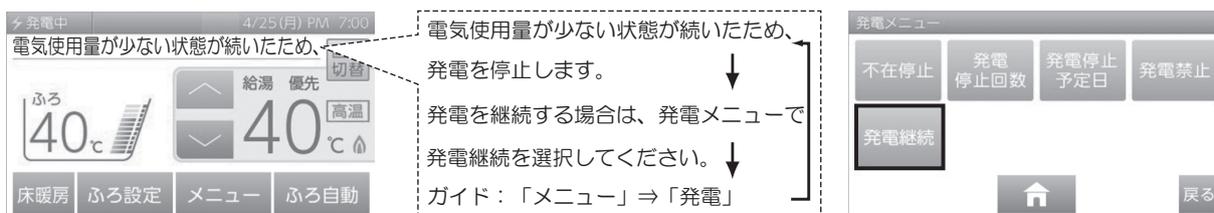
1. 発電ユニットが停止する場合

- ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき（発電停止時にMマークが表示されているとき）



ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、発電ユニットは約26日ごとに24時間停止します。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

- お湯・暖房を10日以上使用しなかったとき自動的に不在停止となります。
- 機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
- 故障診断をしているとき
リモコンに[発電ユニットセルフチェック実施中]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。
- 電気使用量が少ない状態が続いたとき
 - 月末時に当月の電気使用量が少ない場合は、リモコンのお知らせ画面に[電気使用量が少ない状態が続いたため、発電を停止します。発電を継続する場合は、発電メニューで発電継続を選択してください。ガイド：「メニュー」⇒「発電」]が24時間表示され、翌月は自動停止します。
 - 翌月も発電を継続したい場合は、発電メニュー画面より[発電継続]を選択してください。



- 停止後発電ユニットを起動したい場合は、発電再開操作（37ページ参照）を実施してください。
- 停止中の電気使用量が多くなった場合は、翌月より自動で再起動します。

2. 発電ユニットが発電出力を下げる場合

- 機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため発電出力を自動的に下げる、もしくは停止することがあります。
- ご使用による経年劣化により、ある程度の発電効率・発電出力が低下します。
- 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器保護のために発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。
- センサ診断のため、発電出力を数分間0[W]に下げる場合がありますが、故障ではありません。

運転・停止について

3. 停電の場合

- 発電中に停電した場合（自立運転機能付きをお使いのお客さまの場合）
自立運転機能により発電を継続します。
発電した電気は自立運転専用コンセントより出力します。（停電してから約90秒後に出力開始します。）
（48～53ページ参照）
- 発電中に停電した場合（標準モデルをお使いのお客さまの場合）
停電中は、アイドル状態になり、復旧待機しています（最長5時間）。ガス栓、給水バルブは閉めないでください。
※ 復旧後約5分で発電が開始します。また、発電ユニットの状態により停電中に停止する場合があります。
※ アイドリング状態とは、運転をしていますが発電電力を出力していない（O[W]）状態のことです。
- 停電が復旧した場合（自立運転機能付きをお使いのお客さまの場合）
自立運転を終了し、通常運転に自動的に切り替わります。
※ 自立運転専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 待機中・起動中・停止中に停電した場合
停電中は起動しません。

4. 緊急時などガス栓を閉じた場合、屋内分電盤の専用ブレーカを遮断した場合

- 再使用前に、12ページの「ご使用前の確認」を行ってください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

1. 自立運転機能の概要

注意 (自立運転について)

自立運転時は浴槽の排水栓を抜く

自立運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



確認

お願い

自立運転専用コンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、自立運転専用コンセントが必要です。

「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示のあるコンセントが、自立運転専用コンセントです。

断水時は給水・給湯栓を使用しない

自立運転時に断水状態*のまま水やお湯を使用されますと、発電ユニットが異常停止します。

*断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態

- 発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を継続しますので、発電した電気をご使用いただけます。
 - ※ 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、ガスの供給が停止している場合にも発電できません。
 - 以下の場合、発電ユニットは停止しています。
 - ・ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき（発電停止時にMマークが表示されているとき）
ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、約26日ごとに24時間発電ユニットは停止します。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
 - ・お湯/暖房を10日以上使用しなかったとき
自動的に不在停止となります。
 - ・機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため出力を下げるもしくは停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運
 - ・故障診断しているとき
リモコンに[発電ユニットセルフチェック実施中]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。
- 自立運転機能で使用できる電力は最大約700[W]です。
 - ※ 熱源機で使用する電力も含まれますので、実際にご利用できる電力は700[W]よりも少なくなります。
 - 停電時に使用可能な電力は熱源機の消費電力（数十W*1）と合わせて最大で約700[W]です。消費電力の合計が発電電力を超えないように注意してください。
 - *1 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、リモコンの発電電力と消費電力を確認しながらお使いください。
 - 電化製品の種類によっては、一時的に使用できない場合があります。消費電力が発電電力を上回る場合（過負荷）、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止することがあります。自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止したら、接続していた電化製品をコンセントから取り外し、50ページの「■3-2. 過負荷復帰操作」を行って、再度自立出力を開始してください。
 - 自立運転開始直後は発電ユニットの状態によって、消費電力が700[W]以下の電化製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力を確認してから電化製品のコードをさしてください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

- 自立運転時は自動的に自立運転専用コンセントに電気が供給されます。自立運転専用コンセントには「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに自立運転専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 停電した場合でも 熱源機からのお湯を使用することができます。
- 自立運転中に発電を停止させたい場合は、リモコン操作により[発電禁止]で停止させてください。ただし、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。操作方法は、38ページ「発電ユニットの停止方法」をご参照ください。
- 自立運転中は、発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気出口から多くの湯気が出るがありますが、故障ではありません。
- 断水状態*2時は、使用できる電力を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - 自立コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - 発電ユニットの蓄熱量が多い場合

*2 断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態
- 以下の場合は自立運転を停止する場合があります。
 - 気温が高く発電ユニット内水温が高い場合

※ 停止防止のために貯湯タンクのお湯を利用ください。

2. 停電前に

- あらかじめ計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。
 - 計画停電時にガスマイコンメーターの安全機能確認による発電停止を避けるため、停電予定日の2～3日前に、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。
 - ① リモコンで安全機能確認のための停止までの日数をご確認ください。
 - ② ・ 停電予定期間中に次回停止がある場合：リモコン操作にて、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。(発電状況表示部の⚡が交互表示され、約10～12時間後⚡が消灯してから、連続24時間以上停止させてください。発電状況表示については35ページを参照してください。)その間に全てのガス機器(給湯・床暖房など)を連続で最低70分停止してください。遅くとも計画停電の4時間前までには発電禁止からの再開操作(36ページ参照)を実施ください。
 - ・ 停電期間中に次回停止がない場合：特に操作は必要ありません。

※ ①および②は、リモコンの取扱説明書(リモコン操作編)をご参照ください。
- 自立運転ができない場合でも、発電ユニットの貯湯タンク内のお湯(水)を、雑用水として利用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

3. 停電時の対応

※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は機器を停止してください。事故の原因となることがあります。

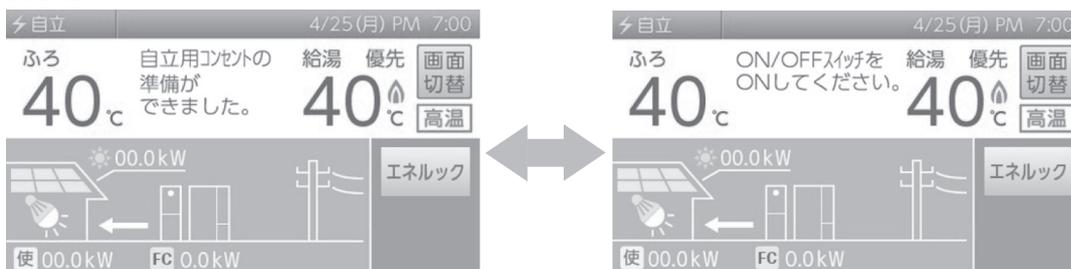
■ 3-1. 停電時に電気を使う

① リモコン表示が下記画面になっていることを確認する

● 停電してから約90秒後*に、下記リモコン画面が表示します。

* お客さまの電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。(最大約10分間)

表示例



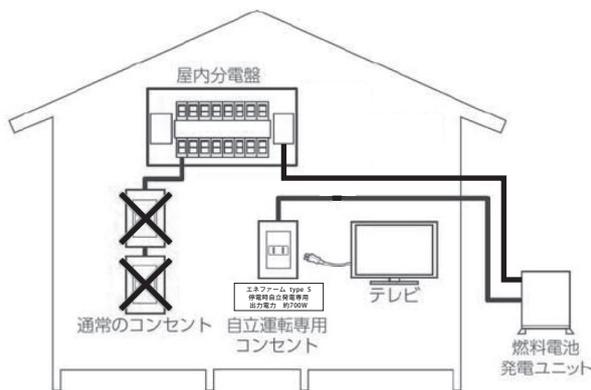
表示されるメッセージに従い対応してください。

② 下記操作を実施し、メッセージ表示が消えたことを確認する

「ON/OFF」スイッチを押す。



③ 電化製品の電源プラグを自立運転専用コンセントに差し込む



- 停電時は自立運転専用コンセントしか使うことができません。
- リモコン表示で発電電力表示と使用電力表示を確認しながら自立運転専用コンセントに使用したい電化製品を一つずつ接続してください。
- 使用電力表示が発電電力表示を超えないよう、こまめに確認してください。
- 使用電力が発電電力を上回る場合(過負荷)は、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止します。接続していた電化製品をコンセントから取り外し、リモコン画面のメッセージに従って操作をしてください。

■ 3-2. 過負荷復帰操作

「ON/OFF」スイッチでOFF-ONする。



停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

■ 3-3. 自立発電電力を上げたいとき

● 自立発電中、電力消費が少ない状態がしばらく続くと自立出力を下げる場合があります。使用電力の大きい(ただし合計しても700[W]を超えない)電化製品を使用される場合は、下記手順で高出力モードに切り替えてください。

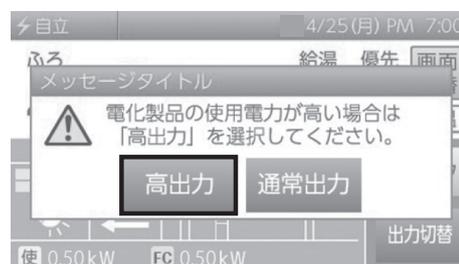
※ ガスマイコンメーター確認マーク(Mマーク)が表示(約6分間)されている場合は、高出力モードの設定はできません。

※ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は[出力切替]を選択します。(「出力切替」は、高出力発電が可能なおきのみ表示されます。)



② [高出力]を選択します。

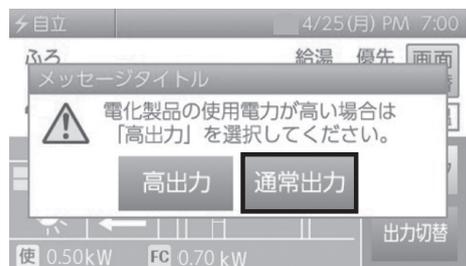


③ 左上部の文字が、[自立・高]に変わります。



● 高出力設定を通常に戻す場合

②の画面で[通常出力]を選択します。



※ 通常モードに戻し忘れた場合は使用電力低下から約3分後に自動的に通常モードに戻ります。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

⚠ 注意

自立運転時は浴槽の排水栓を抜く

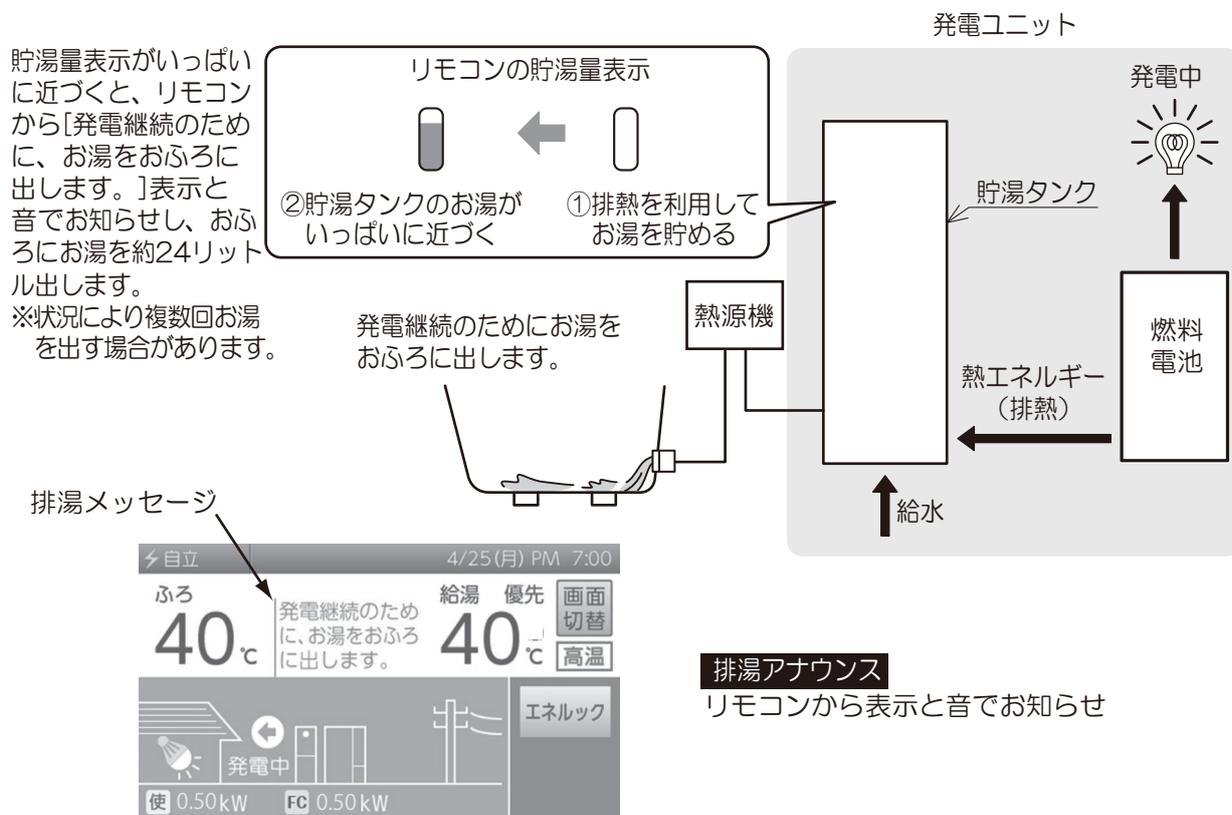
自立運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



■ 3-4. 排湯について

自立運転中は運転を継続するために排湯機能*により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。

* 排湯機能とは…貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、リモコンの表示と音でお知らせした後、自動でお風呂にお湯を出します。



排湯機能に関するお知らせ事項

- お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

⚠ 警告

自立運転専用コンセントには以下の機器を接続しない

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器には接続しないでください。

- ・ 全ての医療機器
- ・ 灯油を用いた暖房機器
- ・ 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・ バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- ・ 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・ その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- ・ 最大電力が700[W]以上になる機器

運転について
リモコンB(パーパス)

4. 主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に700[W]を上回る電力負荷がかかるため、消費電力にかかわらず使用できないことがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません。)

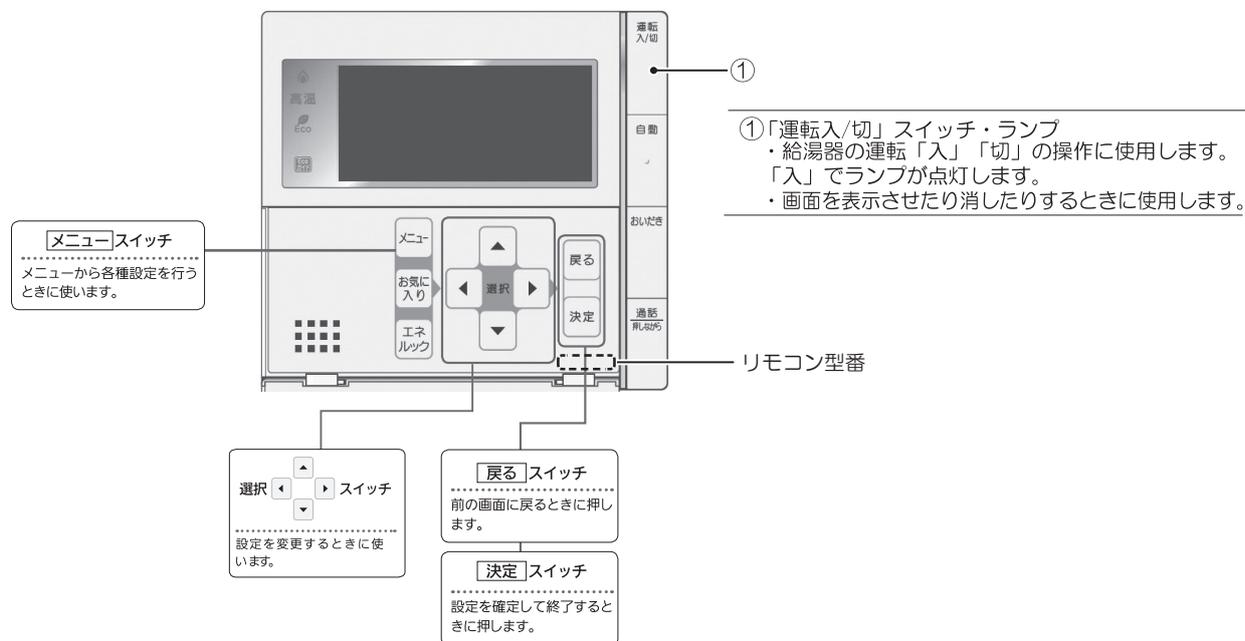
製品名	消費電力の目安 (W)	製品名	消費電力の目安 (W)
携帯の充電器	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒータ	30
扇風機	40	ノートPC	75
液晶テレビ32型	150		
熱源機の暖房運転	180	熱源機の凍結防止運転	250
電気炊飯器	1100	ヘアードライヤ	1200

⇒ご使用できません

リモコンの操作説明

ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について説明いたします。
その他のリモコンの詳細機能についてはリモコンの取扱説明書（リモコン操作編）を参照してください。

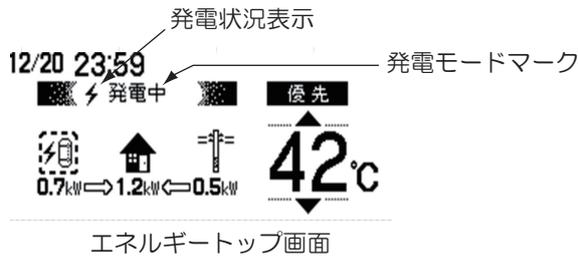
1. 各部のなまえとはたらき（台所リモコン）



※ 説明中のリモコン表示画面は一例です。

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

リモコンの操作説明



2. 発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

	発電しています。
	起動中(発電準備中)です。
 (交互表示)	発電停止の動作中です。
 (交互表示)	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電停止の動作中です。 ^{※1}
	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電ユニットは停止しています。 ^{※1}
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。

※1 電気使用量が少ない状態が続くと、発電が停止するしくみになっています。

表示	状態	
発電中	発電しています。	
起動中	起動中(発電準備中)です。	
停止中	発電停止の動作中です。	
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。	
発電禁止	発電を強制的に禁止しています。	
発電×	発電ユニットが使用できない場合に表示します。	
逆流流の場合	電圧抑制 ^{※2}	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
	売電中	発電した電力を売電しています。
自立運転機能付の場合	自立 ↔ 自立 (交互表示)	自立運転しています。
	自立・高 ↔ 自立・高 (交互表示)	高出力モード(71ページ)で自立運転しています。

※2 自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

3. 発電モードマークの見かた

	タンクリフレッシュ 運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。	
	ガスマイコン メーター 確認マーク (Mマーク)	発電中	ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
		自立	
		のみ	<ul style="list-style-type: none"> ●この表示が出ている間(約24時間)は、ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、発電ユニットは停止しています。 ●この表示が出た場合、午後7時から午後1時までの間にガス機器(給湯・床暖房など)を連続で70分間以上ご使用を停止してください。連続で70分間以上停止いただけなかった場合、リモコン上に「Mマーク」に加えて[01900]を表示し、停止を継続します。この場合、94ページ「故障・異常かな?と思ったら」を参照し、処置を行ってください。)
	凍結予防マーク	機器は凍結予防のために自動的に凍結予防運転をします。その動作中に表示されます。	

運転モード
リモコン(C) (オンチャイム)

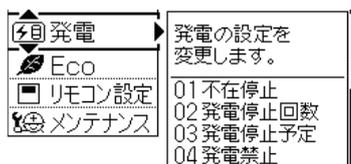
基本操作の説明

1. 発電ユニットの起動方法

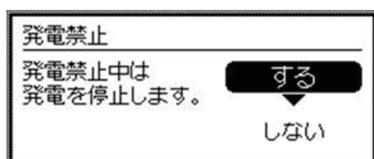
起動には約3~4時間かかります。(時間は気温によって異なります。)

■ 1-1. 発電禁止からの再開 (58ページ「■ 2-1」(発電禁止)で停止させた場合)

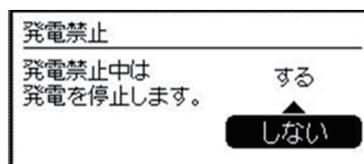
- ① 「メニュー」スイッチを押してください。
- ② ▲または▼で[発電]を選択し、▶または「決定」を押してください。
- ③ ▲または▼で[発電禁止]を選択し、▶または「決定」を押してください。



- ④ ▼を押してください。



- ⑤ 「決定」を押してください。



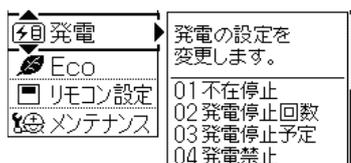
発電ユニットが起動をはじめます。

■ 1-2. 不在停止からの再開 (59ページ「■ 2-2」(不在停止)で停止させた場合)

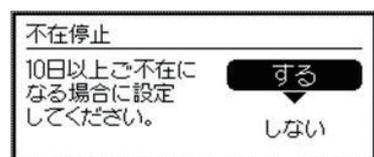
下記いずれかの方法で再開します。

- ・リモコンの「運転入/切」スイッチの「入」操作をする。
- ・不在停止設定後5時間以上経過している場合は、リモコンのスイッチ(全てのスイッチに対応)を押すと、3分後に発電ユニットが起動をはじめます。
- ・不在停止設定後5時間未満の場合は、メニュー画面から再開操作をする。

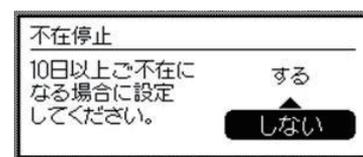
- ① 「メニュー」スイッチを押してください。
- ② ▲または▼で[発電]を選択し、▶または「決定」を押してください。
- ③ ▲または▼で[不在停止]を選択し、▶または「決定」を押してください。



- ④ ▼を押してください。



- ⑤ 「決定」を押してください。



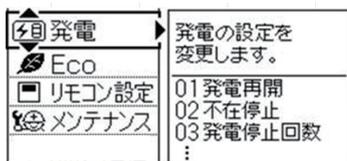
発電ユニットが起動をはじめます。

基本操作の説明

■ 1-3. 発電再開からの再開

(66ページ「■ 電気使用量が少ない状態が続いたとき」で停止している場合)

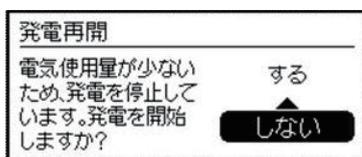
- ① 「メニュー」スイッチを押してください。
- ② ▲または▼で[発電]を選択し、▶または「決定」を押してください。



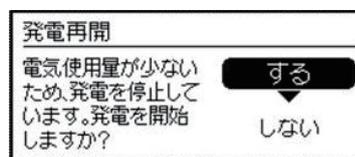
- ③ ▲または▼で[発電再開]を選択し、▶または「決定」を押してください。



- ④ ▲を押してください。



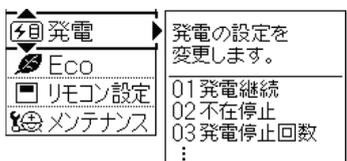
- ⑤ 「決定」を押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

■ 1-4. 発電の継続

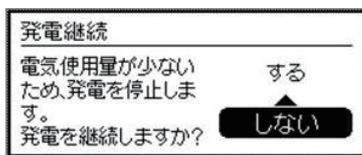
- ① 「メニュー」スイッチを押してください。
- ② ▲または▼で[発電]を選択し、▶または「決定」を押してください。



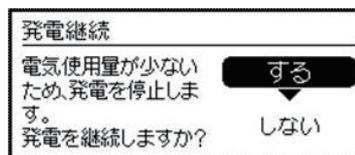
- ③ ▲または▼で[発電継続]を選択し、▶または「決定」を押してください。



- ④ ▲を押してください。



- ⑤ 「決定」を押してください。



リモコン(リシナイ) 運転について

基本操作の説明

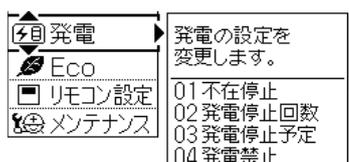
2. 発電ユニットの停止方法

機器を保護するために発電停止の動作（「停止中」表示）を約10～12時間行ってから停止します。
（時間は気温によって異なります。）停止動作中に起動操作を行った場合停止動作完了後、起動します。

※ お客さま操作により、頻繁に起動・停止(不在停止等)を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、発電禁止と不在停止機能のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

■ 2-1 機器の水抜きをするときなど、発電を停止させたいときの停止方法（発電禁止）

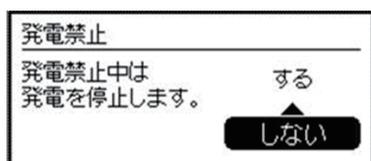
- ① 「メニュー」スイッチを押してください。
- ② ▲または▼で[発電]を選択し、▶または「決定」を押してください。



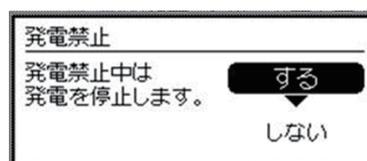
- ③ ▲または▼で[発電禁止]を選択し、▶または「決定」を押してください。



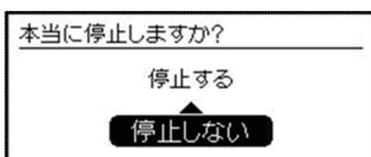
- ④ ▲を押してください。



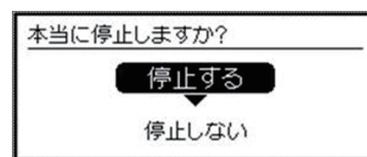
- ⑤ 「決定」を押してください。



- ⑥ ▲を押してください。



- ⑦ 「決定」を押してください。



基本操作の説明

■ 2-2 10日以上家をあけるなど、全ての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止したいときの停止方法（不在停止）

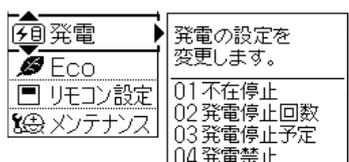
※ 1か月以上の長期不在時には、この方法に加えて水抜きが必要です。62ページを参考に水抜き操作をしてください。

※ 10日以上、お湯と暖房を使用しない状態が続くと、自動的に不在停止が[する]になります。

※ 給湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照ください。

① 「メニュー」スイッチを押してください。

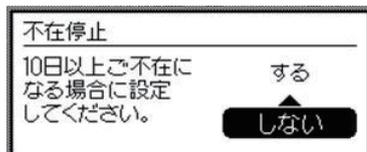
② ▲または▼で[発電]を選択し、▶または「決定」を押してください。



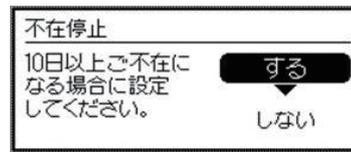
③ ▲または▼で[不在停止]を選択し、▶または「決定」を押してください。



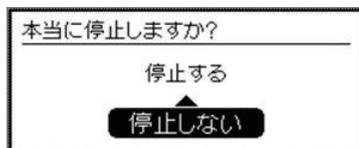
④ ▲を押してください。



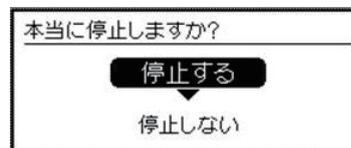
⑤ 「決定」を押してください。



⑥ ▲を押してください。



⑦ 「決定」を押してください。



⑧ 液晶画面が消え、「運転入/切」スイッチのランプが消灯します。

※ 不在停止設定が[する]にした後、リモコンの「運転入/切」スイッチの「入」操作、または5時間経過後はリモコンの操作スイッチ（全てのスイッチに対応）を押すと不在停止が解除されます。

※ 不在停止設定を[する]にした後、熱源機による暖房を使用されると不在停止が解除されます。

基本操作の説明

3. 発電ユニットの貯湯タンク洗浄のための水抜き方法

※ 貯湯タンク洗浄には水抜きが必要となります。

※ この操作開始後水張り（65ページ参照）完了までは、熱源機を使用することはできません。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



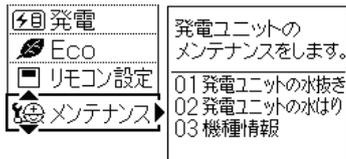
水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。

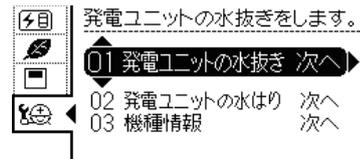


※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑧）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑨～⑩）を行ってください。

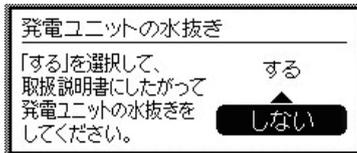
- ① 「メニュー」スイッチを押してください。
- ② ▲または▼で[メンテナンス]を選択し、▶または「決定」を押してください。



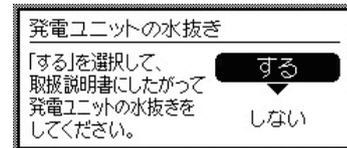
- ③ ▲または▼で[発電ユニットの水抜き]を選択し、▶または「決定」を押してください。



- ④ ▲を押してください。



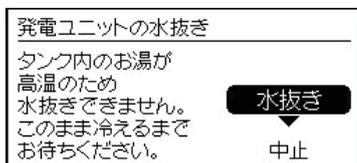
- ⑤ 「決定」を押してください。



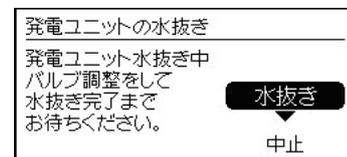
※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[中止]を選択して「決定」を押すと、水抜きは中止され③の画面に切り替わります。

※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

- ⑥ タンク内水温が下がりましたので、▼を押してください。

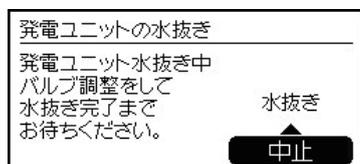


タンク内部温度冷却後

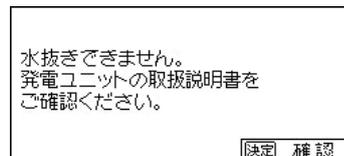


基本操作の説明

- ⑦「決定」を押してリモコンによる水抜きを停止してください。

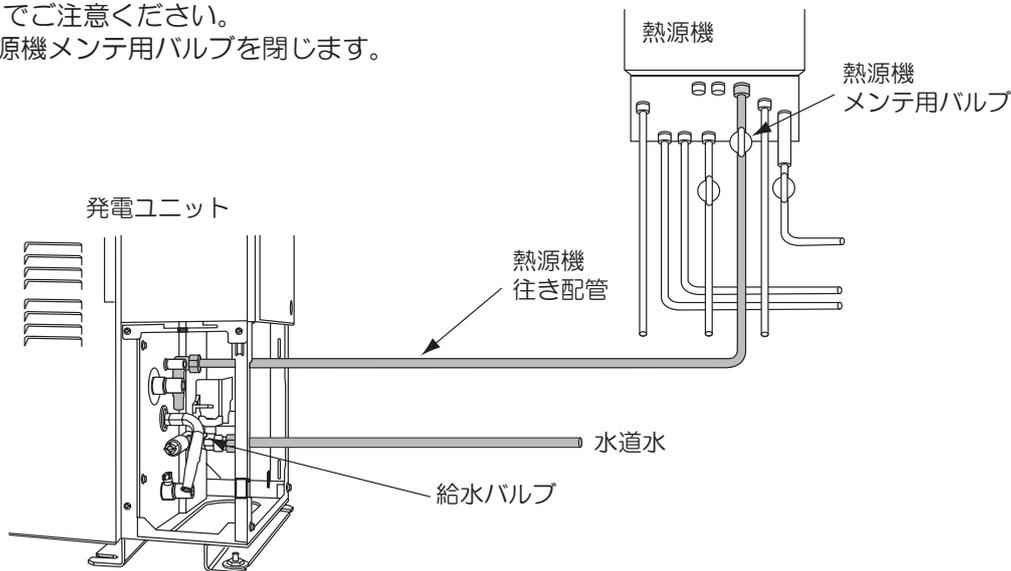


※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合

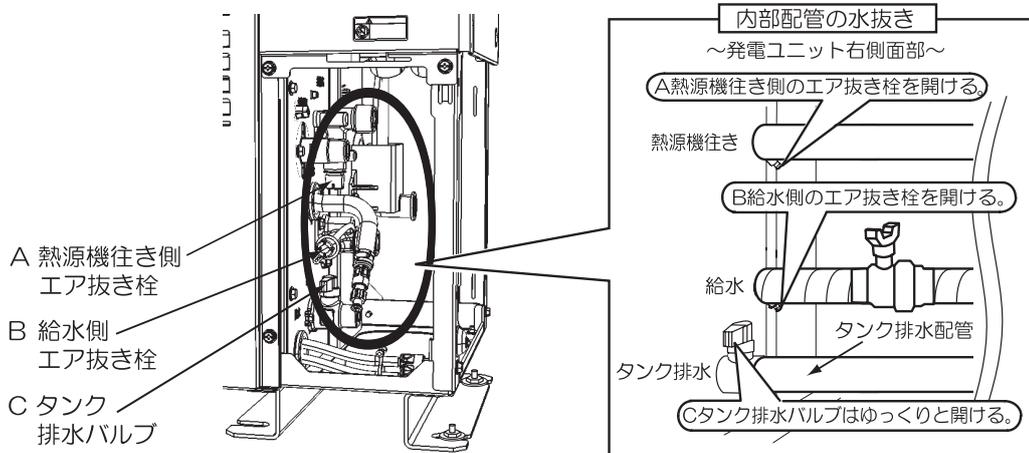


水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- ⑧ ③の画面に切り替わった後、「メニュー」を押してください。
- ⑨ トップ画面移行後次の操作をしてください。
- ・ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外します。
 - ・ 給水バルブを閉じます。
 - ※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
 - ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・ A熱源機往き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・ B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



- ⑩ タンク排水配管より湯（水）が出なくなったら、B給水側、A熱源機往き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪ 11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

基本操作の説明

4. 長期間使用しない場合の発電ユニットの水抜き方法

- 旅行等のため、10日以上使用しないときは、リモコンで[不在停止]にし、発電ユニットを停止させてください。（手順は59ページを参照ください。）
- 1か月以上不在にされる場合もしくは1か月未満でも電源が確保できないことに加えて凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）は、下記の発電ユニット水抜き方法に従い水抜きを実施してください。水抜きをしないと故障の原因となります。また、熱源機の水抜きも必ず実施してください。手順は熱源機の取扱説明書をご参照ください。
- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス会社または販売店にご連絡ください。
- 引越しをされる場合は、その2～3日前までにガス会社または販売店にご連絡ください。
- 水抜きを実施する場合は、前日までに発電禁止による停止操作を行ってください。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



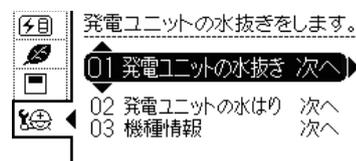
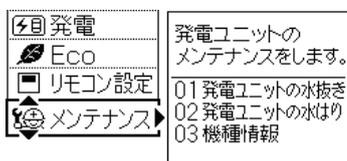
水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。

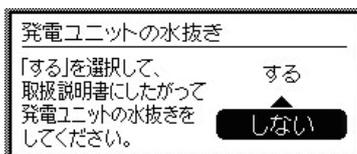


※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑥）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑦～⑩）を行ってください。

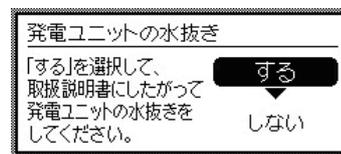
- ① 「メニュー」スイッチを押してください。
- ② ▲または▼で[メンテナンス]を選択し、▶または「決定」を押してください。
- ③ ▲または▼で[発電ユニットの水抜き]を選択し、▶または「決定」を押してください。



- ④ ▲を押してください。



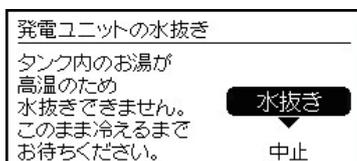
- ⑤ 「決定」を押してください。



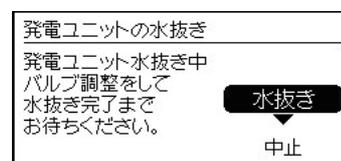
※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[中止]を選択して「決定」を押すと、水抜きは中止されトップ画面に切り替わります。

タンク内高温時
※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

- ⑥ タンク内水温が下がりましたので、11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をしてください。（63ページ参照）



タンク内部温度冷却後



基本操作の説明



水抜きが完了すると、トップ画面に自動的に移行します。

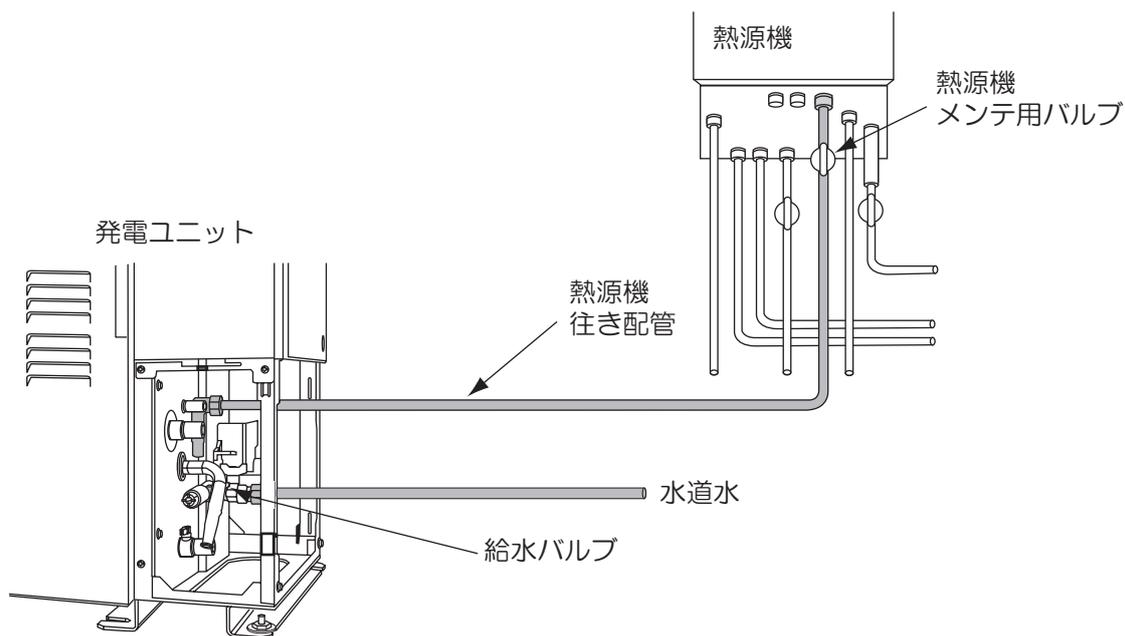
※ 30分経過しても水抜きが終了しない場合は、[中止]を選択し「決定」を押して水抜きを停止してください。A～Fのバルブまたはプラグが開いていることを確認後、再度①より実施してください。

⑦ 下記バルブの操作をしてください。

・ 給水バルブを閉じます。

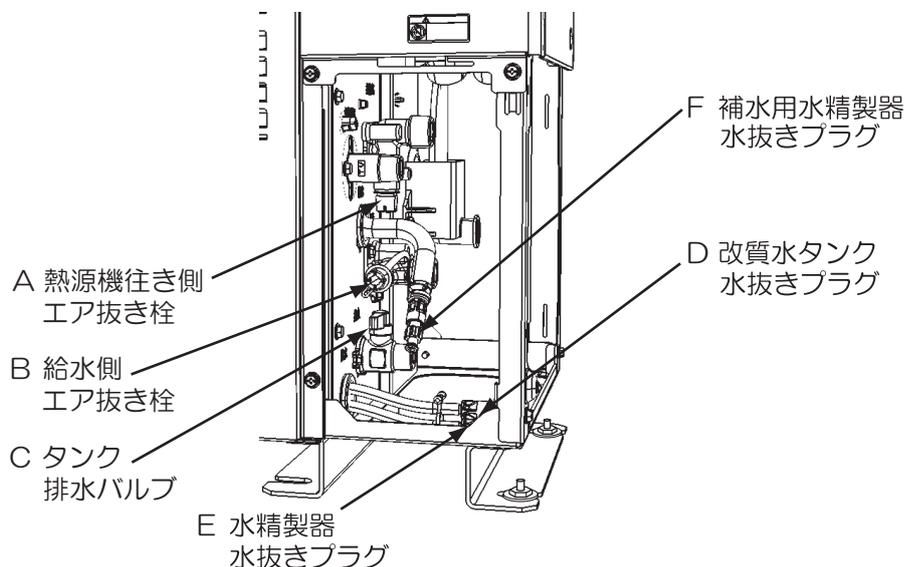
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。

・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



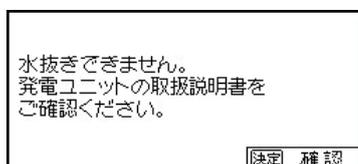
基本操作の説明

- ・Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



- ⑧D改質水タンク水抜きプラグとE水精製器水抜きプラグ、F補水用水精製器水抜きプラグ計3か所を反時計回りに1回転させ、改質水を抜きます。
(全て排水されるまで、約10分かかります。)
- ⑨リモコンの画面がトップ画面に移行し、タンク排水配管およびD、E、Fの水抜きプラグから水が出なくなったことを確認し、D、E、Fの水抜きプラグを時計回りに回して締めてください。
※30分経過してもトップ画面に移行しない場合は、水抜きを中止し、各バルブ確認後、再度手順①より実施してください。
- ⑩B給水側、A熱源機行き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪発電ユニットと熱源機のガス栓を閉じ、屋内分電盤の専用ブレーカを遮断します。
- ⑫11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。
発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス供給事業者にご連絡ください。

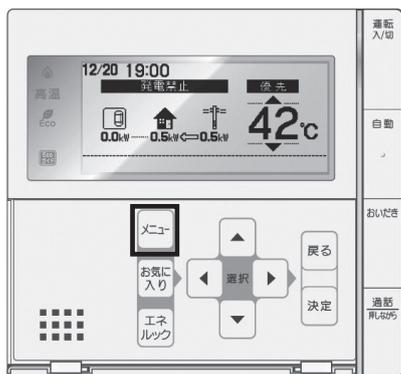
基本操作の説明

5. 発電ユニットの水張り方法

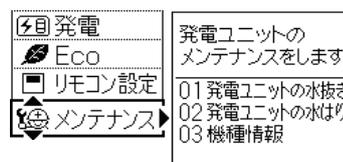
下記の場合に実施してください。

- 断水時に湯（水）を使用された場合
- エラー表示部に[81F01]、[82F01]が表示された場合
- 貯湯タンクを洗浄する場合

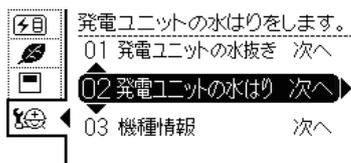
① 「メニュー」スイッチを押してください。



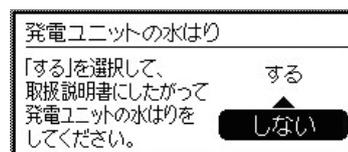
② ▲または▼で[メンテナンス]を選択し、
▶または「決定」を押してください。



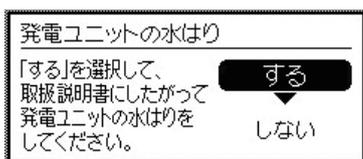
③ ▲または▼で[発電ユニットの水はり]を選択し、▶または「決定」を押してください。



④ ▲を押してください。

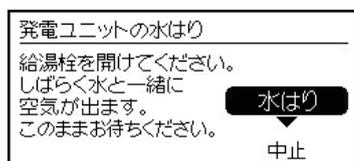


⑤ 「決定」を押してください。

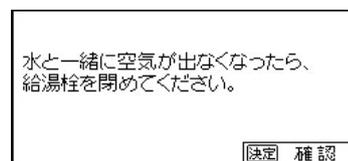


⑥ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水バルブ・熱源機メンテ用バルブを開けてください。（61ページ参照）

⑦ 給湯栓（給湯蛇口）を開けてください。



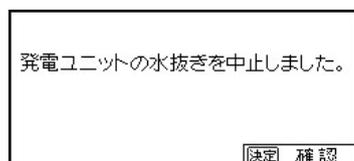
⑧ 給湯栓（給湯蛇口）から空気が出なくなったら給湯栓（給湯蛇口）を閉め、「決定」を押してください。



給湯栓 屋内の給湯蛇口です。

停止する場合

- ① 給湯栓（給湯蛇口）を閉めてから、上記画面の▼で[中止]を選択し、「決定」を押してください。
- ② 「決定」を押してください。

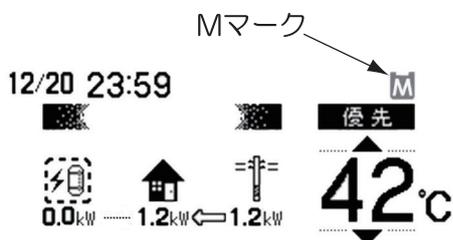


- ⑨ 11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

運転・停止について

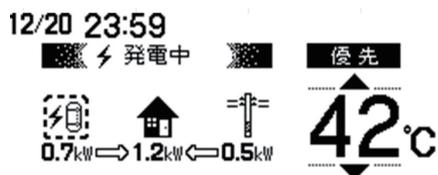
1. 発電ユニットが停止する場合

- ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき（発電停止時にMマークが表示されているとき）



ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、発電ユニットは約26日ごとに24時間停止します。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

- お湯・暖房を10日以上使用しなかったとき
自動的に不在停止となります。
- 機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
- 故障診断をしているとき
リモコンに[発電ユニットセルフチェック実施しています]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。
- 電気使用量が少ない状態が続いたとき
 - 月末時に当月の電気使用量が少ない場合は、リモコンのお知らせ画面に[電気使用量が少ない状態が続いたため発電を停止します。発電を継続する場合は【メニュー】→【発電】より発電継続を選択してください。]のメッセージが24時間表示され、翌月は自動停止します。
 - 翌月も発電を継続したい場合は、発電の継続（57ページ参照）を実施してください。



電気使用量が少ない状態が続いたため ←——— メッセージ表示部（メッセージが右から左にながれる）

- 停止後発電ユニットを起動したい場合は、発電再開操作（57ページ参照）を実施してください。
- 停止中の電気使用量が多くなった場合は、翌月より自動で再起動します。

2. 発電ユニットが発電出力を下げる場合

- 機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため発電出力を自動的に下げる、もしくは停止することがあります。
- ご使用による経年劣化により、ある程度の発電効率・発電出力が低下します。
- 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器保護のために発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。
- センサ診断のため、発電出力を数分間0[W]に下げることがありますが、故障ではありません。

運転・停止について

3. 停電の場合

- 発電中に停電した場合（自立運転機能付きをお使いのお客さまの場合）
自立運転機能により発電を継続します。
発電した電気は自立運転専用コンセントより出力します。（停電してから約90秒後に出力開始します。）（68～73ページ参照）
- 発電中に停電した場合（標準モデルをお使いのお客さまの場合）
停電中は、アイドル状態になり、復旧待機しています（最長5時間）。ガス栓、給水バルブは閉めないでください。
※ 復旧後約5分で発電が開始します。また、発電ユニットの状態により停電中に停止する場合があります。
※ アイドリング状態とは、運転をしていますが発電電力を出力していない（O[W]）状態のことです。
- 停電が復旧した場合（自立運転機能付きをお使いのお客さまの場合）
自立運転を終了し、通常運転に自動的に切り替わります。
※ 自立運転専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 待機中・起動中・停止中に停電した場合
停電中は起動しません。

4. 緊急時などガス栓を閉じた場合、屋内分電盤の専用ブレーカを遮断した場合

- 再使用前に、12ページの「ご使用前の確認」を行ってください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

1. 自立運転機能の概要

注意 (自立運転について)

自立運転時は浴槽の排水栓を抜く

自立運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



お願い

自立運転専用コンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、自立運転専用コンセントが必要です。

「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示のあるコンセントが、自立運転専用コンセントです。

断水時は給水・給湯栓を使用しない

自立運転時に断水状態*のまま水やお湯を使用されますと、発電ユニットが異常停止します。

* 断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態

- 発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を継続しますので、発電した電気をご使用いただけます。
 - ※ 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。また、ガスの供給が停止している場合にも発電できません。
 - 以下の場合、発電ユニットは停止しています。
 - ・ ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき（発電停止時にMマークが表示されているとき）
ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、約26日ごとに24時間発電ユニットは停止します。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
 - ・ お湯/暖房を10日以上使用しなかったとき
自動的に不在停止となります。
 - ・ 機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため出力を下げるもしくは停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
 - ・ 故障診断しているとき
リモコンに[発電ユニットセルフチェック実施しています]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。
- 自立運転機能で使用できる電力は最大約700[W]です。
 - ※ 熱源機で使用する電力も含まれますので、実際にご利用できる電力は700[W]よりも少なくなります。
 - 停電時に使用可能な電力はセット構成の場合、熱源機の消費電力（数十W*1）と合わせて最大で約700[W]です。消費電力の合計が発電電力を超えないように注意してください。
 - *1 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、リモコンの発電電力と消費電力を確認しながらお使いください。
 - 電化製品の種類によっては、一時的に使用できない場合があります。消費電力が発電電力を上回る場合（過負荷）、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止することがあります。自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止したら、接続していた電化製品をコンセントから取り外し、70ページの「■3-2. 過負荷復帰操作」を行って、再度自立出力を開始してください。
 - 自立運転開始直後は発電ユニットの状態によって、消費電力が700[W]以下の電化製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力を確認してから電化製品のコードをさしてください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

- 自立運転時は自動的に自立運転専用コンセントに電気が供給されます。自立運転専用コンセントには「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに自立運転専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 停電した場合でも 熱源機からお湯を使用することができます。
- 自立運転中に発電を停止させたい場合は、リモコン操作により[発電禁止]で停止させてください。ただし、停電が復旧するまで再使用(発電)できません。操作方法は、58ページ「発電ユニットの停止方法」をご参照ください。
- 自立運転中は、発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気出口から多くの湯気が出るがありますが、故障ではありません。
- 断水状態*2時は、使用できる電力を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - 自立コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - 発電ユニットの蓄熱量が多い場合

*2 断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態
- 以下の場合は自立運転を停止する場合があります。
 - 気温が高く発電ユニット内水温が高い場合

※ 停止防止のために貯湯タンクのお湯を利用ください。

2. 停電前に

- あらかじめ計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。
 - 計画停電時にガスマイコンメーターの安全機能確認による発電停止を避けるため、停電予定日の2～3日前に、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。
 - ① リモコンで安全機能確認のための停止までの日数をご確認ください。
 - ② ・停電予定期間中に次回停止がある場合：リモコン操作にて、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。(発電状況表示部の⚡が交互表示され、約10～12時間後⚡が消灯してから、連続24時間以上停止させてください。発電状況表示については55ページを参照してください。)その間に全てのガス機器(給湯・床暖房など)を連続で最低70分停止してください。遅くとも計画停電の4時間前までには発電禁止からの再開操作(56ページ参照)を実施ください。
 - ・停電期間中に次回停止がない場合：特に操作は必要ありません。

※ ①および②は、リモコンの取扱説明書(リモコン操作編)をご参照ください。
- 自立運転ができない場合でも、発電ユニットの貯湯タンク内のお湯(水)を、雑用水として利用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

3. 停電時の対応

※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は機器を停止してください。事故の原因となることがあります。

■ 3-1. 停電時に電気を使う

①[自立]の表示がされていることを確認する

● 停電してから約90秒*後に、[自立]の文字が点滅表示されていることを確認してください。

● 使用電力が大きい機器をつなぐ場合は、高出力モードに切り替えご使用ください。また、発電ユニットの状態によっては、最大出力が制限される場合があります。

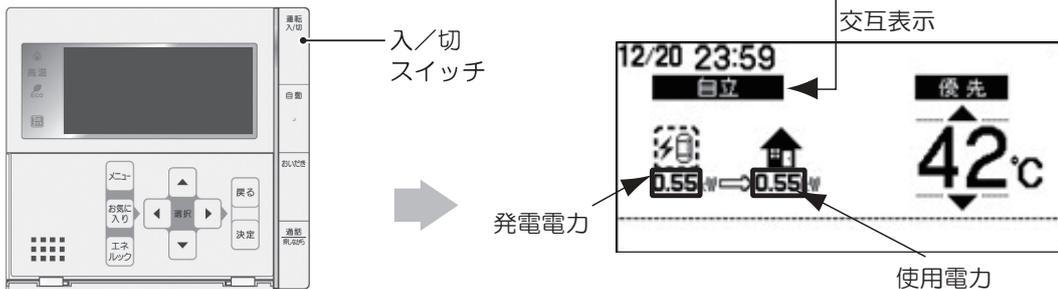
* お客さまの電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。(最大約10分間)



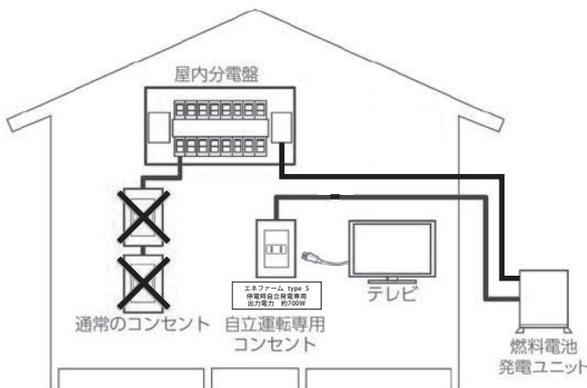
表示されるメッセージに従い対応してください。

②下記操作を実施し「自立」が交互表示していることを確認する

「運転入/切」スイッチを押す。



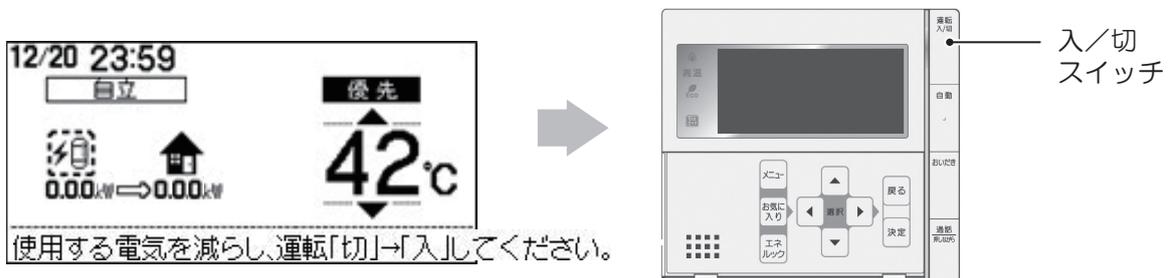
③電化製品の電源プラグを自立運転専用コンセントに差し込む



- 停電時は自立運転専用コンセントしか使うことができません。
- リモコン表示で発電電力表示と使用電力表示を確認しながら自立運転専用コンセントに使用したい電化製品を一つずつ接続してください。
- 使用電力表示が発電電力表示を超えないよう、こまめに確認してください。
- 使用電力が発電電力を上回る場合(過負荷)は、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止します。接続していた電化製品をコンセントから取り外し、リモコン画面のメッセージに従って操作をしてください。

■ 3-2. 過負荷復帰操作

「運転入/切」スイッチで入一切する。



停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

■ 3-3. 自立発電電力を上げたいとき

● 自立発電中、電力消費が少ない状態がしばらく続くと自立出力を下げる場合があります。使用電力の大きい(ただし合計しても700[W]を超えない)電化製品を使用されるときは、下記手順で高出力モードに切り替えてください。

※ ガスマイコンメーター確認マーク(Mマーク)が表示(約6分間)されている場合は、高出力モードの設定はできません。

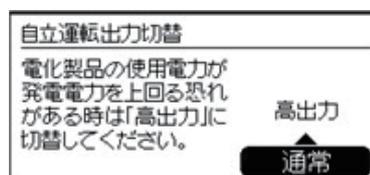
※ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は▶を押してください。

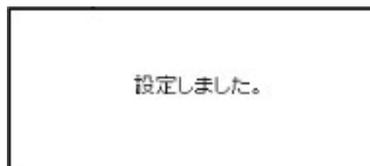
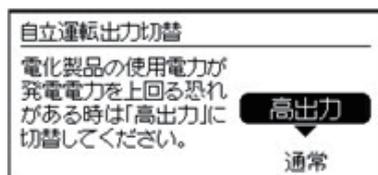
([出力切替]表示は、高出力発電が可能なお客さまのみ表示されます。)



② ▲を押してください。



③ 「決定」を押してください。



④ 左上部の文字が、[自立・高]に変わります。

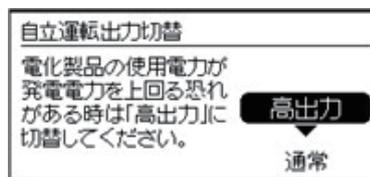


● 高出力設定を通常に戻す場合

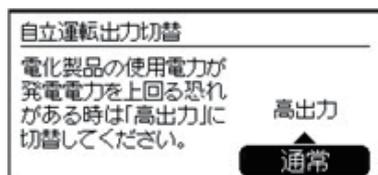
① ▶を押してください。



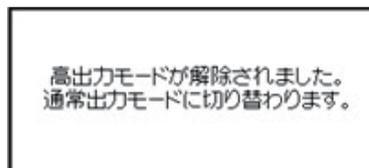
② ▼を押してください



③ 「決定」を押してください。



※ 通常モードに戻し忘れた場合は使用電力低下から約3分後に機器保護のため出力を下げます。その場合は右画面が表示されます。



停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

⚠ 注意

自立運転時は浴槽の排水栓を抜く

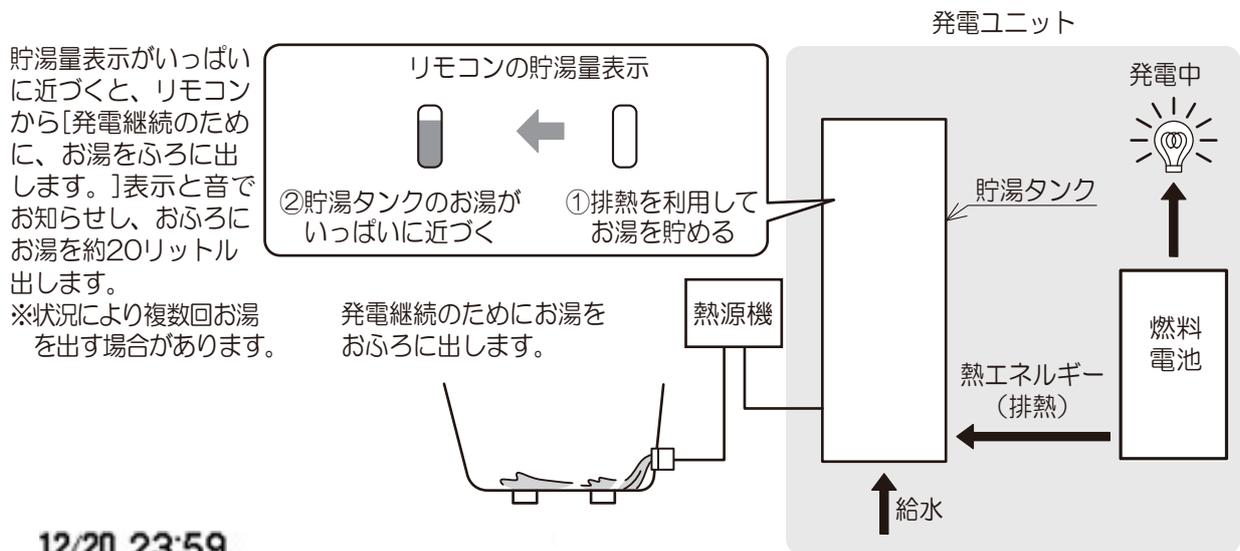
自立運転中は運転を継続するために排湯機能により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。浴槽の排水栓を抜かないと、思わぬ事故や、浴槽のお湯があふれるなどの原因となります。



■ 3-4. 排湯について

自立運転中は運転を継続するために排湯機能*により自動でお風呂にお湯を出すことがあります。

* 排湯機能とは…貯湯タンクがお湯でいっぱいになると、リモコンの表示と音でお知らせした後、自動でお風呂にお湯を出します。



12/20 23:59

自立 出力切替

優先

0.55kW ↔ 0.55kW

42°C

排湯アナウンス

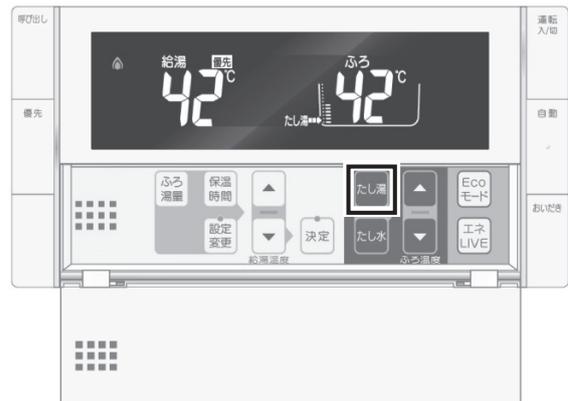
リモコンから表示と音でお知らせ

発電継続のために、お湯をふろに出します。

排湯メッセージ

排湯機能に関するお知らせ事項

- お湯を使用するときはリモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 自立時の自動排湯動作中に排湯を中止したい場合は、下記リモコン操作を行ってください。ただし発電を続けるために一定時間後に繰り返し排湯を行うことがあります。
 - ① 「たし湯」を選択する。



停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

⚠ 警告

自立運転専用コンセントには以下の機器を接続しない

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器には接続しないでください。

- ・ 全ての医療機器
- ・ 灯油を用いた暖房機器
- ・ 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・ バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- ・ 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・ その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- ・ 最大電力が700[W]以上になる機器

4. 主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に700[W]を上回る電力負荷がかかるため、消費電力にかかわらず使用できないことがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません。)

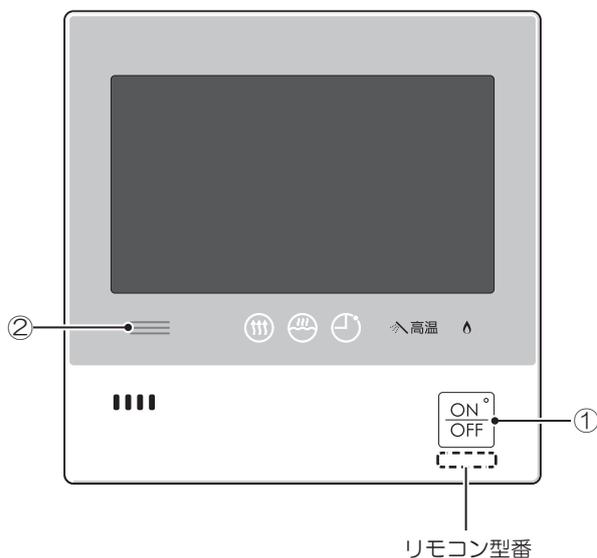
製品名	消費電力の目安 (W)	製品名	消費電力の目安 (W)
携帯の充電器	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒータ	30
扇風機	40	ノートPC	75
液晶テレビ32型	150		
熱源機の暖房運転	180	熱源機の凍結防止運転	250
電気炊飯器	1100	ヘアードライヤ	1200

⇒ご使用できません

リモコンの操作説明

ここでは発電ユニットを運転・停止するためのリモコン操作について説明いたします。
その他のリモコンの詳細機能についてはリモコンの取扱説明書（リモコン操作編）を参照してください。

1. 各部のなまえとはたらき（発電リモコン）



- ①「ON/OFF」スイッチ・ランプ
- ・画面を表示させたり消したりするとき 사용합니다。
 - ・画面を表示するとランプ点灯します。
 - ・不在停止中はランプ点滅します。

- ②発電ランプ
- ・発電ユニットで発電中に点灯します。
 - ・現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い

1.2kW	オレンジ色 (節電お知らせ)	購入電力が増えてい ます 節電してください。
0.7kW	青色	使用電力が少し増え ています。
少ない	緑色	発電ユニットの発電内 で 上手に使用されてい ます。

・逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が発電電力より多いので 買電しています。
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています。

2. 表示画面（タッチパネル）の操作の基本

- このリモコンの表示画面は、指で押すとスイッチ操作ができます。
- 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度の力で確実に押してください。
- 「ON/OFF」スイッチや画面を押さないまま約10分（初期設定時間）たつと、表示が消えます。

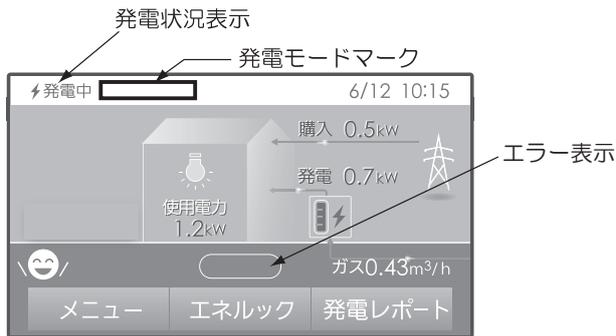
表示がグレーになっている部分は、押してもスイッチ操作できません。



※ 説明中のリモコン表示画面は一例です。

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

リモコンの操作説明



3. 発電状況表示の見かた

そのときの発電状態や、発電の設定を表示します。

⚡ 発電中	
⚡ (点灯)	発電しています。
⚡ (点滅)	起動中(発電準備中)です。
⚡ ↔ ⚡ (交互表示)	発電停止の動作中です。
↓ ↔ ↓ (交互表示)	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電停止の動作中です。 ^{※1}
↓ (点灯)	(電気使用量が少ない状態が続いたため) 発電ユニットは停止しています。 ^{※1}
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。

※1 電気使用量が少ない状態が続くと、発電が停止するしくみになっています。

表示	状態	
発電中	発電しています。	
起動中	起動中(発電準備中)です。	
停止中	発電停止の動作中です。	
(表示なし)	発電ユニットは停止しています。	
発電禁止	発電を強制的に禁止しています。	
発電×	発電ユニットが使用できない場合に 표시됩니다。	
逆潮流の場合	電圧抑制 ^{※2}	発電ユニットの出力を一時的に抑えています。
	売電中	発電した電力を売電しています。
自立運転機能付の場合	⚡ 自立 ↔ ⚡ 自立 (交互表示)	自立運転しています。
	⚡ 自立・高 ↔ ⚡ 自立・高 (交互表示)	高出力モード(92ページ)で自立運転しています。

※2 自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が上限を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。

4. 発電モードマークの見かた

🔄	タンクリフレッシュ 運転マーク	長時間お湯の使用がなかったときなどに、貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。	
M	ガスマイコン メーター 確認マーク (Mマーク)	M 発電中	ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。
		M 自立	
		M のみ	<ul style="list-style-type: none"> ●この表示が出ている間(約24時間)は、ガスマイコンメーターの保安機能を正常に動作させるために、発電ユニットは停止しています。 ●この表示が出た場合、深夜午前1時から午後1時までの間にガス機器(給湯・床暖房など)を連続で70分以上ご使用を停止してください。連続で70分以上停止しただけなかった場合、ガスマイコンメーターがガス漏れと誤警報(ガスマイコンメーター本体のランプ点滅)する場合があります。
凍結予防	凍結予防マーク	機器は凍結予防のために自動的に凍結予防運転をします。その動作中に表示されます。	

基本操作の説明

1. 発電ユニットの起動方法

起動には約3~4時間かかります。(時間は気温によって異なります。)

■ 1-1. 発電禁止からの再開 (78ページ「■ 2-1」(発電禁止)で停止させた場合)

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



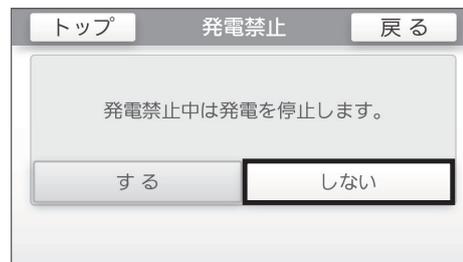
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[発電禁止]を選択してください。



④ 発電禁止画面より「しない」を選択してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

■ 1-2. 不在停止からの再開 (79ページ「■ 2-2」(不在停止)で停止させた場合)

- ・不在停止設定後5時間以上経過している場合
リモコンの液晶画面を押すまたは、リモコンの「ON/OFF」スイッチのON操作で再開できます。
- ・不在停止設定後5時間未満の場合

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



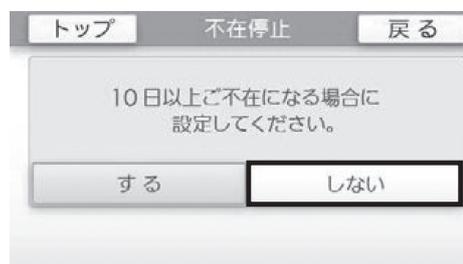
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[不在停止]を選択してください。



④ 不在停止画面より「しない」を選択してください。

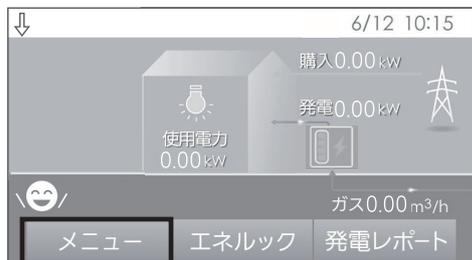


発電ユニットが起動をはじめます。

基本操作の説明

- 1-3. 発電再開からの再開（87ページ「■ 電気使用量が少ない状態が続いたとき」で停止している場合）

① トップ画面より[メニュー]を選択してください



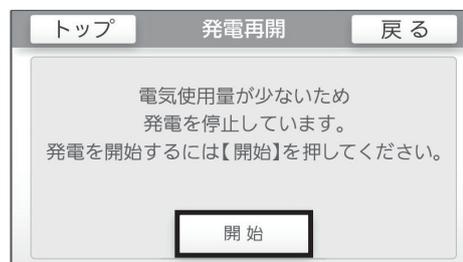
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



③ 発電メニュー画面より[発電再開]を選択してください。



④ [開始]を押してください。



発電ユニットが起動をはじめます。

基本操作の説明

2. 発電ユニットの停止方法

機器を保護するために発電停止の動作（「停止中」表示）を約10～12時間行ってから停止します。
（時間は気温によって異なります）停止動作中に起動操作を行った場合停止動作完了後、起動します。

※ お客さま操作により、頻繁に起動・停止（不在停止等）を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、発電禁止と不在停止機能のご使用は10回/年までを目安とし、10日以上不在にされる場合にご使用ください。

■ 2-1 機器の水抜きをするときなど、発電を停止させたいときの停止方法（発電禁止）

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



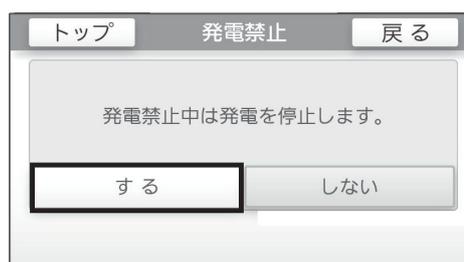
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



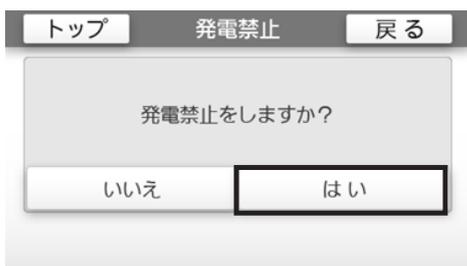
③ 発電メニュー画面より[発電禁止]を選択してください。



④ [する] (Do) を選択してください。



⑤ [はい] (Yes) を選択してください。



基本操作の説明

■ 2-2 10日以上家をあけるなど、全ての運転（発電・給湯・暖房など）をしばらく停止したいときの停止方法（不在停止）

※ 1か月以上の長期不在時には、この方法に加えて水抜きが必要です。83ページを参考に水抜き操作をしてください。

※ 10日以上、お湯と暖房を使用しない状態が続くと、自動的に不在停止が[する]になります。

※ 給湯・暖房などの停止方法は、それぞれの取扱説明書を参照ください。

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



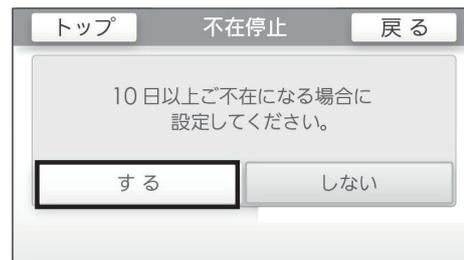
② メニュー画面より[発電メニュー]を選択してください。



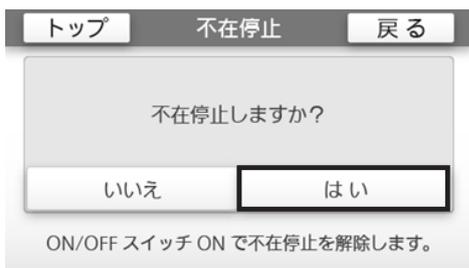
③ 発電メニュー画面より[不在停止]を選択してください。



④ [する] (Do) を選択してください。



⑤ [はい] (Yes) を選択してください。



⑥ 液晶画面が消え、「ON/OFF」スイッチのランプが点滅します。

※ 不在停止設定を[する]にしてから5時間経過後は、リモコンの「ON/OFF」スイッチの「ON」操作またはリモコンの液晶画面を押すことにより不在停止が解除されます。

基本操作の説明

3. 発電ユニットの貯湯タンクの洗浄のための水抜き方法

※ 貯湯タンク洗浄には水抜きが必要となります。

※ この操作開始後水張り（86ページ参照）完了までは、熱源機を使用することはできません。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑧）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑨～⑩）を行ってください。

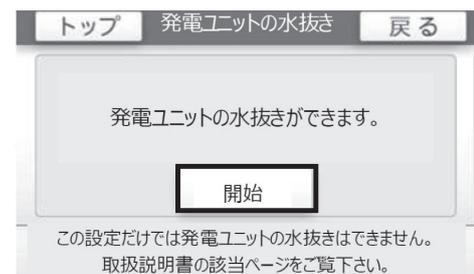
- ① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプが消える）、液晶画面部をタッチする。
- ② トップ画面より[メニュー]を選択してください。
- ③ メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。
- ④ 音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水抜き]を選択してください。
- ⑤ [開始]を押してください。



- ④ 音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水抜き]を選択してください。

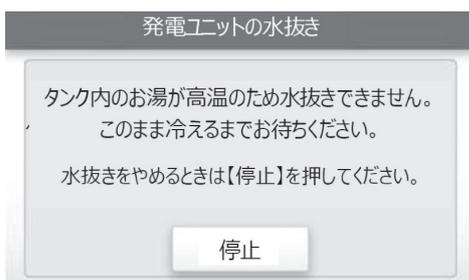


- ⑤ [開始]を押してください。



※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[停止]を押すと⑥に移行します。

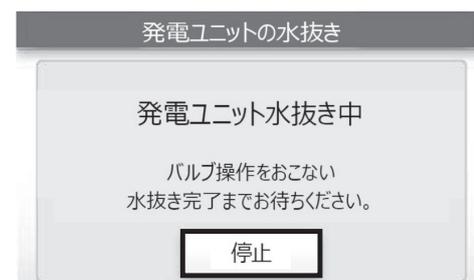
タンク内
高温時



※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

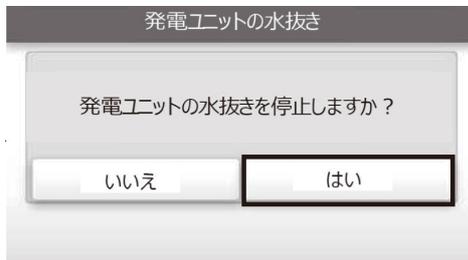
- ⑥ タンク内温度が下がりましたのでリモコンによる水抜きを停止してください。

タンク内部
温度冷却後

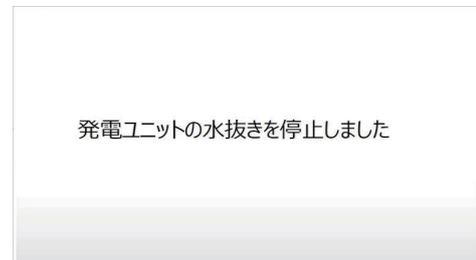


基本操作の説明

⑦ [はい] を選択してください。

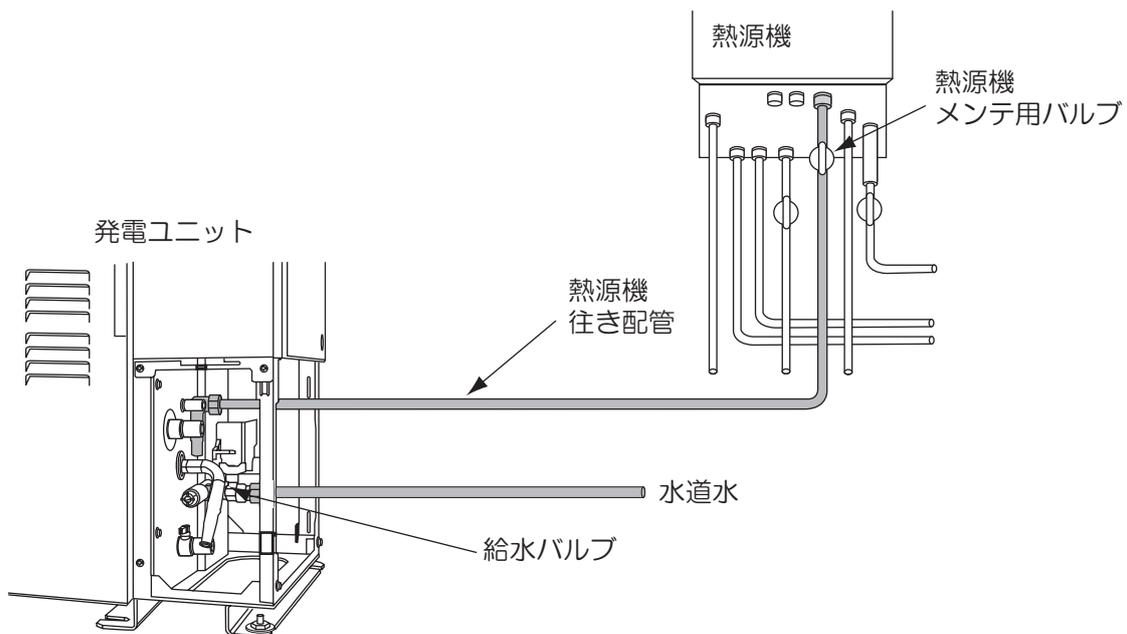


⑧ 下記画面を表示後自動的に音・その他メニュー画面に切り替わります。



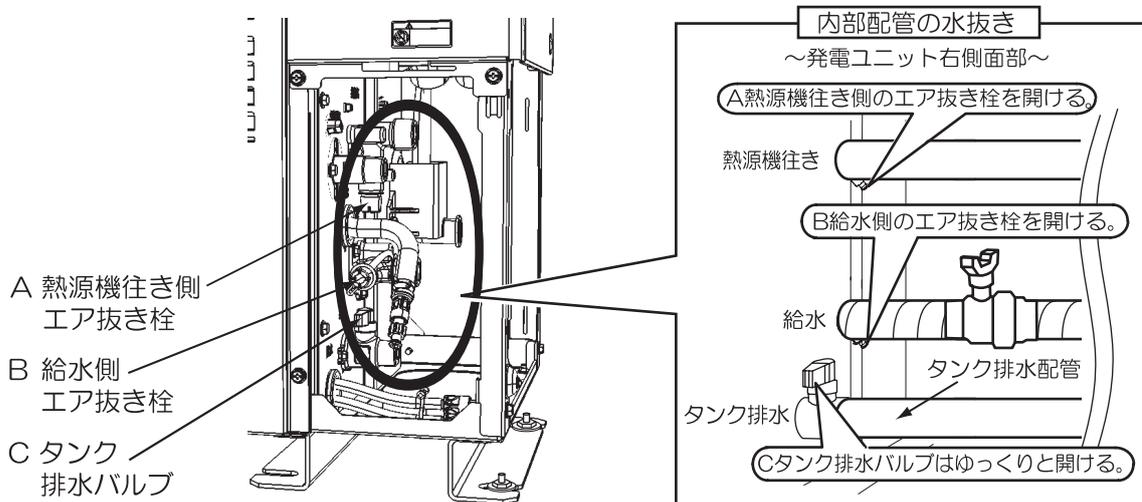
⑨ 音・その他メニュー画面移行後次の操作をしてください。

- ・ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外します。
- ・ 給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



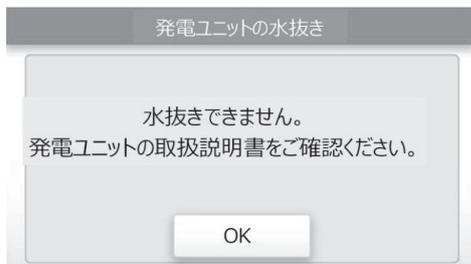
基本操作の説明

- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・ A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・ B給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



- ⑩タンク排水配管より湯（水）が出なくなったら、B給水側、A熱源機行き側のエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

基本操作の説明

4. 長期間使用しない場合の発電ユニットの水抜き方法

- 旅行等のため、10日以上使用しないときは、リモコンで[不在停止]にし、発電ユニットを停止させてください。（手順は79ページを参照ください。）
- 1か月以上不在にされる場合もしくは1か月未満でも電源が確保できないことに加えて凍結のおそれがある場合（気温が氷点下になる可能性がある場合）は、下記の発電ユニット水抜き方法に従い水抜きを実施してください。水抜きをしないと故障の原因となります。また、熱源機の水抜きも必ず実施してください。手順は熱源機の取扱説明書をご参照ください。
- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス会社または販売店にご連絡ください。
- 引越しをされる場合は、その2～3日前までにガス会社または販売店にご連絡ください。
- 水抜きを実施する場合は、前日までに発電禁止による停止操作を行ってください。

⚠ 注意

水抜き時タンク排水配管には触れない

場合によってはお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



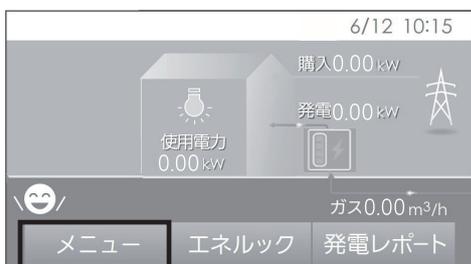
水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。



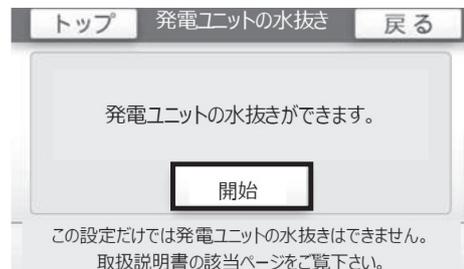
※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却（手順①～⑥）を行ってから、バルブ操作による水抜き（手順⑦～⑩）を行ってください。

- ① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプが消える）、液晶画面部をタッチする。
- ② トップ画面より[メニュー]を選択してください。
- ③ メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。



- ④ 音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水抜き]を選択してください。

- ⑤ [開始]を押してください。

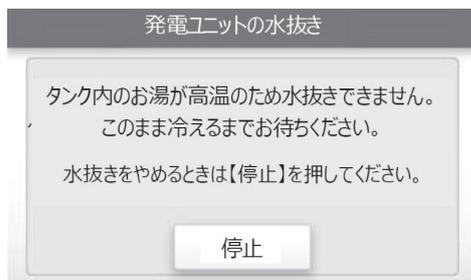


タンク内
高温時

※ タンク内温度が低い場合でも約10分間は冷却します。

基本操作の説明

※ タンク内水温が下がると⑥に移行します。
[停止]を押すと⑤に移行します。



タンク内部
温度冷却後

⑥タンク内水温が下がりましたので、11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をしてください。



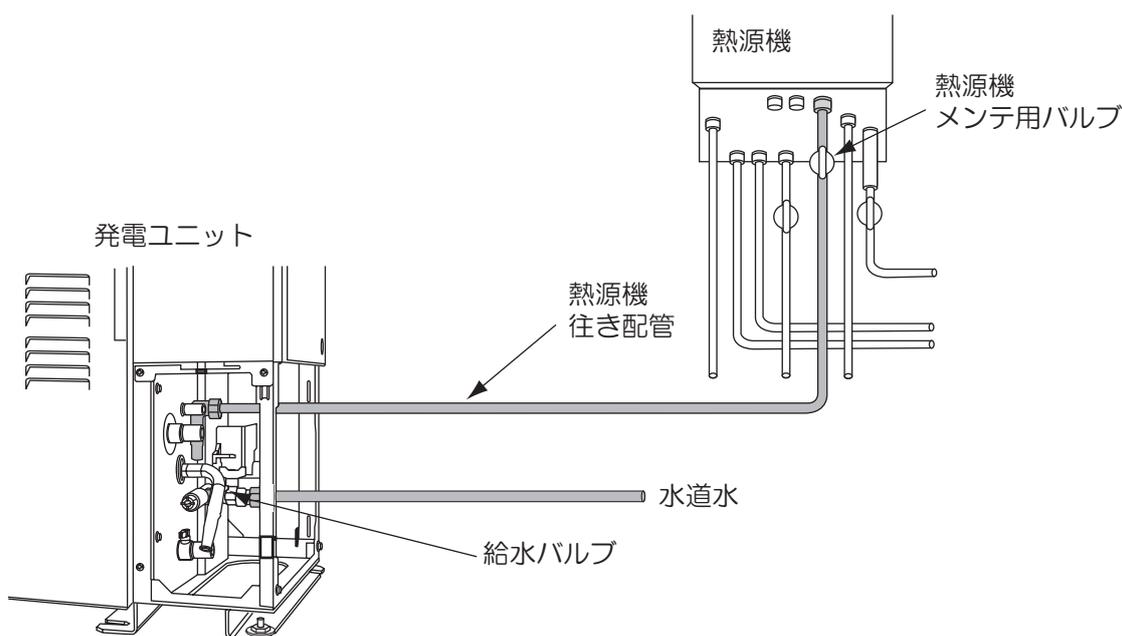
水抜きが完了すると、トップ画面に自動的に移行します。

※ 30分経過しても水抜きが終了しない場合は、[停止]を押して水抜きを停止し、A~Fのバルブまたはプラグが開いていることを確認後、再度①より実施してください。

水抜きを停止したい場合は[停止]を押すと、次ページの※1に移行します。

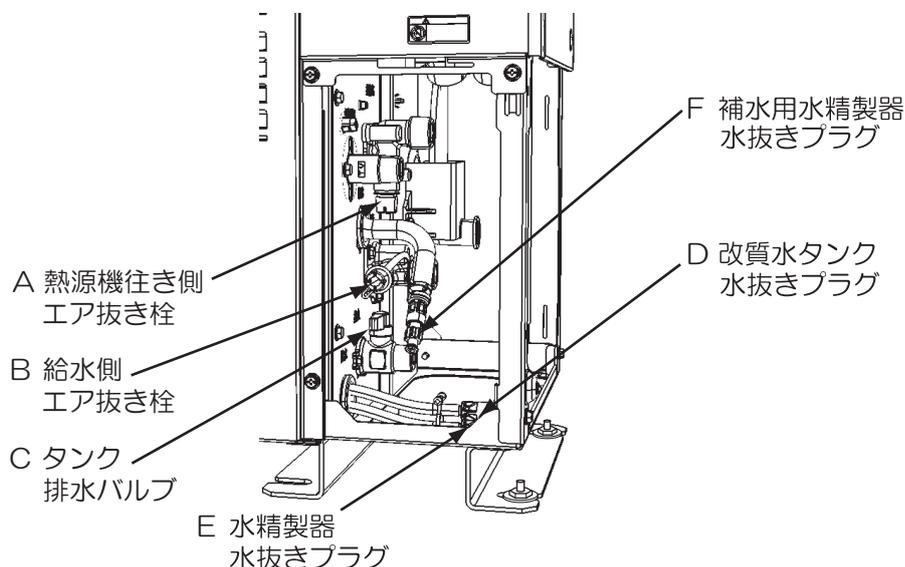
⑦下記バルブの操作をしてください。

- ・ 給水バルブを閉じます。
※ 給水バルブを閉じずに以降の操作をすると、ユニット内部機器の寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- ・ 熱源機メンテ用バルブを閉じます。



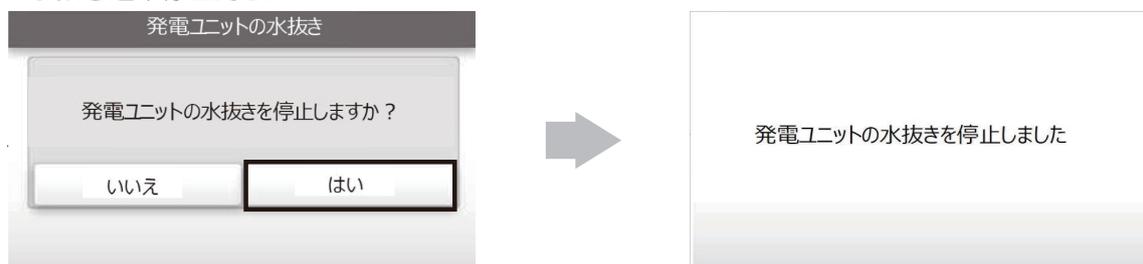
基本操作の説明

- ・ Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。
- ・ A熱源機行き側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。
- ・ B 給水側のエア抜き栓を反時計回りに3回転させます。



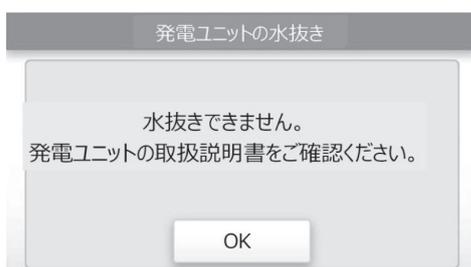
- ⑧D改質水タンク水抜きプラグとE水精製器水抜きプラグ、F補水用水精製器水抜きプラグ計3か所を反時計回りに1回転させ、改質水を抜きます。
(全て排水されるまで、約10分かかります。)
- ⑨リモコンの画面がトップ画面に移行し、タンク排水配管およびD、E、Fの水抜きプラグから水が出なくなったことを確認し、D、E、Fの水抜きプラグを時計回りに回して締めてください。
※30分経過してもトップ画面に移行しない場合は、水抜きを中止し、各バルブ確認後、再度手順①より実施してください。
- ⑩B給水側、A熱源機行きのエア抜き栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。
- ⑪発電ユニットと熱源機のガス栓を閉じ、屋内分電盤の専用ブレーカを遮断します。
- ⑫11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

※1 水抜き途中停止方法



[いいえ]を押すと前の画面に戻ります。

※ 水抜き手順で下記画面が表示される場合



水抜きは、発電ユニットが停止状態のみ受け付けます。発電ユニットが完全に停止後、再度操作してください。

- 使用開始時には専門のサービスマンがお伺いしますので、ガス供給事業者にご連絡ください。

基本操作の説明

5. 発電ユニットの水張り方法

下記の場合に実施してください。

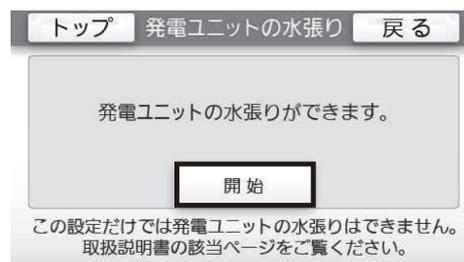
- 断水時に湯（水）を使用された場合
- エラー表示部に[81F01]、[82F01]が表示された場合
- 貯湯タンクを洗浄する場合

- ① リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし（「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプが消える）、液晶画面部をタッチする。
- ② トップ画面より[メニュー]を選択してください。
- ③ メニュー画面より[音・その他メニュー]を選択してください。



- ④ 音・その他メニュー画面より[発電ユニットの水張り]を選択してください。

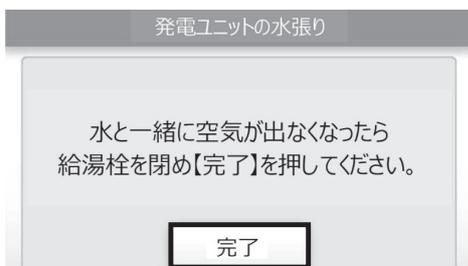
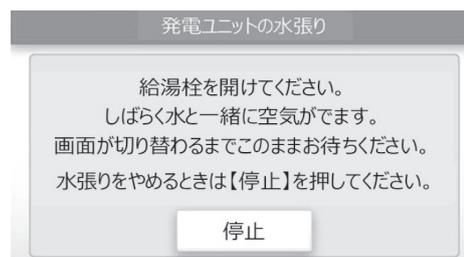
- ⑤ [開始]を押してください。



- ⑥ 11ページの「フロントR小パネルの取り外し方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水バルブ・熱源機メンテ用バルブを開けてください。（81ページ参照）

- ⑦ 給湯栓（給湯蛇口）を開けてください。

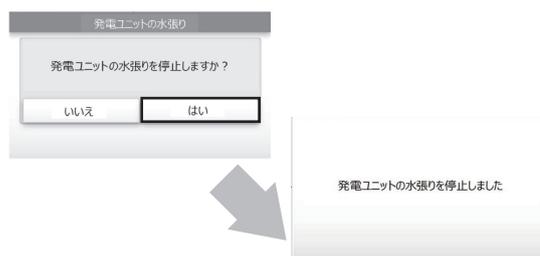
- ⑧ 給湯栓（給湯蛇口）から空気が出なくなったら給湯栓（給湯蛇口）を閉め、[完了]を押してください。



給湯栓 屋内の給湯蛇口です。

停止する場合

- ① 給湯栓（給湯蛇口）を閉めてから、上記画面の[停止]を押してください。
- ② [はい]を押してください。
[いいえ]を押すと前の画面に戻ります。

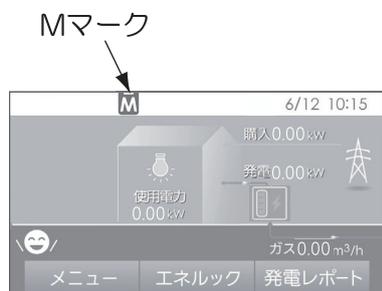


- ⑨ 11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。

運転・停止について

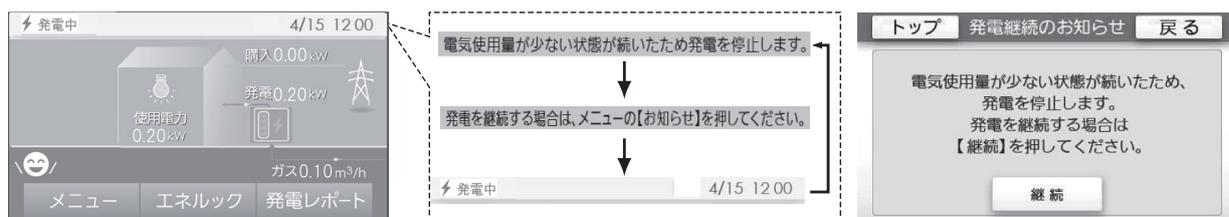
1. 発電ユニットが停止する場合

- ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき（発電停止時にMマークが表示されているとき）



ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、発電ユニットは約26日ごとに24時間停止します。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

- お湯・暖房を10日以上使用しなかったとき自動的に不在停止となります。
- 機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）
- 故障診断をしているとき
リモコンに[セルフチェックを実施しています]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。
- 電気使用量が少ない状態が続いたとき
 - 月末時に当月の電気使用量が少ない場合は、リモコンのお知らせ画面に[電気使用量が少ない状態が続いたため発電を停止します。発電を継続する場合は、メニューの[お知らせ]を押してください]のメッセージが24時間表示され、翌月は自動停止します。
 - 翌月も発電を継続したい場合は、発電継続のお知らせ画面より[継続]を選択してください。



- 停止後発電ユニットを起動したい場合は、発電再開操作（77ページ参照）を実施してください。
- 停止中の電気使用量が多くなった場合は、翌月より自動で再起動します。

2. 発電ユニットが発電出力を下げる場合

- 機器保護運転をしているとき
夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため発電出力を自動的に下げる、もしくは停止することがあります。
- ご使用による経年劣化により、ある程度の発電効率・発電出力が低下します。
- 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器保護のために発電出力を自動的に下げる場合があります。
- ガスマイコンメーターの保安機能を正常に作動させるため、1日に2～3回約6分間発電出力を下げます。
- センサー診断のため、発電出力を数分間0[W]に下げる場合がありますが、故障ではありません。

運転・停止について

3. 停電の場合

- 発電中に停電した場合（自立運転機能付きをお使いのお客さまの場合）
自立運転機能により発電を継続します。
発電した電気は自立運転専用コンセントより出力します。（停電してから約90秒後に出力開始します。）
（89～93ページ参照）
- 発電中に停電した場合（標準モデルをお使いのお客さまの場合）
停電中は、アイドル状態になり、復旧待機しています（最長5時間）。ガス栓、給水バルブは閉めないでください。
※ 復旧後約5分で発電が開始します。また、お客さまの発電ユニットの運転状態によっては停電中に停止する場合があります。
※ アイドリング状態とは、運転をしていますが発電電力を出力していない（O[W]）状態のことです。
- 停電が復旧した場合（自立運転機能付きをお使いのお客さまの場合）
自立運転を終了し、通常運転に約5分後自動的に切り替わります。
※ 自立運転専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 待機中・起動中・停止中に停電した場合
停電中は起動しません。

4. 緊急時などガス栓を閉じた場合、屋内分電盤の専用ブレーカを遮断した場合

- 再使用前に、12ページの「ご使用前の確認」を行ってください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

1. 自立運転機能の概要

警告 (自立運転について)

停電していないときに自立運転を行わない

思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能が損なわれ、故障の原因となります。



禁止

お 願 い

自立運転専用コンセントが設けられていることを確認する

停電時にエネファームで発電した電気を使用するには、自立運転専用コンセントが必要です。

「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示のあるコンセントが、自立運転専用コンセントです。

断水時は給水・給湯栓を使用しない

自立運転時に断水状態*のまま水やお湯を使用されますと、発電ユニットが異常停止します。

* 断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態

■ 発電ユニットが発電中に停電した場合は、自立運転機能により発電を継続しますので、発電した電気をご使用いただけます。

※ 発電ユニットが発電を停止しているときに停電した場合は、発電することができません。

また、ガスの供給が停止している場合にも発電できません。

● 以下の場合、発電ユニットは停止しています。

・ ガスマイコンメーターの安全機能確認のため停止しているとき（発電停止時にMマークが表示されているとき）

ガスマイコンメーターの安全機能確認のため、約26日ごとに24時間発電ユニットは停止します。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

・ お湯/暖房を10日以上使用しなかったとき

自動的に不在停止となります。

・ 機器保護運転をしているとき

夏期に気温が高いときや電気使用・お湯使用が少ないとき等に、機器保護のため出力を下げるもしくは停止することがあります。この場合、リモコンにエラーコード[03F00]、[03F03]、[03F07]、[08F00]を表示することもあります。故障ではありません。（停止後は自動で運転を再開しますので、操作は必要ありません。）

・ 故障診断しているとき

リモコンに[セルフチェックを実施しています]を表示し、一定時間停止したままの場合があります。

■ 自立運転機能で使用できる電力は最大約700[W]です。

● 停電時に使用可能な電力は最大で約700[W]*1です。消費電力の合計が発電電力を超えないように注意してください。

*1 凍結予防など運転状態によって消費電力が変わりますので、リモコンの発電電力と消費電力を確認しながらお使いください。

● 電化製品の種類によっては、一時的に使用できない場合があります。消費電力が発電電力を上回る場合（過負荷）、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止することがあります。

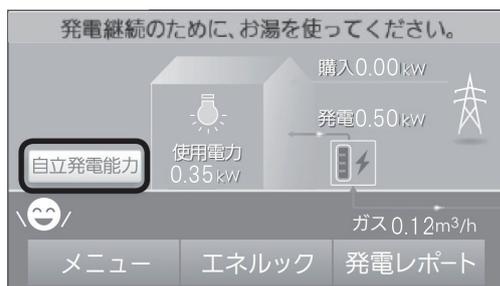
自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止したら、接続していた電化製品をコンセントから取り外し、91ページの「■3-2. 過負荷復帰操作」を行って、再度自立出力を開始してください。

● 自立運転開始直後は発電ユニットの状態によって、消費電力が700[W]以下の電化製品を使用した場合でも、一時的に使用できない場合がありますので、リモコン表示部の電力を確認してから電化製品のコードをさしてください。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

- 自立運転時は自動的に自立運転専用コンセントに電気が供給されます。自立運転専用コンセントには「エネファーム type S 停電時自立発電専用」と表示されています。事前に設置場所を確認してください。
 - ※ 自立運転専用コンセントは停電しているときにだけお使いください。なお、停電が復旧するとすぐに自立運転専用コンセントからの電気の供給は止まりますので、ご注意ください。
- 停電した場合、熱源機の電源は入りませんが、給湯栓を開ければ、約20～30℃の温水が出る場合があります。
- リモコンに[発電継続のために、お湯を使ってください。]のメッセージが表示された場合は、自立運転を継続させるために、貯湯タンクが満タンにならないよう給湯栓（給湯蛇口）を開けてお湯を使用してください。
- 自立運転中に発電を停止させたい場合は、リモコン操作により[発電禁止]で停止させてください。ただし、停電が復旧するまで再使用（発電）できません。操作方法は、78ページ「発電ユニットの停止方法」をご参照ください。
- 自立運転中は、発電ユニットの蓄熱量が多いと、排気出口から多くの湯気が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 断水状態*2時は、使用できる電力を抑制したり、出力が不安定になることがあります。
 - 自立コンセントで使用する負荷が小さい場合
 - 発電ユニットの蓄熱量が多い場合
- *2 断水状態：停電などの理由により、ご家庭への給水が停止している状態
- 以下の場合には自立運転を停止する場合があります。
 - 気温が高く発電ユニット内水温が高い場合
- ※ 停止防止のために貯湯タンクのお湯を利用ください。



2. 停電前に

- あらかじめ計画停電など停電が予定されている場合は、以下の操作を行うことで停電時に発電させることができます。
 - 計画停電時にガスマイコンメーターの安全機能確認による発電停止を避けるため、停電予定日の2～3日前に、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。
 - ① リモコンで安全機能確認のための停止までの日数をご確認ください。
 - ② ・ 停電予定期間中に次回停止がある場合：リモコン操作にて、あらかじめ発電ユニットを24時間以上停止させてください。（発電状況表示部の ⚡ が交互表示され、約10～12時間後 ⚡ が消灯してから、連続24時間以上停止させてください。発電状況表示については75ページを参照してください。）その間に全てのガス機器（給湯・床暖房など）を連続で最低70分停止してください。遅くとも計画停電の4時間前までには発電禁止からの再開操作（76ページ参照）を実施ください。
 - ・ 停電期間中に次回停止がない場合：特に操作は必要ありません。
 - ※ ①および②は、リモコンの取扱説明書（リモコン操作編）をご参照ください。
- 自立運転ができない場合でも、発電ユニットの貯湯タンク内のお湯（水）を、雑用水として利用することができます。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

3. 停電時の対応

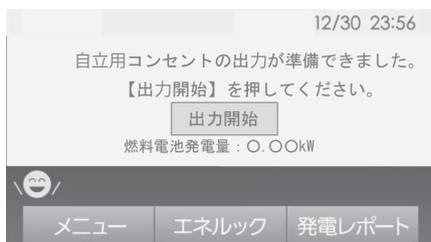
※ 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は機器を停止してください。事故の原因となることがあります。

■ 3-1. 停電時に電気を使う

① リモコン表示が下記画面になっていることを確認する

● 停電してから約90秒後*に、下記リモコン画面が表示します。

* お客さまの電気使用状況や、機器の経年劣化により出力開始までの時間は変化します。(最大約10分間)

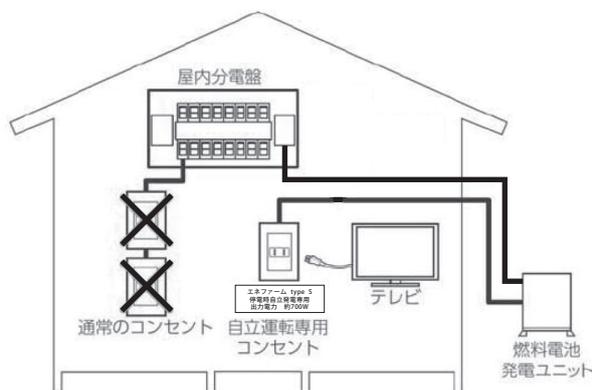


表示されるメッセージに従い対応してください。

② 下記操作を実施し[自立]が交互表示していることを確認する



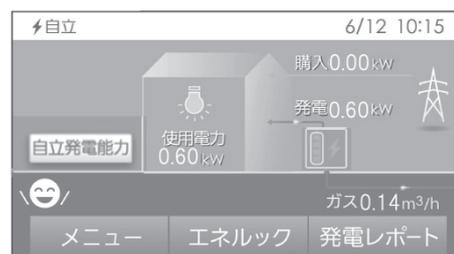
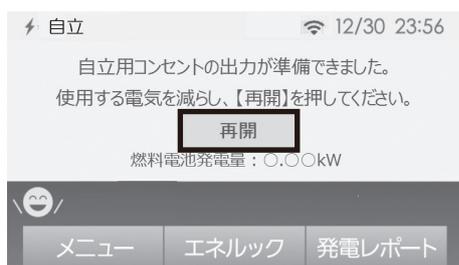
③ 電化製品の電源プラグを自立運転専用コンセントに差し込む



- 停電時は自立運転専用コンセントしか使うことができません。
- リモコン表示で発電電力表示と使用電力表示を確認しながら自立運転専用コンセントに使用したい電化製品を一つずつ接続してください。
- 使用電力表示が発電電力表示を超えないよう、こまめに確認してください。
- 使用電力が発電電力を上回る場合(過負荷)は、自立運転専用コンセントからの電気の供給が停止します。接続していた電化製品をコンセントから取り外し、リモコン画面のメッセージに従って操作をしてください。

■ 3-2. 過負荷復帰操作

[再開]を押す。



運転について
発電リモコン

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

■ 3-3. 自立発電電力を上げたいとき

● 自立発電中、電力消費が少ない状態がしばらく続くと自立出力を下げる場合があります。使用電力の大きい(ただし合計しても700[W]を超えない)電化製品を使用されるときは、下記手順で高出力モードに切り替えてください。

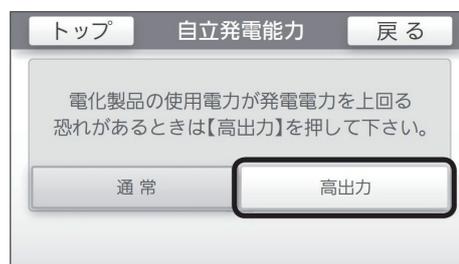
※ ガスマイコンメーター確認マーク(Mマーク)が表示(約6分間)されている場合は、高出力モードの設定はできません。

※ 低出力から急に高出力に切り替わった場合は機器内部温度が限度より高くないように発電出力を自動的に下げる場合があります。

① トップ画面で発電量を確認し、発電出力が低い場合は[自立発電能力]を押す。

([自立発電能力]は、高出力発電が可能なお客さまのみ表示されます。)

② [高出力]を押す。

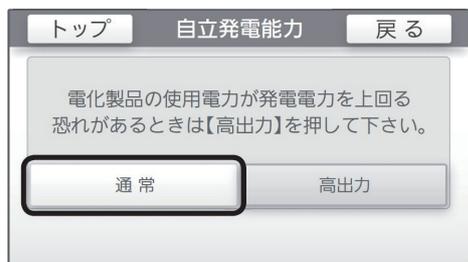


③ 左上部の文字が、[自立・高]に変わります。



● 高出力設定を通常に戻す場合

②の画面で[通常]を押します。



※ 通常モードに戻し忘れた場合は使用電力低下から約3分後に自動的に通常モードに戻ります。

停電時に電気とお湯を使う

(自立運転機能付きのお客さまへ)

⚠ 警告

自立運転専用コンセントには以下の機器を接続しない

自立運転専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。途中で電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれがある以下の機器には接続しないでください。

- ・ 全ての医療機器
- ・ 灯油を用いた暖房機器
- ・ 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
- ・ バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
- ・ 冷蔵庫のような連続的に電力の供給が必要な機器
- ・ その他、電源が切れると生命、財産に損害を受けるおそれのある機器
- ・ 最大電力が700[W]以上になる機器

4. 主な電化製品の消費電力

- 数値は定格消費電力の一例です。実際の消費電力は、製品の種類や使用方法によって異なります。
- 電化製品の種類によっては、瞬間的に700[W]を上回る電力負荷がかかるため、消費電力にかかわらず使用できないことがあります。(冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどは使用できません。)

製品名	消費電力の目安 (W)	製品名	消費電力の目安 (W)
携帯の充電器	15	卓上LED照明	20
ラジカセ	20	ガスファンヒータ	30
扇風機	40	ノートPC	75
液晶テレビ32型	150		
熱源機の暖房運転	180	熱源機の凍結防止運転	250
電気炊飯器	1100	ヘアードライヤ	1200

⇒ご使用できません

故障・異常かな？と思ったら

次の場合は、故障ではありません。

症状	原因
排気出口から湯気が出ている。	排気ガス中の水蒸気が凝縮し湯気が立つことがあります。排気出口付近に結露が発生することがあります。
前面パネルの排気出口周囲に白い付着物がつく。	排気口付近の結露に含まれる成分が付着する場合があります。付着した場合は布等により拭き取ることができます。
放熱器吸気口のフィルタに白い付着物がつく。	背面パネルに含まれる成分が放熱器吸気口のフィルタに付着する場合があります。付着した場合は布等により拭き取ることができます。
お湯を使っていないのに運転している。 お湯を使っているのに運転しない。	発電ユニットの発電・停止は、お湯を使う時間帯と必ずしも一致しません。
停止操作後も運転音がある。	機器を保護するために、停止操作後約10～12時間程度は冷却運転しています。
排水配管から水がポタポタ出る。	排気ガス中の水蒸気が凝縮して水となり、排出されます。
発電出力が上昇するのに時間を要する。	モジュール内部の温度が急上昇しないようゆっくりと出力を上昇させています。

故障・異常かな？と思ったらときは、まずリモコンの表示をご確認ください。

※ 熱源機の取扱説明書も合わせてご確認ください。

症状	原因	処置方法
リモコンが表示しない。	防水コンセントに接続された屋内分電盤のブレーカが遮断されている。	防水コンセントに接続された屋内分電盤のブレーカを接続してください。 ※ リモコンが表示したら、リモコンの日時合わせを行ってください。
	発電ユニットがエラー停止している。	停電時、発電ユニットがエラーで発電を継続できなくなった可能性があります。 停電が復旧した後、リモコンにエラーが表示された場合は、98～100ページに記載の処置方法に従って処置を行ってください。
リモコンが表示しない。 (自立運転機能付き)	停電時に自立運転専用コンセントに接続している電化製品の消費電力が発電量を超過している。	すみやかに接続した電化製品を取り外してください。
Mマークを表示して停止している。 ([01900]の表示なし)	ガスマイコンメーターの安全機能確認のための一時的な停止。	Mマークの表示開始から24時間停止します。Mマーク表示が出たら、下記ページを参照して対応してください。 リモコンA (ノーリツ) : 14ページ リモコンB (パーパス) : 35ページ リモコンC (リンナイ) : 55ページ 発電リモコン : 75ページ
Mマークと[01900]を表示して停止している。	ガスマイコンメーターの安全確認中に熱源機の燃焼が連続で70分以上の停止がなかった。	ガス機器(給湯・床暖房など)を、連続で70分以上停止してください。(時間帯に制約はありません)

故障・異常かな？と思ったら

症状	原因	処置方法
発電出力が家庭の電力需要量を大幅に下回る。	発電出力抑制モード中気温が高いときなどに、運転継続させるための一時的な発電出力抑制。	しばらくお待ちください。 24時間経過しても発電出力に変化がない場合はガス供給事業者に連絡してください。
[発電エラー]と[* * F * *]が交互に表示されている。	エラーが発生している。	停止完了までお待ちください。（[発電×]または[⊗発電]表示中は再起動できません。）リモコン左上隅にある、発電状況表示と発電モードマークが消えたら停止完了です。 98～100ページを参照し、エラーの処置を行ってください。 エラー表示位置 リモコンA（ノーリツ）：14ページ リモコンB（パーパス）：35ページ リモコンC（リンナイ）：55ページ 発電リモコン：75ページ
発電ユニットのセルフチェック実施中を知らせる表示がされている。	故障診断のための一時的な停止。	しばらくお待ちください。 24時間経過しても発電ユニットのセルフチェック実施中を知らせる表示が消えない場合は、ガス供給事業者に連絡してください。
発電が停止しリモコン画面左上の「発電中」の表示欄に「↓」が表示される。	お客様の電力の使用量が少ない状態が継続し、十分な省エネ効果が得られないため発電を一定期間停止しています。	お客様の電気使用量が増加すれば翌月から自動的に発電を再開します。電気使用量が増加しなければ長期間発電を停止する場合があります。停止中に起動する場合は[メニュー]→[発電メニュー]から[発電再開]を選択し[開始]を実行ください。
リモコン設定よりも熱いお湯が出る。 お湯を出しても温度が上がらない。 お湯を出しても、熱くなったりぬるくなったりして、お湯の温度が安定しない。	この商品は、熱源機のカス消費量を抑えるために、熱源機に供給する水の温度を発電ユニットの排熱により予熱しています。このため、少ない流量でお湯をお使いの場合、設定温度よりも高めのお湯が出る場合があります。さらにお湯の流量を絞りすぎると、燃焼を停止する場合があります。	お湯の量を増やしてご使用ください。 ※ 混合水栓でお湯と水とを混ぜてお使いの場合は、水栓から流れるお湯の量よりも熱源機を流れるお湯の量が少なくなります。混合水栓のレバーをお湯側にしてお使いください。
発電ユニットの起動時に数分程度音が大きくなる場合があります。	点火時に発生する燃焼音です。	音が継続して止まらない場合は、ガス供給事業者にご連絡ください。

エラー表示について

発電ユニットに不具合が生じたとき、熱源機のリモコンにエラーコード[* * F * *]が表示されます。

発電ユニットのエラーコード一覧 (1/2)

表示	故障内容	表示	故障内容
01F00	通常停止回数警告	43F01	燃焼排ガス温度高温異常
01F01	シャットダウン回数警告	43F02	燃焼排ガス温度低温異常
02F00	通常停止回数警告 (起動禁止)	47F00	還流ガス温度センサ故障
02F01	シャットダウン回数警告 (起動禁止)	47F01	還流ガス漏れ異常
03F00	ホットモジュール起動許可条件成立待ち	47F02	還流ガス温度低温異常
03F01	スタック保護待機状態	52F01	停止時エア流量異常
03F03	シャットダウン後起動許可時間タイムアウト	52F02	エア流量異常
03F05	改質水タンク補給回数警告	53F00	給湯混合弁原点復帰異常
03F06	水抜き状態時起動警告	55F00	可燃ガスセンサ1異常
03F07	改質水水量保護動作中	55F01	可燃ガスセンサ2異常
05F00	メンテナンス時間超過1	55F10	可燃ガスセンサ1異常
05F03	可燃ガスセンサ時間超過	55F11	可燃ガスセンサ2異常
05F04	可燃ガスセンサ時間超過	57F01	伝導度上限異常または水位センサ短絡故障
08F00	自立運転保護動作	59F00	燃焼触媒故障
08F02	水不足による保護停止	60F00	原燃料流量偏差異常
08F03	自立時過負荷検出	60F01	原燃料ガスブロードDUTY上限異常
10F00	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	61F00	エア流量偏差異常
10F01	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常	61F01	エアブロード故障
10F10	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	62F00	改質水ポンプ故障
10F11	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常	63F00	フロートスイッチ断線故障
11F00	着火異常	63F01	フロートスイッチ短絡故障
12F00	燃焼部#1失火異常	64F00	排熱回収水ポンプ故障
12F01	燃焼部#2失火異常	66F00	改質水補給異常
12F04	失火による出力異常	67F00	水位異常または水位センサ短絡故障
12F05	失火継続異常	67F01	水位センサ断線故障
15F00	起動異常	67F04	改質水ライン水張り異常
19F00	漏電・過電流ブレーカ保護作動	68F00	原燃料入口電磁弁駆動回路異常
20F00	冷却ファン故障	68F01	原燃料入口電磁弁異常
30F00	改質入口温度センサ故障	70F00	インバータ通信異常
30F01	改質入口温度高温異常	70F01	インバータ連系パラメータ受信異常
30F02	改質入口温度低温異常	72F01	給湯器ラインまたはインバータ異常
30F03	改質入口温度センサ不定故障	72F03	自立出カリレー固着警告
40F00	燃焼部#1温度センサ故障	72F04	自立出カリレー固着異常
40F01	燃焼部#1温度高温異常	72F05	給湯器電源リレー系統側固着警告
40F02	燃焼部#1温度低温異常	72F06	給湯器電源リレー系統側固着異常
40F03	燃焼部#1温度センサ不定故障	76F00	セット構成給湯器通信異常
42F00	モジュール温度センサ故障	76F01	後付構成用発電連係リモコン通信異常
42F01	モジュール温度高温異常	76F02	リモコンアンマッチ
42F02	モジュール温度低温異常	76F03	リモコン電源電圧低下異常
42F04	モジュール温度センサ不定故障	77F00	改質水ポンプ駆動回路異常
43F00	燃焼排ガス温度センサ故障	77F02	制御装置可燃ガスセンサ増幅回路異常
		77F03	制御装置LPガスセンサ増幅回路異常

エラー表示について

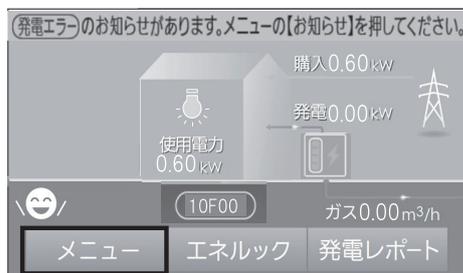
発電ユニットのエラーコード一覧 (2/2)

表示	故障内容	表示	故障内容
77F04	制御装置パラメータ破損異常	C5F01	インバータDC/DC部温度高温異常
77F05	FCメンテデータ差異異常	C5F02	インバータDC/AC部温度高温異常
77F06	FCパラメータ差異異常	C5F03	インバータ低温警告
77F08	原燃料流量計通信異常	C5F04	インバータ高温異常
77F09	カソード エア流量計通信異常	C6F01	EEPROM異常
77F10	原燃料流量計測値フリーズ異常	C7F00	ハードウェア故障
77F11	カソード エア流量計測値フリーズ異常	C7F01	インバータ温度センサ故障
78F15	直流ヒータ過電流警告	C7F02	連系リレー故障
79F00	コントローラスイッチ部短絡故障	C7F04	24V補機電源電圧上限異常
80F00	排熱回収水入口温度センサ故障	C7F05	24V補機電源電圧下限異常
80F01	排熱回収水入口温度高温異常	C7F06	24V補機電源通電警告
81F00	排気熱交換器内温度センサ故障	C7F07	2.5V補機電源電圧上限異常
81F01	排気熱交換器内温度高温異常	C7F08	2.5V補機電源電圧下限異常
81F02	排気熱交換器内温度低温異常	C7F12	5V補機電源電圧上限異常
82F00	排熱回収水出口温度センサ故障	C7F13	5V補機電源電圧下限異常
82F01	排熱回収水出口温度高温異常	C7F14	スタック電流通信異常
82F02	排熱回収水出口温度低温異常	C7F15	商用電流回路異常
83F00	補機室上部温度センサ故障	C7F17	インバータソフトウェアバージョン異常
83F01	補機室上部温度高温異常	C7F23	自立周波数不確定異常
85F00	水道水温度センサ故障	C7F25	自立構成異常
86F00	混合湯温度センサ故障	C7F26	自立発電電圧不安定異常
86F01	混合湯温度高温異常	C7F27	自立発電電圧不安定警告
86F02	水道水温度センサ/混合湯温度センサ精度異常	C7F28	自立出力準備中シーケンス異常
88F00	自立ヒータ温度センサ故障	C9F00	インバータ入力過電流
88F01	自立ヒータ上部温度高温異常	E0F00	商用電流検出異常 (誤配線)
89F00	自立トランス温度センサ故障	E1F00	CT自動補正不能
89F01	自立トランス高温異常	E1F01	CT誤取り付け警告
93F00	停止時間タイムアウト	E4F00	商用電流検出異常
95F00	改質水タンク水量不足またはフロートスイッチ故障	E7F00	N相過電流異常
A0F00	原燃料供給圧低または圧力センサ故障	F0F00	系統過電圧警告
A1F00	原燃料供給圧高または圧力センサ故障	F1F00	系統不足電圧警告
B0F00	ホットモジュール高温状態検出	F2F00	系統周波数上昇警告
B0F02	改質触媒高温状態	F3F00	系統周波数下降警告
B1F02	水張り時エア抜き警告	F4F00	単独運転受動方式検出
B4F01	点火ヒータ連続通電時間オーバー	F5F00	単独運転能動方式検出
B6F00	パソコン通信異常	F6F00	系統瞬時過電圧
B8F00	改質水タンク水なし状態検出	F7F00	直流過電圧検出
C0F00	スタックトータル電圧低下	F7F01	リンク不足電圧検出
C0F02	コンバータ過電流警告	F7F02	リンク過電圧検出
C0F03	直流リンク過電圧警告	F7F03	出力電流直流分流出検出
C2F00	スタックトータル電圧未確立	F7F05	インバータ側通信異常
C4F00	直流不足電圧検出	F7F06	瞬時過電流
		F9F00	逆潮流検出
		O1900	マイコンメータ内管漏えい警報防止

エラー発生時の処置方法について

- リモコンにエラーコード[**F**]を表示します。
エラーコードの表示が[**F**]ではない場合は熱源機側の不具合です。熱源機の取扱説明書を参照ください。
- リモコンに99~100ページのエラーコードが表示された場合、処置方法に従い処置を行ってください。
- 99~100ページ以外のエラーコードについては、ガス会社または販売店にご連絡ください。
- エラーリセット（異常解除）の方法
 - セット構成の場合は、リモコンの「ON/OFF」スイッチを一度押して「OFF」にしてから、再度押して「ON」にします。
（リモコンA（ノーリツ） 13ページ参照）
（リモコンB（パーパス） 34ページ参照）
（リモコンC（リンナイ） 54ページ参照）
（発電リモコン 74ページ参照）
 - 後付構成の場合は、下記手順でリセットします。

① トップ画面より[メニュー]を選択してください。



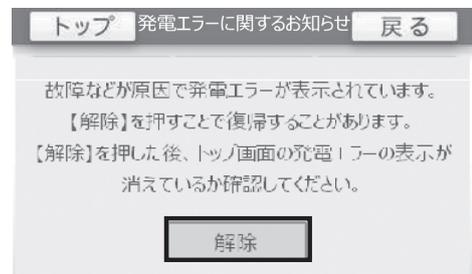
② メニュー画面より[お知らせ]を選択してください。



③ お知らせ画面より[発電エラーに関するお知らせ]を選択してください。



④ [解除]を押してください。



- 停止工程に約10~12時間かかります。
エラーをリセットしても、停止工程が終了するまで再起動しません。

エラー発生時の処置方法について

警告

●お客さま自身で部品の点検・調整はしない。
感電・火災・水漏れの原因となります。



禁止

●機器の異常に気付いたときは、メンテナンス会社もしくは、ガス供給事業者に連絡してください。
異常のまま運転を続けると感電・火災・故障などの原因となります。



確認

表示	故障内容	原因	処置方法
01F00	・通常停止回数警告	起動停止の回数が多すぎます。	このまま使用を継続されますと、故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外となる場合がありますので、ガス供給事業者にご連絡ください。
01F01	・シャットダウン回数警告		
03F00	・ホットモジュール起動許可条件成立待ち	発電ユニットが高温であるため起動できません。	冷却されるまでお待ちください。
03F03	・シャットダウン後起動許可時間タイムアウト	起動時にアラームが発生したが、モジュール内部が高温のため、自動再起動ができない。	冷却されるまでお待ちください。
03F05	・改質水タンク補給回数警告	改質水補給回数が設定回数を超えた。	ガス供給事業者にご連絡ください。
03F06	・水抜き状態時起動警告	水抜き、水張りが中止された状態で発電ユニットの起動操作が実施された。	発電禁止操作を行い、エラーをリセットし、水張りを実施後、発電ユニットを起動してください。 (リモコンA (ノーリツ) 15、17、25ページ、リモコンB (パーパス) 36、38、45ページ、リモコンC (リンナイ) 56、58、65ページ、発電リモコン76、78、86ページ参照)
05F00	・メンテナンス時間超過	定期交換部品の交換が必要です。	ガス供給事業者にご連絡ください。
05F03	・可燃ガスセンサ時間超過		
05F04			
08F00	・自立運転保護動作	電力使用量が少ないため、保護停止しています。	給湯および電力使用量が350W以上必要です。

エラー発生時の処置方法について

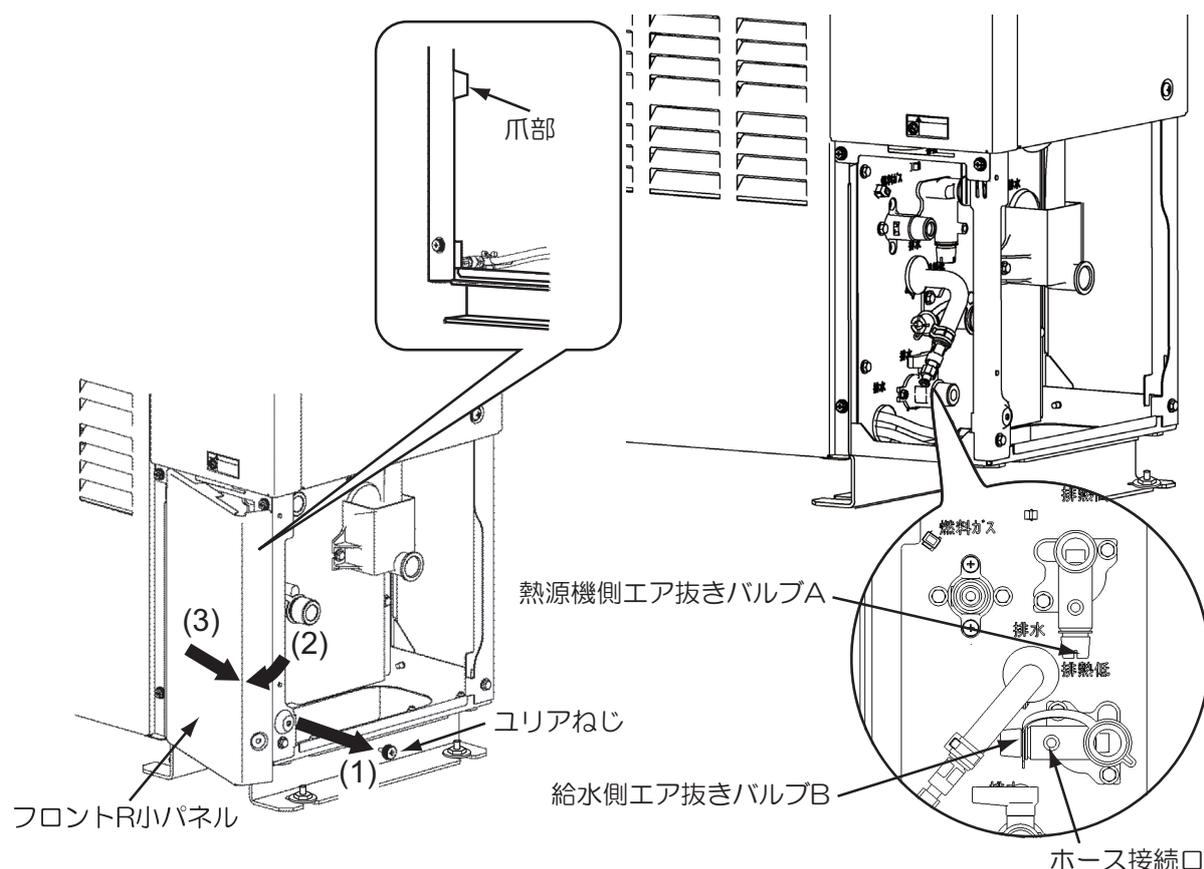
表示	故障内容	原因	処置方法
10F00	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常 ・可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常 	発電ユニット内部でガス漏れが発生した場合、もしくは発電ユニット外部から自動車の排気ガスなどの可燃性ガスが流入した場合に、ガスを検知して停止しています。	発電ユニット内部でガス供給を遮断していますが念のため発電ユニット専用ガス栓を閉じて、ガス供給事業者にご連絡ください。
10F10			
10F01			
10F11			
81F01	<ul style="list-style-type: none"> ・排気熱交換器内温度 高温異常 	断水している可能性があります。	発電禁止操作を実施後に、エラーをリセット（98ページ参照）してください。給水されていることを確認後、発電ユニットの水張り操作を実施してください。水張り完了後、「発電禁止からの再開」を実施してください。再発する場合は、ガス供給事業者にご連絡ください。
82F01	<ul style="list-style-type: none"> ・排熱回収水出口温度 高温異常 		
A0F00	<ul style="list-style-type: none"> ・原燃料供給圧低または 圧力センサ故障 	ガス栓が閉まっているか、ガスマイコンメーターが遮断されています。	ガス栓が閉まっている場合は、ガス栓を開けてください。 ガスマイコンメーターが遮断している場合は、ガスマイコンメーターを復帰させてから、リモコンでエラーをリセットしてください。 （98ページ参照） 操作方法がわからない場合はガス供給事業者までご連絡ください。
E0F00	<ul style="list-style-type: none"> ・商用電流検出異常 	購入電力の検出に異常がある可能性があります。	ガス供給事業者にご連絡ください。
E4F00	<ul style="list-style-type: none"> ・商用電流検出異常 		
F9F00	<ul style="list-style-type: none"> ・逆潮流検出 		
01900	マイコンメーター内管漏えい警報防止	機器の異常ではありません。ガスマイコンメーターの安全機能確認のために運転を停止しているとき（Mマークが表示されているとき）に、ガス機器（給湯・床暖房など）の使用が継続した場合に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス機器（給湯・床暖房など）を連続で70分以上停止してください（時間帯に制約はありません）。 ・床暖房の長時間使用により頻繁に[01900]が表示される場合は、給湯や浴室暖房乾燥機などガス機器を使用しない時間帯に、床暖房リモコン等のタイマー設定により床暖房を、連続で70分以上停止する時間帯を設定ください。

災害時にお湯を使う

災害時などに貯湯タンクからお湯を取り出す

⚠ 警告

エア抜きバルブから熱湯が出る場合がありますのでやけどに注意してください。



- ①リモコンの発電状況表示、発電モードマーク（14、35、55、75ページ参照）の表示が消えて、発電ユニットが停止していることを確認してください。
 - ②分電盤の専用ブレーカーと防水コンセントに接続された屋内分電盤のブレーカを遮断します。
 - ③フロントR小パネルを外します。
 - (1) フロントR小パネル右側面下のユリアねじを外します。
 - (2) フロントR小パネルの裏の引っかけを外しながら手前に寄せます。
 - (3) フロントR小パネルを右にスライドさせて取り外します。
 - ④ホース接続口（外径10mm）にホースを取り付け、バケツなどで出てくるお湯（水）を受けられるようにしてください。
 - ⑤給水バルブと熱源機メンテ用バルブを閉じます。（12ページ参照）
 - ⑥熱源機行き側のエア抜きバルブAを回します。
 - ⑦給水側エア抜きバルブBを回します。

出てきたお湯（水）は、雑用水として使用してください。
 - ⑧取水が終わったら、給水側エア抜きバルブ、熱源機行き側エア抜きバルブの順で閉じます。
 - ⑨11ページの「フロントR小パネルの取り付け方法」を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けてください。
- 再起動するときは、発電ユニットの水張り（25、45、65、86ページ参照）を実施してください。
 - 停電した場合は、日時がリセットされている場合がありますので、日時の設定を行ってください。手順詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。

お手入れと周囲の確認

1. お手入れ

※機器のお手入れには、手袋を着用してください。

- 機器の外観（パネルおよび放熱器吸気口のフィルタ）が汚れている場合、水に濡らした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭きとってください。
 - 機器を水洗いしないでください。
 - 外観のお手入れに、ガソリン・シンナー・ベンジン・みがき粉・スプレーなどを使わないでください。
 - お手入れの際、パネルおよび放熱器吸気口のフィルタを外さないでください。
 - 1年に1回程度、発電ユニット内の貯湯タンクの洗浄をしてください。
 1. 発電ユニットを停止させてください。（17、38、58、78ページ、「■2-1（発電禁止）」を参照ください。）
 2. 発電停止完了後、水抜きをしてください。（19、40、60、80ページ、「3. 発電ユニットの貯湯タンク洗浄のための水抜き方法」を参照ください。）
 3. 水抜き終了後、水張りをしてください。（25、45、65、86ページ、「5. 発電ユニットの水張り方法」を参照ください。）
 4. 発電ユニットを起動してください。（15、36、56、76、ページ、「■1-1 発電禁止からの再開」を参照ください。）
- ※ 上記2.の開始から3.の終了までは熱源機は使用できなくなります。

2. 周囲の確認

12ページを参照し、「ご使用前の確認」を月に1回程度行ってください。

⚠ 注意

発電ユニットと熱源機間の配管の上に乗らない、物を載せない
けが・やけど・水漏れのおそれがあります。



禁止

熱源機行き配管に触れない
熱源機行き配管は高温になることがあります。
やけどのおそれがあります。



禁止

排気出口・換気出口・換気入口に指や棒など異物を入れない
けが・やけどのおそれがあります。



禁止

パネルを開けて、発電ユニット内部に触れない
けが・やけど・感電のおそれがあります。



禁止

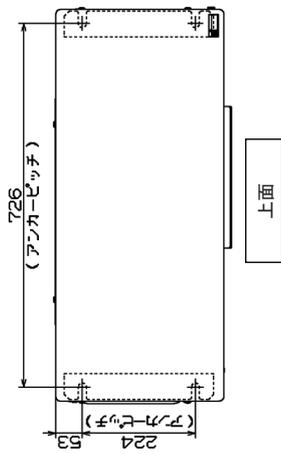
点検に関して

- 機器への通電開始から10.5年経過後に停止します。引き続き安全にご使用になるためには、点検および定期交換部品、その他の部品の交換が必要になります。（有償）
 - リモコンの液晶画面上部に下記のお知らせが表示されたときは、ガス供給事業者にご連絡してください。
 - ・ [発電ユニットの点検時期が近づいています。]
 - ・ [発電ユニットの点検が必要です。]
 - ・ [発電ユニットの点検時期を過ぎています。]（エラーコード[05F00]も点滅）
- ※ [発電ユニットの点検時期を過ぎています。]の表示になると、発電ユニットは自動的に停止します。
- 点検は、専門のサービスマンが実施いたします。
- この機器は給水用具（逆流防止装置）を内蔵しています。
機器を安全・快適にお使いいただくために、（社）日本水道協会発行の「給水用の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。点検は担当のメンテナンス会社またはガス会社にご相談ください。（有償）

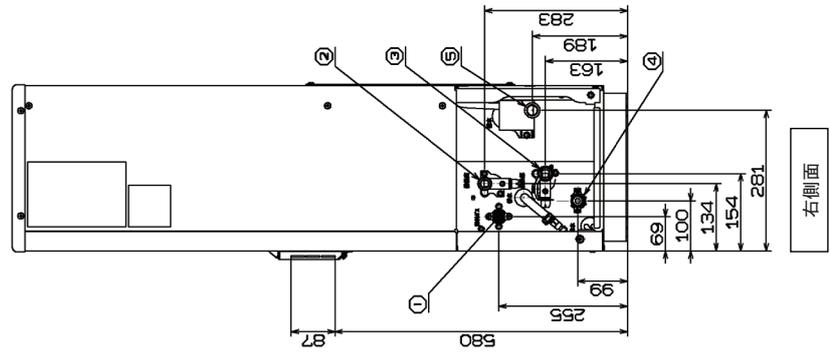
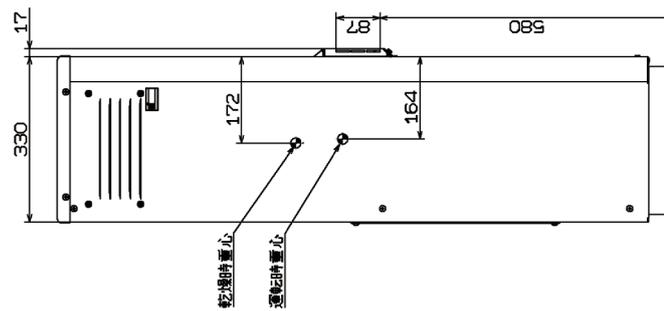
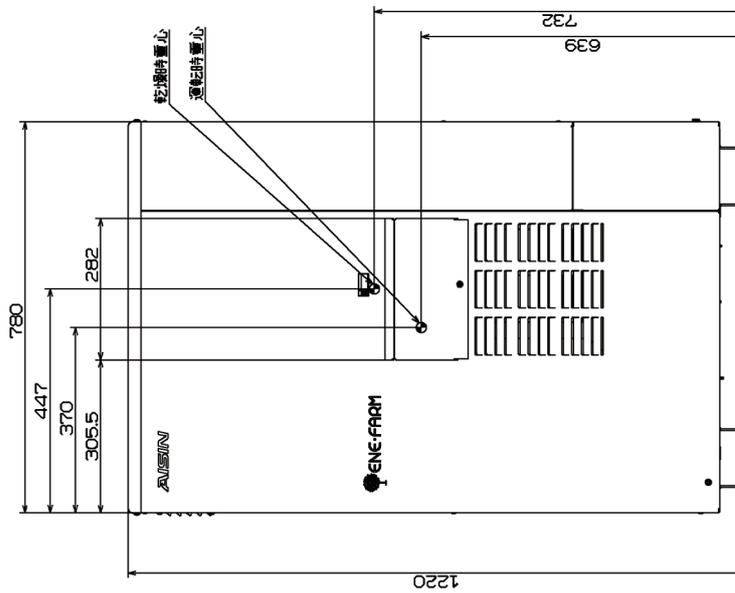
おもな仕様

製品名	エネファーム type S 燃料電池ユニット 自立運転機能付き		エネファーム type S 燃料電池ユニット 標準モデル		
燃料電池の種類	SOFC (固体酸化物形燃料電池)				
型式名	FCCS07B2NJ	FCCS07B2PJ	FCCS07B2N	FCCS07B2P	
設置方式	屋外設置据置型				
タンク貯湯温度	約70℃				
タンク容量	28L				
外形寸法 mm	高1220×幅780×奥行330				
質量 kg	106 (乾燥質量)		100 (乾燥質量)		
接続	ガス	TU (R1/2おねじ)			
	給水・給湯	R3/4 (おねじ)			
	タンク排水	R1/2 (おねじ)			
	排水	CF16ジョイント			
	電気	単相3線式 100/200V			
発電	定格出力 W	700 (自立運転時最大約700)		700	
	電圧 V	200			
	周波数 Hz	50/60			
効率	発電効率 (LHV) %	52.0	51.0	52.0	51.0
	総合効率 (LHV) %	87.0	85.0	87.0	85.0
インバータ	インバータ方式	自励式電圧型電流制御方式			
	電圧調整方式	PWM方式			
	絶縁方式	高周波絶縁方式			
	接続電気方式	単相3線式			
	出力電気方式	単相2線式 202V			
ガスの種類	都市ガス13A	LPガス	都市ガス13A	LPガス	
運転環境温度 ℃	-10~43				
停電自立運転設計耐用時間 (のべ) h	500		—		
不在停止の使用目安	10回/年以下				

外形図



配号	名称	接続
①	ガス接続口	TU(R1/2(おねじ))
②	熱源機向き接続口	R3/4(おねじ)
③	給水接続口	R3/4(おねじ)
④	タンク排水接続口	R1/2(おねじ)
⑤	ドレン排水接続口	(CCHM ショイント)



アフターサービスについて

修理を依頼するとき

修理を依頼される前に、94～95ページの「故障・異常かな?と思ったら」の項目を見て、今一度ご確認ください。不具合があるときはご自分で修理せず、ガス供給事業者にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 商品コード・・・ FCCS07B2**
2. 品名・・・ エネファーム type S
(燃料電池ユニット)
3. ガス種・・・ 都市ガス (13A) / LPG
4. お買い上げ年月日
5. 故障の状況・・・ できるだけ詳しく (故障表示など)
6. ご住所、お名前、電話番号
7. 訪問ご希望日

引越または機器を移設する場合

発電ユニットを安全で快適にご使用いただくため次のことをご確認ください。

移設工事はお買い上げの販売店に依頼し、お客さまご自身では行わないでください。

●引越などで発電ユニットを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、前もってお買い上げの販売店にご相談ください。

●発電ユニットを廃棄する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

補修用性能部品について

燃料電池ユニットの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。

●性能部品とは製品の性能を維持するために必要な部品です。

熱源機を買い替える場合

●熱源機との組合せによっては安全・性能が担保できず、やけど等の事故が発生する可能性があります。

●熱源機を買い替える場合は必ずガス供給事業者にご相談ください。

エネファーム Type S 燃料電池ユニット保証書

このたびは、アイシン エネファーム Type S 燃料電池ユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お買い上げいただきました製品につきまして、本保証書記載の内容により、保証させていただきます。

1. 保証期間

お買い上げ日より2年間

2. 保証の内容

保証期間中に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で調整または修理いたします。

3. 保証の範囲

保証については、上記2の内容に基づいて行いますが、機器の故障による機器本体以外の損害については、保証いたしません。

4. 保証できない事項

次の事項は保証期間内であっても保証いたしません。調整または修理を行う場合は、有料となります。

- (1) 使用上の誤り、または改造および不当な修理による故障または損傷。
- (2) 試運転引渡し後の周囲環境の変化や据付け場所の移動、落下、輸送等による故障または損傷。
- (3) 火災、地震、風水害、雷、異常気象、その他の天変地異ならびに公害、塩害、煤煙、降灰、酸性雨、薬品、腐食性ガス等の有害ガス、異常電圧、異常電磁波、異常燃料ガス圧、生物類の侵入等の外部要因による故障または損傷。
- (4) 当社純正部品以外の部品および指定する燃料ガス、精製水、供給水以外のものを使用したために生じた故障または損傷。
- (5) 車輛、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障または損傷。
- (6) 機器を海外に持ち出された場合。
- (7) 保証開始日の記入がない場合あるいは、販売者の訂正印なしで、書き替えられている場合。
- (8) 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など製品の仕様範囲内の感覚的な現象の場合。
- (9) 不適切なシステム設計および据付工事の不具合により生じた故障または損傷。
- (10) 本書のご提示がない場合。
- (11) 水道管の錆など異物の流入による故障および損傷。
- (12) 電気事業法で定められた電圧以外の使用環境で使用したことによる故障および損傷。
- (13) 機器故障に伴う発電量損失や関連して発生したお客さまの損失（ガス、電気、水道代など）に対する補償。
- (14) 機器内記録データの損失復旧。
- (15) 組合せの対象となる熱源機以外でご使用された場合。
- (16) 業務用の場所（飲食店、美容院、事務所、工場等）でご使用された場合。

5. その他

- (1) 当社の指定するサービス会社等が調整・修理を実施することがあります。
- (2) 遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- (3) 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- (4) 無料修理により、取り外した部品は全て当社の所有になります。
- (5) 保証書の販売店（保証履行者）、保証開始日等のもれがないか、ご確認ください。
- (6) 本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7) 修理内容は修理伝票等にて代替します。
- (8) お客さまから取得した個人情報については、本保証書による保証を実施する目的で利用します。
- (9) 一般財団法人ベターリビングのBL認証対象製品は、貯湯タンクのみ5年間の保証になります。詳しくは販売店もしくは当社までお問い合わせください。

サービスをお受けになる時は、この保証書をご提示ください。

<販売店（保証履行者）>

<製造者（保証責任者）>

アイシン精機株式会社

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
TEL (0566)-63-5741

エネファーム Type S 燃料電池ユニット	型 式	製造番号	ガス種
	FCCS _____		都市ガス
保 証 期 間	お買い上げ日（ 年 月 日 ）より2年間		